

疾病、傷害及び死因統計分類提要 内容例示 新旧対照表(案)

※WHO 勧告文の文中における、追加、変更等は、下線により、又、削除は取り消線によって示している。

※病名が箇条書きとなっている箇所について、現行版は、コード順、アイウエオ順、ABC 順を適宜を採用しているが、改正案では、現段階では概ね英語順のまま訳しており、順序の入替えについては作業していない。

※字体の変更による修正は溶け込みで反映している。

※連続する二行が灰色塗りとなっているものは、2010 年までに一度改正がありその後再度改正があったもので、始めの改正内容を上段、その後の改正を下段に記載している。

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採択	備考
1	第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症（A00－B99） 抗菌薬への耐性を分類する必要がある場合には追加コード（U82－U84）を使用する。	第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症（A00－B99） 抗菌薬への耐性を分類する必要がある場合には追加コード（U82－U84）を使用する。	Chapter I - Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99) Use additional code(U82— U85-U84), if desired, to identify resistance to antimicrobials and antineoplastic drugs				
2	第Ⅰ章 <u>感染症及び寄生虫症(A00-B99)</u> 包含：伝染または伝播すると一般的に認識される疾患 除外：局所感染―身体系統に関連する章を参照 インフルエンザ及びその他の急性呼吸器感染症(J00—J22) 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併した感染症及び寄生虫症〔産科的破傷風を除く〕(O98.-) 周産期に特有の感染症及び寄生虫症〔新生児破傷風，先天梅毒，周産期淋菌感染症及び周産期ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕感染症を除く〕(P35—P39) 感染症のキャリア<病原体保有者>又はキャリア<病原体保有者>の疑いのある者（Z22.-）	第Ⅰ章 <u>感染症及び寄生虫症</u> 包含：伝染または伝播すると一般的に認識される疾患 除外：局所感染―身体系統に関連する章を参照 インフルエンザ及びその他の急性呼吸器感染症(J00—J22) 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併した感染症及び寄生虫症〔産科的破傷風を除く〕(O98.-) 周産期に特有の感染症及び寄生虫症〔新生児破傷風，先天梅毒，周産期淋菌感染症及び周産期ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病を除く〕(P35—P39) 感染症のキャリア<病原体保有者>又はキャリア<病原体保有者>の疑いのある者（Z22.-）	Certain infectious and parasitic diseases (A00–B99) <i>Includes:</i> diseases generally recognized as communicable or transmissible <i>Excludes:</i> carrier or suspected carrier of infectious disease (Z22.-) certain localized infections – see body system-related chapters infectious and parasitic diseases complicating pregnancy, childbirth and the puerperium [except obstetrical tetanus] _____ and _____ human immunodeficiency virus [HIV] disease (O98.-) infectious and parasitic diseases specific to the perinatal period [except tetanus neonatorum, congenital syphilis, perinatal gonococcal infection and perinatal human immunodeficiency virus [HIV] disease] (P35–P39) influenza and other acute respiratory infections (J00–J22)	第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症(A00-B99) <u>[HIV] 感染症</u>	(A00-B99)の付け忘れ <u>[HIV] 病とは言わないため</u>	○ ○	◆ 他の章についても揃える必要あり ◆HIV disease→辞典なし。 項目7．19の関連と要確認。
3	<u>感染症及び寄生虫症(A00-B99)</u> 本章は次の中間分類項目を含む： B95—B98 細菌，ウイルス及びその他の病原体 B99 その他の感染症	<u>感染症及び寄生虫症</u> 本章は次の中間分類項目を含む： B95—B98 細菌，ウイルス及びその他の病原体 B99 その他の感染症	Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99) This chapter contains the following blocks: ... <u>B95–B97</u> Bacterial, viral and other infectious agents <u>B99</u> Other infectious disease	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	(A00-B99)の付け忘れ	○	◆ 他の章についても揃える必要あり
4	A05 その他の細菌性食中毒,他に分類されないもの 除外: クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎(A04.7)	A05 その他の細菌性食中毒,他に分類されないもの 除外: クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎(A04.7)	A05 Other bacterial foodborne intoxications, not elsewhere classified <i>Excludes: <u>Clostridium difficile</u> foodborne intoxication and infection (A04.7)</i>	① クロストリジウム・ディフィシルによる	① 全に相当する英単語は原文がなく、一般にも用いられ	① ②	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	- 急性水様性 - 赤痢様 - 流行性 感染性又は敗血症性 - 大腸炎 - 腸炎 - 胃腸炎 感染性下痢 NOS NOS 出血性	- 急性水様性 - 赤痢様 - 流行性 感染性又は敗血症性 - 大腸炎 - 腸炎 - 胃腸炎 感染性下痢 NOS NOS 出血性	- <u>acute watery</u> - <u>dysenteric</u> - <u>epidemic</u> <u>Infectious or septic:</u> - <u>colitis</u> - <u>enteritis</u> - <u>gastroenteritis</u> <u>Infectious diarrhoea NOS</u> } NOS haemorrhagic <u>A09.9 Gastroenteritis and colitis of unspecified origin</u>	「感染原因不明の胃腸炎及び大腸炎」	誤訳	○ △	
7	結核（A15—A19） 包含：結核菌及びウシ型結核菌による感染症 除外：結核を起こした HIV 病（B20.0） 結核の続発・後遺症（B90.-） 結核を伴うじん<塵>肺（症）（J65） 珪肺結核（J65） 先天性結核（P 37.0）	結核（A15—A19） 包含：結核菌及びウシ型結核菌による感染症 除外：結核を起こした HIV 病（B20.0） 結核の続発・後遺症（B90.-） 結核を伴うじん<塵>肺（症）（J65） 珪肺結核（J65） 先天性結核（P 37.0）	Tuberculosis (A15-A19) <i>Includes:</i> infections due to <i>Mycobacterium tuberculosis</i> and <i>Mycobacterium bovis</i> <i>Excludes:</i> congenital tuberculosis (P37.0) <u>human immunodeficiency [HIV] disease resulting in tuberculosis (B20.0)</u> pneumoconiosis associated with tuberculosis (J65) sequelae of tuberculosis (B90.-) silicotuberculosis (J65)	HIV 感染者に発症した結核症	HIV 病ではなく結核症を除外するという意味では伝わり安い。HIV 病は日本医学会の医学用語辞典には収載されていない。	○ △ ◆	なお、B20.0 の mycobacteria の訳にも疑義有り。新規の御意見ですが「辞典」に従い、「非結核性抗酸菌感染症を起こした HIV 病」→「マイコバクテリウム感染症を起こした HIV 病」
8	A24 鼻疽および類鼻疽 A24.0 鼻疽 鼻疽菌< <i>Pseudomonas mallei</i> > < <i>Burkholderia mallei</i> > による感染症 マレウス	A24 鼻疽および類鼻疽 A24.0 鼻疽 鼻疽菌< <i>Pseudomonas mallei</i> > < <i>Burkholderia mallei</i> > による感染症 マレウス	A24 Glanders and melioidosis A24.0 Glanders Infection due to <i>Pseudomonas mallei</i> <u>Infection due to <i>Burkholderia mallei</i></u> Malleus				
9	A24.2 亜急性及び慢性類鼻疽 A24.3 その他の類鼻疽 A24.4 類鼻疽，詳細不明 類鼻疽菌< <i>Pseudomonas pseudomallei</i> > < <i>Burkholderia pseudomallei</i> > による感染症 N	A24.2 亜急性及び慢性類鼻疽 A24.3 その他の類鼻疽 A24.4 類鼻疽，詳細不明 類鼻疽菌< <i>Pseudomonas pseudomallei</i> > < <i>Burkholderia pseudomallei</i> > による感染症 N	A24.2 Subacute and chronic melioidosis A24.3 Other melioidosis A24.4 Melioidosis, unspecified Infection due to <i>Pseudomonas pseudomallei</i> NOS <u>Infection due to <i>Burkholderia pseudomallei</i></u> NOS Whitmore's disease				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	OS ホイトモア<Whitmore>病	OS ホイトモア<Whitmore>病					
10	A40 連鎖球菌性敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード(R57.2), を使用する。 除外: 分娩中 (O75.3) A41 その他の敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード(R57.2), を使用する。 除外:菌血症 NOS (A49.9) 分娩中 (O75.3) A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症	A40 連鎖球菌性敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード(R57.2), を使用する。 除外: 分娩中 (O75.3) A41 その他の敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード(R57.2), を使用する。 除外:菌血症 NOS (A49.9) 分娩中 (O75.3) A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症性ショック	A40 Streptococcal sepsis Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock Excludes: during labour (O75.3) A41 Other sepsis Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock Excludes: bacteraemia NOS (A49.9) during labour (O75.3) A41.9 Sepsis, unspecified Septicaemia Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock	「敗血症」	Septicemia は「敗血症」で良い。	○	
11	A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症 敗血症性ショックの分類が必要な場合は, 追加コード (R57.2) を使用する。	A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症 敗血症性ショックの分類が必要な場合は, 追加コード (R57.2) を使用する。	A41.9 Sepsis, unspecified Septic shock Septicaemia Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock				
12	A49 部位不明の細菌感染症 除外: 髄膜炎菌感染症 NOS (A39.9) ピロヘータ感染症 NOS (A69.9) ラミジア感染症 NOS (A74.9) リケッチア感染症 NOS (A79.9) 他章に分類される疾患の原因としての細菌性病原体 (B95—B96) A49.0 ブドウ球菌感染症, 部位不明 A49.1 連鎖球菌感染症, 部位不明 A49.2 インフルエンザ菌感染症, 部位不明 A49.3 マイコプラズマ感染症, 部位不明 A49.8 部位不明のその他の細菌感染症 A49.9 細菌感染症, 詳細不明 菌血症 NOS	A49 部位不明の細菌感染症 除外: 髄膜炎菌感染症 NOS (A39.9) スピロヘータ感染症 NOS (A69.9) クラミジア感染症 NOS (A74.9) リケッチア感染症 NOS (A79.9) 他章に分類される疾患の原因としての細菌性病原体 (B95—B96) A49.0 ブドウ球菌感染症, 部位不明 A49.1 連鎖球菌感染症, 部位不明 A49.2 インフルエンザ菌感染症, 部位不明 A49.3 マイコプラズマ感染症, 部位不明 A49.8 部位不明のその他の細菌感染症 A49.9 細菌感染症, 詳細不明 菌血症 NOS	A49 Bacterial infection of unspecified site Excludes: bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters (B95-B96) chlamydial infection NOS (A74.9) meningococcal infection NOS (A39.9) rickettsial infection NOS (A79.9) spirochaetal infection NOS (A69.9) A49.0 Staphylococcal infection, unspecified site A49.1 Streptococcal infection, unspecified site A49.2 Haemophilus influenzae infection, unspecified site A49.3 Mycoplasma infection, unspecified site A49.8 Other bacterial infections of unspecified site A49.9 Bacterial infection, unspecified Bacteraemia NOS				
13	A92.3 西ナイルウイルス感染症 西ナイル熱	A92.3 西ナイルウイルス感染症 西ナイル熱	A92.3 West Nile Fever virus infection West Nile fever				
14	B00.8 その他の型のヘルペスウイルス感染症 ヘルペスウイルス（性）： • 肝炎† (K77.0*) • ひょうく瘰>疽† (L99.8*)	B00.8 その他の型のヘルペスウイルス感染症 ヘルペスウイルス（性）： • 肝炎† (K77.0*) • ひょうく瘰>疽† (L99.8*)	B00.8 Other forms of herpes viral infection Herpesviral: • hepatitis† (K77.0*) • whitlow† (L99.8*)				
15	ウイルス性肝炎	ウイルス肝炎	Viral hepatitis (B15—B19)	ウイルス肝炎→ウイル	医学用語辞典の記載に	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	(B15—B19) 除外：ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] （性）肝炎（B00.8） サイトメガロウイルス（性）肝炎 （B25.1） ウイルス性肝炎の続発・後遺症（B94.2） 輸血後肝炎で、薬物の分類が必要な場合は、追加 コード（第X X章）を使用する。 B15 急性A型肝炎 B15.0 急性A型肝炎，肝性昏睡を伴うもの B15.9 急性A型肝炎，肝性昏睡を伴わないもの A型肝炎（急性）（ウイルス性）NOS	(B15—B19) 除外：ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] （性）肝炎（B00.8） サイトメガロウイルス（性）肝炎 （B25.1） ウイルス肝炎の続発・後遺症（B94.2） 輸血後肝炎で、薬物の分類が必要な場合は、追加 コード（第X X章）を使用する。 B15 急性 A 型肝炎 B15.0 急性 A 型肝炎，肝性昏睡を伴うもの B15.9 急性 A 型肝炎，肝性昏睡を伴わないもの A 型肝炎（急性）（ウイルス性）NOS	<i>Excludes:</i> cytomegaloviral hepatitis (B25.1) herpesviral [herpes simplex] hepatitis (B00.8) sequelae of viral hepatitis (B94.2) <u>Use additional code (Chapter XX), if desired, to identify drug, if post-transfusion hepatitis</u> B15 Acute hepatitis A B15.0 Hepatitis A with hepatic coma B15.9 Hepatitis A without hepatic coma Hepatitis A (acute)(viral) NOS	ス型肝炎以下同様 ウイルス性肝炎 同定（以下同定に統一）	則る 原文に近い和訳	○ ○	◆他の表記 全体の整合 性が必要と なる
16	B17 その他の急性ウイルス性肝炎 B17.0 B 型肝炎キャリア<病原体保有者>の急性デ ルタ（重）感染症 B17.1 急性C型肝炎 B17.2 急性E型肝炎 B17.8 その他の明示された急性ウイルス性肝炎 非 A 非 B 型肝炎（急性）（ウイルス性）NEC B17.9 急性ウイルス性肝炎，詳細不明 急性肝炎 NOS B19 詳細不明のウイルス性肝炎 B19.0 詳細不明のウイルス性肝炎，肝性昏睡を伴う もの B19.9 詳細不明のウイルス性肝炎，肝性昏睡を伴わ ないもの	B17 その他の急性ウイルス肝炎 B17.0 B 型肝炎キャリア<病原体保有者>の急性デル タ（重）感染症 B17.1 急性C型肝炎 B17.2 急性E型肝炎 B17.8 その他の明示された急性ウイルス肝炎 非 A 非 B 型肝炎（急性）（ウイルス性）NEC B17.9 急性ウイルス肝炎，詳細不明 急性肝炎 NOS B19 詳細不明のウイルス肝炎 B19.0 詳細不明のウイルス肝炎，肝性昏睡を伴うもの B19.9 詳細不明のウイルス肝炎，肝性昏睡を伴わない もの ウイルス肝炎 NOS	B17 Other acute viral hepatitis B17.0 Acute delta-(super)infection of hepatitis B carrier B17.1 Acute hepatitis C B17.2 Acute hepatitis E B17.8 Other specified acute viral hepatitis Hepatitis non-A non-B (acute)(viral) NEC <u>B17.9 Acute viral hepatitis, unspecified</u> <u>Acute hepatitis NOS</u> B19 Unspecified viral hepatitis B19.0 Unspecified viral hepatitis with <u>hepatic</u> coma B19.9 Unspecified viral hepatitis without <u>hepatic</u> coma	ウイルス肝炎→ウイル ス性肝炎 以下同様 ウイルス肝炎 N O S を 削除	医学用語辞典の記載に 則る 原文にない	○ ○	
17	B17.9 急性ウイルス性肝炎，詳細不明 急性肝炎NOS 急性伝染性肝炎NOS	B17.9 急性ウイルス肝炎，詳細不明 急性肝炎NOS 急性伝染性肝炎NOS	B17.9 Acute viral hepatitis, unspecified Acute hepatitis NOS <u>Acute infectious hepatitis NOS</u>	ウイルス性肝炎	医学用語辞典に則る	○	
18	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病（B20—B24） 除外：無症候性ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 感染状態（Z 21） 妊娠，分娩及び産じょく<褥>に合併するもの （O98.7）	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病（B20—B24） 除外：無症候性ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 感染状態（Z 21） 妊娠，分娩及び産じょく<褥>に合併するもの （O98.7）	Human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20—B24) <i>Excludes:</i> asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) <u>complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u>	後天性免疫不全症候群 HIV 感染者	事務局仮訳の用語は一 般的ではない。	？	一般的見解 をとるか原 文をとる か。 ◆「辞典」 には HIV disease はな

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
							し。HIV は、ヒト免 疫不全ウィ ルス
19	B20.6 カリニ肺炎を起こしたH I V病 ニューモシスチスカリニ肺炎を起こした HIV 病	B20.6 カリニ肺炎を起こしたH I V病 ニューモシスチスカリニ肺炎を起こした HIV 病	B20.6 HIV disease resulting in Pneumocystis jirovecii pneumonia <u>HIV disease resulting in Pneumocystis carinii pneumonia</u>	① HIV 感染者に発症し たニューモシスチス 肺炎 ② <u>ニューモシスチス・</u> <u>イロベチイ肺炎を起</u> <u>こした HIV 病</u>	カリニ肺炎との病名は 現在使用しない。 <u>カリニ肺炎は旧名</u>	① ①	◆辞典なし ◆比較的大 幅な変更が 必要。
20	B33 その他のウイルス疾患，他に分類されないもの B33.4† ハンタ<Hanta> ウイルス（心）肺症 候群 [HPS] [HCPS] (J17.1*) シンノンブレ<Sin Nombre> ウイルス疾患 肺症状を伴うハンタ（Hanta）ウイルス疾患 アンデス<Andes>，ベイヨ<Bayou>およびブラッ ク・クリーク・キャナル<Black Creek Canal> ハンタウイルスに起因するハンタウイルス （心）肺症候群に伴う腎不全を分類する場合は，追加 コード（N17.9）を使用する。 除外：腎症候性出血熱<H F R S>（A98.5†）	B33 その他のウイルス疾患，他に分類されないもの B33.4† ハンタ<Hanta> ウイルス（心）肺症候群 [HPS] [HCPS] (J17.1*) シンノンブレ<Sin Nombre> ウイルス疾患 肺症状を伴うハンタ（Hanta）ウイルス疾患 アンデス<Andes>，ベイヨ<Bayou>およ びブラック・クリーク・キャナル<Black Creek Canal> ハンタウイルスに起因 するハンタウイルス（心）肺症候群に伴う腎 不全を分類する場合は，追加コード（N 17.9）を使用する。 除外：腎症候性出血熱<H F R S>（A98.5 †）	B33 Other viral diseases, not elsewhere classified <u>B33.4† Hantavirus (cardio)-pulmonary syndrome [HPS] [HCPS] (J17.1*)</u> <u>Hantavirus disease with pulmonary manifestations</u> <u>Sin Nombre virus disease</u> <u>Use additional code (N17.9) , if desired, to identify</u> <u>any renal failure associated with HPS caused by the Andes.</u> <u>Bayou and Black Creek Canal hantavirus aetiologies.</u> <u>Excludes: haemorrhagic fever with renal</u> <u>manifestations (A98.5† N08.0*)</u>				
21	B34 部位不明のウイルス感染症 除外：ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 NOS （B00.9） サイトメガロウイルス病 NOS（B25.9） レトロウイルス感染症 NOS（B33.3） 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体 （B97.-） B34.0 アデノウイルス感染症，部位不明 B34.1 エンテロウイルス感染症，部位不明 コクサッキーウイルス感染症 NOS エコーウイルス感染症 NOS B34.2 コロナウイルス感染症，部位不明	B34 部位不明のウイルス感染症 除外：ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染 症 NOS（B00.9） サイトメガロウイルス病 NOS（B25.9） レトロウイルス感染症 NOS（B33.3） 他章に分類される疾患の原因であるウイル ス病原体（B97.-） B34.0 アデノウイルス感染症，部位不明 B34.1 エンテロウイルス感染症，部位不明 コクサッキーウイルス感染症 NOS エコーウイルス感染症 NOS B34.2 コロナウイルス感染症，部位不明	B34 Viral infection of unspecified site <i>Excludes:</i> cytomegaloviral disease NOS (B25.9) herpesvirus [herpes simplex] infection NOS (B00.9) retrovirus infection NOS (B33.3) viral agents as the cause of diseases classified to other chapters (B97.-) B34.0 Adenovirus infection, unspecified <u>site</u> B34.1 Enterovirus infection, unspecified <u>site</u> Coxsackievirus infection NOS Echovirus infection NOS B34.2 Coronavirus infection, unspecified <u>site</u>				
22	B34.2 コロナウイルス感染症，詳細不明 除外：重症急性呼吸器症候群 [SARS] （U04.9）	B34.2 コロナウイルス感染症，詳細不明 除外：重症急性呼吸器症候群 [SARS] （U04.9）	B34.2 Coronavirus infection, unspecified <u><i>Excludes:</i> severe acute respiratory syndrome [SARS]</u> <u>(U04.9)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
23	B34.3 パルボウイルス感染症，部位不明 B34.4 パポバウイルス感染症，部位不明 B34.8 部位不明のその他のウイルス感染症	B34.3 パルボウイルス感染症，部位不明 B34.4 パポーバウイルス感染症，部位不明 B34.8 部位不明のその他のウイルス感染症	B34.3 Parvovirus infection, unspecified <u>site</u> B34.4 Papovavirus infection, unspecified <u>site</u> B34.8 Other viral infections of unspecified site	「パポバウイルス」	日本医学会医学用語辞 典に準じて。	○	
24	B59† ニューモシスチス症（J17.3*） 下記による肺炎： ニューモシスチスカリニ ニューモシスチスイロベチイ	B59† ニューモシスチス症（J17.3*） 下記による肺炎： ニューモシスチスカリニ ニューモシスチスイロベチイ	B59† Pneumocystosis (J17.3*) Pneumonia due to Pneumocystis carinii Pneumonia due to: · <u>Pneumocystis carinii</u> · <u>Pneumocystis jirovecii</u>				
25	B67.4 単包条虫感染症，詳細不明 犬条虫感染症	B67.4 単包条虫感染症，詳細不明 瓜実条虫感染症	B67.4 <i>Echinococcus granulosus</i> infection, unspecified <u>Dog tapeworm (infection)</u> ※第 3 回部会資料から漏れていたため追加（2010 年適 用分）	犬条虫感染症	誤記（原文と異なる）		◆「辞典」 には dog tapeworm なし。
26	B71.1 瓜実条虫症	B71.1 瓜実条虫症	B71.1 Dipylidiasis Dog tapeworm (infection) ※第 3 回部会資料から漏れていたため追加（2010 年適 用分）				
27	B81 その他の腸ぜんく蠕>虫症，他に分類されない もの 除外：広東住血線虫症（ <i>Parastrongylus</i> <i>cantonensis</i> < <i>Angiostrongylus</i> <i>cantonensis</i> >によるもの）（B83.2） B81.3 腸住血線虫症 コスタリカ住血線虫症（ <i>Parastrongylus</i> <i>costaricensis</i> < <i>Angiostrongylus</i> <i>costaricensis</i> >によるもの）	B81 その他の腸ぜんく蠕>虫症，他に分類されない もの 除外：広東住血線虫症（ <i>Parastrongylus</i> <i>cantonensis</i> < <i>Angiostrongylus</i> <i>cantonensis</i> >によるもの）（B83.2） B81.3 腸住血線虫症 コスタリカ住血線虫症（ <i>Parastrongylus</i> <i>costaricensis</i> < <i>Angiostrongylus</i> <i>costaricensis</i> >によるもの）	B81 Other intestinal helminthiasis, not elsewhere classified Excludes: angiostrongyliasis due to <i>Parastrongylus</i> <i>cantonensis</i> (B83.2) <u>angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus cantonensis</i></u> <u>(B83.2)</u> B81.3 Intestinal angiostrongyliasis Angiostrongyliasis due to <i>Parastrongylus costaricensis</i> <u>Angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus costaricensis</i></u>				
28	B81.8 その他の明示された腸ぜんく蠕>虫症 下記による感染症： ・エソファゴストム属種〔エソファゴストム 症〕 ・テルニデンス・デミヌーツス〔テルニデンス 症〕 ・テルニデンス・ディミヌーツス〔テルニデン ス症〕	B81.8 その他の明示された腸ぜんく蠕>虫症 下記による感染症： ・エソファゴストム属種〔エソファゴストム 症〕 ・テルニデンスデミヌーツス〔テルニデンス 症〕 ・テルニデンスディミヌーツス〔テルニデンス 症〕	B81.8 Other specified intestinal helminthiasis Infection due to: - <i>Oesophagostomum</i> species [oesophagostomiasis] - <u><i>Ternidens diminutus</i> [ternidensiasis]</u> - <i>Ternidens diminutus</i> [ternidensiasis]	テルニデンス・デミヌ ーツス テルニデンス・ディミ ヌーツス	・を入れるか、1 マス あけるか、全体を統一 すべき	○	
29	B83.2 広東住血線虫症 広東住血線虫症（ <i>Parastrongylus cantonensis</i> < <i>Angiostrongylus cantonensis</i> >によるも の） 好酸球性髄膜脳炎†（G05.2*）	B83.2 広東住血線虫症 広東住血線虫症（ <i>Parastrongylus</i> <i>cantonensis</i> < <u><i>Angiostrongylus cantonensis</i></u> >によるもの） 好酸球性髄膜脳炎†（G05.2*）	B83.2: Angiostrongyliasis due to <i>Parastrongylus</i> <i>cantonensis</i> <u>Angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus cantonensis</i></u> Eosinophilic meningoencephalitis† (G05.2*)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
30	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症（B90—B94） 注：分類項目 B90—B94 は、A00—B89 に分類される病態が続発・後遺症（それ自体は他に分類される）の原因であることを示すために使用する。「続発・後遺症」とは、続発症と記載された病態を含む他、上記の分類項目（A00—B89）に分類できる疾患はもはや存在しない確証がある場合には、その後遺症も含んでいる。本分類項目の使用の際には、関連する疾病または死亡コーディングルールを参照する。 慢性感染症については使用しない。現在の感染症を慢性又は活動性感染症に適宜コードする。	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症（B90—B94） 注：分類項目 B90—B94 は、A00—B89 に分類される病態が続発・後遺症（それ自体は他に分類される）の原因であることを示すために使用する。「続発・後遺症」とは、続発症と記載された病態を含む他、上記の分類項目（A00—B89）に分類できる疾患はもはや存在しない確証がある場合には、その後遺症も含んでいる。本分類項目の使用の際には、関連する疾病または死亡コーディングルールを参照する。 慢性感染症については使用しない。現在の感染症を慢性又は活動性感染症に適宜コードする。	Sequelae of infectious and parasitic diseases (B90-B94) Note: These categories <u>B90-B94</u> are to be used to indicate conditions in categories <u>A00-B89</u> as the cause of sequelae, which are themselves classified elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such; they also include late effects of diseases classifiable to the above categories if there is evidence that the disease itself is no longer present. For use of these categories, reference should be made to the morbidity or mortality coding rules and guidelines in Volume 2. <u>Not to be used for chronic infections. Code current infections to chronic or active infectious disease as appropriate.</u>				
31	B91 灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症 除外：ポリオ後症候群（G14）	B91 灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症 除外：ポリオ後症候群（G14）	B91 Sequelae of poliomyelitis <u>Excludes: postpolio syndrome (G14)</u>				
32	細菌，ウイルスおよびその他の病原体（B95—B98） 注：本分類項目は一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類項目は他章に分類される疾患における感染病原体を明示する必要がある場合に補助コード又は追加コードとして設置されたものである。 B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体 B98 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された感染性病原体 B98.0 他章に分類される疾患の原因であるヘリコバクター・ピロリ [H.pylori] B98.1 他章に分類される疾患の原因であるビブリオ・バルニフィカス	細菌，ウイルスおよびその他の病原体（B95—B98） 注：本分類項目は一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類項目は他章に分類される疾患における感染病原体を明示する必要がある場合に補助コード又は追加コードとして設置されたものである。 B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体 B98 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された感染性病原体 B98.0 他章に分類される疾患の原因であるヘリコバクター・ピロリ [H.pylori] B98.1 他章に分類される疾患の原因であるビブリオ・バルニフィカス	Bacterial, viral and other infectious agents (B95–B978) <i>Note:</i> These categories should never be used in primary coding. They are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the infectious agent(s) in diseases classified elsewhere. B96 Other <u>specified</u> bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters B98 <u>Other specified infectious agents as the cause of diseases classified to other chapters</u> <u>B98.0 Helicobacter pylori [H.pylori] as the cause of diseases classified to other chapters</u> <u>B98.1 Vibrio vulnificus as the cause of diseases classified to other chapters</u>				
33	B96.5 他章に分類される疾患の原因である緑膿菌 <P.aeruginosa>	B96.5 他章に分類される疾患の原因である緑膿菌 <P.aeruginosa>	B96.5 Pseudomonas (aeruginosa)(mallei)(pseudomallei) as the cause of diseases classified to other chapters				
34	B97.8 他章に分類される疾患の原因であるその他のウイルス病原体 ヒト・メタニューモウイルス	B97.8 他章に分類される疾患の原因であるその他のウイルス病原体 ヒト・メタニューモウイルス	B97.8 Other viral agents as the cause of diseases classified to other chapters <u>Human metapneumovirus</u>				
35	第Ⅱ章 新生物（C00—D48） 本章は新生物の下記の中間分類項目群から構成されている： C00-C97 悪性新生物	第Ⅱ章 新生物（C00—D48） 本章は新生物の下記の中間分類項目群から構成されている： C00-C97 悪性新生物	Chapter II Neoplasms (C00-D48) This chapter contains the following broad groups of neoplasms: <u>C00-C97 Malignant neoplasms</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：非ろ〈濾〉胞性リンパ腫 ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C82.-） ホジキン〈Hodgkin〉病（C81.-） 成熟T/NK細胞リンパ腫（C84.-） 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型（C85-） 2013	除外：非ろ〈濾〉胞性リンパ腫 ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C82.-） ホジキン〈Hodgkin〉病（C81.-） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-） 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型（C85-） 2013	<i>Excludes: diffuse non-Hodgkin lymphoma non-follicular lymphoma (C83.-) <u>follicular lymphoma (C82.-)</u> Hodgkin's disease (C81.-) <u>mature T/NK-cell lymphomas (C84.-)</u> non-Hodgkin's lymphoma, other and unspecified types (C82-C85.-)</i>				
	C26.1 脾 除外：非ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C83.-） ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C82.-） ホジキン〈Hodgkin〉リンパ腫（C81.-） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-） 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型（C85-）	C26.1 脾 除外：非ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C83.-） ろ〈濾〉胞性リンパ腫（C82.-） ホジキン〈Hodgkin〉リンパ腫（C81.-） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-） 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型（C85-）	C26.1 Spleen <i>Excludes: Hodgkin <u>lymphoma</u> disease (C81.-)</i>				
39	C69.4 毛様体 C69.9 眼，部位不明 眼球	C69.4 毛様体 C69.9 眼，部位不明 眼球	C69.4 Ciliary body Eye C69.9 Eye, unspecified <u>Eye</u>				
40	C76 その他及び部位不明確の悪性新生物 除外：… ・部位不明（C80.-）	C76 その他及び部位不明確の悪性新生物 除外：… ・部位不明（C80.-）	C76 Malignant neoplasm of other and ill-defined sites <i>Excludes: …</i> unspecified site (C80.-)				
41	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物（C81-C86, C96.-）	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物（C81-C86, C96.-）	C77.- Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes <i>Excl.: malignant neoplasm of lymph nodes, specified as primary (C81-C87<u>C86</u>, C96.-)</i>				
42	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物（C81－ C86, C96.-）	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物（C81－ C86, C96.-）	C77.- Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes <i>Excl.: malignant neoplasm of lymph nodes, specified as primary (C81-C87<u>C86</u>, C96.-)</i>				
43	C78.7 肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物	C78.7 肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物	C78.7 Secondary malignant neoplasm of liver <u>and intrahepatic bile duct</u>				
44	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物 C79.8 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物 C79.8 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	C79 Secondary malignant neoplasm of other <u>and unspecified</u> sites C79.8 Secondary malignant neoplasm of other specified sites				
45	C79.9 続発性悪性新生物，部位不明 播種性（続発性）： ・がん NOS	C79.9 続発性悪性新生物，部位不明 播種性（続発性）： ・がん NOS	C79.9 Secondary malignant neoplasm, unspecified site <u>Disseminated (secondary):</u> <u>cancer NOS</u> <u>malignancy NOS</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・悪性腫瘍 NOS 全身性（続発性）： ・がん NOS ・悪性腫瘍 NOS 続発性多発がん＜重複がん＞NOS 肉腫症（続発性）NOS	・悪性腫瘍 NOS 全身性（続発性）： ・がん NOS ・悪性腫瘍 NOS 続発性多発がん＜重複がん＞NOS 肉腫症（続発性）NOS	Generalized (secondary): - cancer NOS - malignancy NOS Multiple <u>secondary</u> cancer (secondary) NOS <u>Sarcomatosis (secondary) NOS</u> Excludes: disseminated malignant neoplasm, no primary indicated (C80.-)				
46	C80 悪性新生物，部位が明示されていないもの C80.0 悪性新生物，原発部位不明と記載されたもの 原発部位不明	C80 悪性新生物，部位が明示されていないもの C80.0 悪性新生物，原発部位不明と記載されたもの 原発部位不明	C80 Malignant neoplasm, without specification of site Cancer Carcinoma Carcinomatosis Generalized: cancer malignancy Malignancy Multiple cancer Malignant cachexia Primary site unknown } unspecified site (primary) (secondary) <u>C80.0 Malignant neoplasm, primary site unknown, so stated</u> <u>Primary site unknown</u> <u>C80.9 Malignant neoplasm, unspecified</u>				
47	C80.9 悪性新生物，原発部位詳細不明 がん NOS 癌（腫）NOS 悪性腫瘍 NOS 悪性悪液質 NOS 多発がん＜重複がん＞NOS 除外：続発性悪性新生物，部位不明（C79.9）	C80.9 悪性新生物，原発部位詳細不明 がん NOS 癌（腫）NOS 悪性腫瘍 NOS 悪性悪液質 NOS 多発がん＜重複がん＞NOS 除外：続発性悪性新生物，部位不明（C79.9）	C80.9 Malignant neoplasm, <u>primary site unspecified</u> Cancer NOS Carcinoma NOS Malignancy NOS Malignant cachexia NOS Multiple cancer NOS Excludes: multiple secondary cancer NOS (C79.9) <u>secondary malignant neoplasm, unspecified site (C79.9)</u>				
48	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物，原発と記載された又は推定されたもの （C81-C96） 除外：リンパ節の続発性および詳細不明の新生物 （C77.-）	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物，原発と記載された又は推定されたもの （C81-C96） 除外：リンパ節の続発性および詳細不明の新生物 （C77.-）	Malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue <u>Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C81-C96)</u> <i>Note:</i> The terms used in categories C82-C85 for non-Hodgkin's lymphomas are those of the Working Formulation, which attempted to find common ground among several major classification schemes. The terms used in these schemes are not given in the Tabular List but appear in the Alphabetical Index; exact equivalence with the terms appearing in the Tabular List is not always possible. <i>Includes:</i> morphology codes M959-M994 with behaviour code /3. <i>Excludes:</i> secondary and unspecified neoplasm of lymph nodes (C77.-)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
49	C81 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.0 結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.1 結節硬化型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.2 混合細胞型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.3 リンパ球減少型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.4 高リンパ球型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 除外：結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫（C81.0） C81.7 その他の古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明の型 C81.9 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明 2013	C81 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.0 結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.1 結節硬化型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.2 混合細胞型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.3 リンパ球減少型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.4 高リンパ球型古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 除外：結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫（C81.0） C81.7 その他の古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明の型 C81.9 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明 2013	C81 Hodgkin's disease-lymphoma <i>Includes:</i> morphology codes M965-M966 with behaviour code /3 C81.0 Lymphocytic predominance Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma Lymphocytic histiocytic predominance C81.1 Nodular sclerosis classical Hodgkin lymphoma C81.2 Mixed cellularity classical Hodgkin lymphoma C81.3 Lymphocytic depletion Lymphocyte depleted classical Hodgkin lymphoma C81.4 Lymphocyte-rich classical Hodgkin lymphoma <i>Excludes:</i> nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma (C81.0) C81.7 Other classical Hodgkin's disease lymphoma Classic Hodgkin lymphoma, type not specified C81.9 Hodgkin's disease-lymphoma, unspecified				
	C81 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.0 結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.1 結節硬化型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.2 混合細胞型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.3 リンパ球減少型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.4 リンパ球豊富型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 除外：結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫（C81.0） C81.7 その他の（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明の型 C81.9 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明	C81 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.0 結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.1 結節硬化型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.2 混合細胞型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.3 リンパ球減少型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 C81.4 リンパ球豊富型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 除外：結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫（C81.0） C81.7 その他の（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 古典的ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明の型 C81.9 ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明	C81 Hodgkin lymphoma C81.0 Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma C81.1 Nodular sclerosis (classical) Hodgkin lymphoma C81.2 Mixed cellularity (classical) Hodgkin lymphoma C81.3 Lymphocyte depleted (classical) Hodgkin lymphoma C81.4 Lymphocyte-rich (classical) Hodgkin lymphoma C81.7 Other (classical) Hodgkin lymphoma C81.9 Hodgkin lymphoma, unspecified				
50	C82 ろ＜濾＞胞性リンパ腫 包含：びまん性領域を伴う又は伴わないろ＜濾＞胞性リンパ腫	C82 ろ＜濾＞胞性リンパ腫 包含：びまん性領域を伴う又は伴わないろ＜濾＞胞性リンパ腫	C82 Follicular (nodular) non-Hodgkin's lymphoma <i>Includes:</i> follicular non-Hodgkin's lymphoma with or without diffuse areas morphology code M969 with behaviour code /3 <i>Excludes:</i> mature T/NK -cell non-Hodgkin				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：成熟T/NK細胞リンパ腫（C84.-）	除外：成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-）	lymphoma(C84.-) ※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞)				
51	C82.0 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅠ C82.1 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅡ C82.2 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅢ，詳細不明 C82.3 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅢa C82.4 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅢb C82.5 びまん性ろ〈濾〉胞中心リンパ腫 C82.6 皮膚ろ〈濾〉胞中心リンパ腫 C82.7 ろ〈濾〉胞性リンパ腫のその他の型 C82.9 ろ〈濾〉胞性リンパ腫，詳細不明 結節性リンパ腫N O S C83 非ろ〈濾〉胞性リンパ腫 C83.0 小細胞型B細胞性リンパ腫 リンパ球形質細胞性リンパ腫 筋内性〈節性〉辺縁帯リンパ腫 B-CLLの非白血病性変異 脾性辺縁帯リンパ腫 除外：慢性リンパ球性白血病（C91.1） ワルデンストレーム〈Waldenström〉 マクログロブリン血症（C88.0） 成熟T/NK細胞リンパ腫（C84.-）	C82.0 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅠ C82.1 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅡ C82.2 ろ〈濾〉胞性リンパ腫 グレードⅢ，詳細不明 C82.3 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅢa C82.4 ろ〈濾〉胞性リンパ腫グレードⅢb C82.5 びまん性ろ〈濾〉胞中心リンパ腫 C82.6 皮膚ろ〈濾〉胞中心リンパ腫 C82.7 ろ〈濾〉胞性リンパ腫のその他の型 C82.9 ろ〈濾〉胞性リンパ腫，詳細不明 結節性リンパ腫N O S C83 非ろ〈濾〉胞性リンパ腫 C83.0 小細胞型 B 細胞性リンパ腫 リンパ球形質細胞性リンパ腫 筋内性辺縁層リンパ腫 B-CLL の非白血病性変異 脾性辺縁層リンパ腫 除外：慢性リンパ球性白血病（C91.1） ワルデンストレーム〈Waldenström〉 マクログロブリン血症（C88.0） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-）	C82.0 Small cleaved cell, f <u>Follicular lymphoma grade I</u> C82.1 Mixed small cleaved and large cell, f <u>Follicular lymphoma grade II</u> C82.2 Large cell, f <u>Follicular lymphoma grade III, unspecified</u> C82.3 <u>Follicular lymphoma grade IIIa</u> C82.4 <u>Follicular lymphoma grade IIIb</u> C82.5 <u>Diffuse follicle centre lymphoma</u> C82.6 <u>Cutaneous follicle centre lymphoma</u> C82.7 <u>Other types of follicular</u> non-Hodgkin's lymphoma C82.9 <u>Follicular</u> non-Hodgkin's lymphoma, unspecified Nodular non-Hodgkin's lymphoma NOS C83 Diffuse non-Hodgkin's <u>Non-follicular lymphoma</u> Includes: morphology codes M9593, M9595, M967 M968 with behaviour code /3 C83.0 Small cell (diffuse) B-cell lymphoma <u>Lymphoplasmacytic lymphoma</u> <u>Nodal marginal zone lymphoma</u> <u>Non-leukaemic variant of B-CLL</u> <u>Splenic marginal zone lymphoma</u> <u>Excludes: chronic lymphocytic leukaemia (C91.1)</u> <u>Waldenström macroglobulinaemia (C88.0)</u> <u>mature T/NK -cell lymphoma (C84.-)</u> ※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞)	筋内性〈節性〉 「層」→帯	 ○ ○		
52	C83.1 マントル細胞リンパ腫 中心細胞性リンパ腫悪性リンパ腫ポリポーシス C83.3 びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 未分化（型） CD30 陽性 胚中心芽球型 免疫芽球型 形質芽球型 明示されない亜型 高 T 細胞	C83.1 マントル細胞リンパ腫 中心細胞性リンパ腫悪性リンパ腫ポリポーシス C83.3 びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 未分化（型） CD30 陽性 胚中心芽球型 免疫芽球型 形質芽球型 明示されない亜型 高 T 細胞	C83.1 Small cleaved cell (diffuse) <u>Mantle cell lymphoma</u> <u>Centrocytic lymphoma</u> <u>Malignant lymphomatous polyposis</u> C83.2 Mixed small and large cell (diffuse) C83.3 Large cell (diffuse) <u>Diffuse large B-cell lymphoma</u> <u>Anaplastic</u> <u>CD30-positive</u> <u>Centroblastic</u> <u>Immunoblastic</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：縦隔（胸腺）大細胞型B細胞性リンパ腫（C85.2） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-）	除外：縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫（C85.2） 成熟 T/NK 細胞リンパ腫（C84.-）	<u>Plasmablastic Subtype not specified T-cell rich</u> <u>Reticulum-cell sarcoma</u> <u>Excludes: mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma (C85.2)</u> <u>mature T/NK -cell lymphoma (C84.-)</u> ※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞等)				
53	C83.4 免疫芽球型（びまん性）	C83.4 免疫芽球型（びまん性）	C83.4 Immunoblastic (diffuse)				
54	C83.5 リンパ芽球性（びまん性）リンパ腫 B 前駆細胞性リンパ腫 リンパ芽球性 B 細胞性リンパ腫 リンパ芽球性リンパ腫 NOS リンパ芽球性 T 細胞リンパ腫 T 前駆細胞リンパ腫	C83.5 リンパ芽球性（びまん性）リンパ腫 B 前駆細胞性リンパ腫 リンパ芽球性 B 細胞性リンパ腫 リンパ芽球性リンパ腫 NOS リンパ芽球性 T 細胞リンパ腫 T 前駆細胞リンパ腫	C83.5 Lymphoblastic (diffuse) <u>lymphoma</u> <u>B-precursor lymphoma</u> <u>Lymphoblastic B-cell lymphoma</u> <u>Lymphoblastic lymphoma NOS</u> <u>Lymphoblastic T-cell lymphoma</u> <u>T-precursor lymphoma</u>				
55	C83.7 バーキット〈Burkitt〉リンパ腫 異型バーキット〈Burkitt〉リンパ腫 “バーキット〈Burkitt〉様”リンパ腫 除外：成熟 B 細胞性白血病バーキット〈Burkitt〉型（C91.8） C83.8 その他の非ろ〈濾〉胞性リンパ腫，詳細不明 原発性滲出性 B 細胞性リンパ腫 血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫 リンパ様肉芽腫症 除外：縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫（C85.2） 高T細胞B細胞性リンパ腫（C83.3） C83.9 非ろ〈濾〉胞性（びまん性）リンパ腫，詳細不明	C83.7 バーキット〈Burkitt〉リンパ腫 異型バーキット〈Burkitt〉リンパ腫 “バーキット〈Burkitt〉様”リンパ腫 除外：成熟 B 細胞性白血病バーキット〈Burkitt〉型（C91.8） C83.8 その他の非ろ〈濾〉胞性リンパ腫，詳細不明 原発性滲出性 B 細胞性リンパ腫 血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫 リンパ様肉芽腫症 除外：縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫（C85.2） 高 T 細胞 B 細胞性リンパ腫（C83.3） C83.9 非ろ〈濾〉胞性（びまん性）リンパ腫，詳細不明	C83.6 Undifferentiated (diffuse) C83.7 Burkitt's tumour lymphoma <u>Atypical Burkitt lymphoma</u> <u>“Burkitt-like” lymphoma</u> <u>Excludes: mature B-cell leukaemia Burkitt-type (C91.8)</u> C83.8 Other types of diffuse non-Hodgkin's non-follicular lymphoma <u>Primary effusion B-cell lymphoma</u> <u>Intravascular large B-cell lymphoma</u> <u>Lymphoid granulomatosis</u> <u>Excludes: mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma (C85.2)</u> <u>T-cell rich B-cell lymphoma (C83.3)</u> C83.9 Non-follicular (diffuse) non-Hodgkin's lymphoma, unspecified				
56	C84 成熟 T/NK 細胞リンパ腫 C84.0 菌状息肉症 C84.1 セザリー〈Sézary〉病 C84.4 末梢性 T 細胞リンパ腫，他に分類されないもの レンネルト〈Lennert〉リンパ腫 リンパ類上皮性リンパ腫 C84.5 その他の成熟 T/NK 細胞リンパ腫 注：特定のリンパ腫と関連して T 細胞の系統または障害が記載されている場合は，より特定しやすい記載名にコードする。 除外：血管性免疫芽球性 T 細胞リンパ腫	C84 成熟 T/NK 細胞リンパ腫 C84.0 菌状息肉症 C84.1 セザリー〈Sézary〉病 C84.4 末梢性 T 細胞リンパ腫，他に分類されないもの レンネルト〈Lennert〉リンパ腫 リンパ類上皮性リンパ腫 C84.5 その他の成熟 T/NK 細胞リンパ腫 注：特定のリンパ腫と関連して T 細胞の系統または障害が記載されている場合は，より特定しやすい記載名にコードする。	C84 Peripheral and cutaneous Mature T/NK-cell lymphomas Includes: morphology code M970 with behaviour code /3 C84.0 Mycosis fungoides C84.1 Sézary's disease C84.2 T-zone lymphoma C84.3 Lymphoepithelioid lymphoma Lennert's lymphoma C84.4 <u>Peripheral T-cell lymphoma, not elsewhere classified</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	(C86.5) 芽球性 NK 細胞リンパ腫（C86.4） 腸症性 T 細胞リンパ腫（C86.2） 節外性 NK 細胞リンパ腫、鼻腔型（C86.0） 肝脾型 T 細胞リンパ腫（C86.1） 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖（C86.6） 皮下脂肪組織炎様 T 細胞リンパ腫（C86.3） T 細胞白血病（C91.-） C84.6 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陽性 未分化大細胞型リンパ腫，CD30 陽性 C84.7 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陰性 除外：原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖（C86.6） C84.8 皮膚 T 細胞リンパ腫，詳細不明 C84.9 成熟 T/NK 細胞リンパ腫，詳細不明 NK/T 細胞リンパ腫 NOS 除外：成熟 T 細胞リンパ腫，他に分類されないもの（C84.4） C85 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型 C85.1 B 細胞性リンパ腫，詳細不明 注：特定のリンパ腫と関連して B 細胞の系統又は障害が記載されている場合は，より特定しやすい記載名にコードする。 C85.2 縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫 C85.7 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他の明示された型 C85.9 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫，詳細不明 リンパ腫 NOS 悪性リンパ腫 NOS 非ホジキンリンパ腫 NOS C86 T/NK 細胞リンパ腫のその他の明示された型 除外：未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陰性（C84.7） 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陽性（C84.6） C86.0 節外性 NK/T 細胞リンパ腫，鼻型 C86.1 肝脾 T 細胞リンパ腫	除外：血管性免疫芽球性 T 細胞リンパ腫（C86.5） 芽球性 NK 細胞リンパ腫（C86.4） 腸症性 T 細胞リンパ腫（C86.2） 節外性 NK 細胞リンパ腫、鼻腔型（C86.0） 肝脾型 T 細胞リンパ腫（C86.1） 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖（C86.6） 皮下脂肪組織炎様 T 細胞リンパ腫（C86.3） T 細胞白血病（C91.-） C84.6 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陽性 未分化大細胞型リンパ腫，CD30 陽性 C84.7 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陰性 除外：原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖（C86.6） C84.8 皮膚 T 細胞リンパ腫，詳細不明 C84.9 成熟 T/NK 細胞リンパ腫，詳細不明 NK/T 細胞リンパ腫 NOS 除外：成熟 T 細胞リンパ腫，他に分類されないもの（C84.4） C85 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他及び詳細不明の型 C85.1 B 細胞性リンパ腫，詳細不明 注：特定のリンパ腫と関連して B 細胞の系統又は障害が記載されている場合は，より特定しやすい記載名にコードする。 C85.2 縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫 C85.7 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他の明示された型 C85.9 非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫，詳細不明 リンパ腫 NOS 悪性リンパ腫 NOS 非ホジキンリンパ腫 NOS C86 T/NK 細胞リンパ腫のその他の明示された型 除外：未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陰性（C84.7） 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陽性（C84.6） C86.0 節外性 NK/T 細胞リンパ腫，鼻型 C86.1 肝脾 T 細胞リンパ腫	C84.5 <u>Lennert’s lymphoma</u> <u>Lymphoepithelioid lymphoma</u> Other and unspecified mature T/NK-cell lymphomas <i>Note:</i> If T-cell lineage or involvement is mentioned in conjunction with a specific lymphoma, code to the more specific description. <u>Excludes:</u> angioimmunoblastic T-cell lymphoma (C86.5) blastic NK-cell lymphoma (C86.4) enteropathy-type T-cell lymphoma (C86.2) extranodal NK-cell lymphoma, nasal type (C86.0) hepatosplenic T-cell lymphoma (C86.1) primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations (C86.6) subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma (C86.3) T-cell leukaemia (C91.-) <u>C84.6 Anaplastic large cell lymphoma, ALK-positive</u> <u>Anaplastic large cell lymphoma, CD30-positive</u> <u>C84.7 Anaplastic large cell lymphoma, ALK-negative</u> <u>Excludes:</u> primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations (C86.6) <u>C84.8 Cutaneous T-cell lymphoma, unspecified</u> <u>C84.9 Mature T/NK-cell lymphoma, unspecified</u> <u>NK/T cell lymphoma NOS</u> <u>Excludes:</u> mature T-cell lymphoma, not elsewhere classified (C84.4) C85 Other and unspecified types of non-Hodgkin’s lymphoma <i>Includes:</i> morphology codes M9590-M9592, M9594, M971 with behaviour code /3 C85.0 Lymphosarcoma C85.1 B-cell lymphoma, unspecified <i>Note:</i> If B-cell lineage or involvement is mentioned in conjunction with a specific lymphoma, code to the more specific description. <u>C85.2 Mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma</u> C85.7 Other specified types of non-Hodgkin’s lymphoma Malignant:				◆「辞典」 では、

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：α-β及びγ-Δ型 C86.2 腸症〈腸管〉型 T 細胞リンパ腫 腸症関連 T 細胞リンパ腫 C86.3 皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫 C86.4 芽球性 NK 細胞リンパ腫 C86.5 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 異常タンパク血症を伴う血管性免疫芽球性リンパ節症（AILD）	C86.1 肝脾 T 細胞リンパ腫 除外：α-β及びγ-Δ型 C86.2 腸管（症）型 T 細胞リンパ腫 腸症関連 T 細胞リンパ腫 C86.3 皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫 C86.4 芽球性 NK 細胞リンパ腫 C86.5 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 異常タンパク血症を伴う血管性免疫芽球性リンパ節症（AILD）	▲reticuloendotheliosis ▲reticulosis Microglioma C85.9 Non-Hodgkin's lymphoma, unspecified type Lymphoma NOS Malignant lymphoma NOS Non-Hodgkin's lymphoma NOS C86 Other specified types of T/NK-cell lymphoma <u>Excludes</u> : <u>anaplastic large cell lymphoma</u> <u>ALK negative (C84.7)</u> <u>anaplastic large cell lymphoma</u> <u>ALK positive (C84.6)</u> C86.0 Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type C86.1 Hepatosplenic T-cell lymphoma <u>EX.Alpha-beta and gamma- delta types</u> C86.2 Enteropathy-type (intestinal) T-cell lymphoma <u>Enteropathy associated T-cell lymphoma</u> C86.3 Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma C86.4 Blastic NK-cell lymphoma C86.5 Angioimmunoblastic T-cell lymphoma <u>Angioimmunoblastic lymphadenopathy with dysproteinaemia (AILD)</u> ※第3回部会資料から微修正（CD30 + をCD30陽性に統一）	腸症（腸管）型	Enteropathy：腸症 -type：型 (intestinal)：（腸管）	○	enteropathy→intestinal disease 腸疾患でしたが英語が完全に一致しているわけではないので、いただいた意見のままとしています。また、丸括弧はあってもなくても、山括弧は置き換え可能のため、山括弧としました。
57	C86.6 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖リンパ腫様丘疹症 原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫 原発性皮膚 CD30+大 T 細胞リンパ腫	C86.6 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖リンパ腫様丘疹症 原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫 原発性皮膚 CD30+大 T 細胞リンパ腫	C86.6 Primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations <u>Lymphomatoid papulosis</u> <u>Primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma</u> <u>Primary cutaneous CD30+large T-cell lymphoma</u>				
	C86.6 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖リンパ腫様丘疹症 原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫 原発性皮膚 CD30 陽性大 T 細胞リンパ腫	C86.6 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖リンパ腫様丘疹症 原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫 原発性皮膚 CD30 陽性大 T 細胞リンパ腫	C86.6 Primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations Lymphomatoid papulosis Primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma Primary cutaneous CD30+ <u>positive</u> large T-cell lymphoma				
58	C88 悪性免疫増殖性疾患	C88 悪性免疫増殖性疾患	C88 Malignant immunoproliferative diseases Includes: morphology code M976 with behaviour code /3 <u>Excludes: small cell B-cell lymphoma (C83.0)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
59	C88.0 ワルデンストレーム＜Waldenström＞マクログロブリン血症 IgM 産生を伴うリンパ形質細胞性リンパ腫 マクログロブリン血症（原発性）（特発性） 除外：小細胞型 B 細胞リンパ腫（C83.0）	C88.0 ワルデンストレーム＜Waldenström＞マクログロブリン血症 IgM 産生を伴うリンパ形質細胞性リンパ腫 マクログロブリン血症（原発性）（特発性） 除外：小細胞型 B 細胞リンパ腫（C83.0）	C88.0 Waldenström's macroglobulinaemia <u>Lymphoplasmacytic lymphoma with IgM-production</u> <u>Macroglobulinaemia (primary)(idiopathic</u> <u>Excl: small cell-B-cell lymphoma (C83.0)</u>				
60	C88.2 その他のH〈重〉鎖病 フランクリン〈Franklin〉病 ガンマH〈重〉鎖病 ミューH〈重〉鎖病	C88.2 その他のH〈重〉鎖病 フランクリン〈Franklin〉病 ガンマH〈重〉鎖病 ミューH〈重〉鎖病	C88.1 Alpha heavy chain disease C88.2 Gamma Other heavy chain disease Franklin's disease <u>Gamma heavy chain disease</u> <u>Mu(μ) heavy chain disease</u>				
61	C88.3 免疫増殖性小腸疾患 アルファ H<重> 鎖病 地中海リンパ腫 C88.4 節外性粘膜関連リンパ組織辺縁帯 B 細胞性リンパ腫 [MALT リンパ腫] 注： 高悪性（びまん性大細胞型）リンパ腫への移行の分類が必要な場合は、追加コード（C83.3）を使用する。 皮膚関連リンパ様組織リンパ腫（SALT リンパ腫） 気管支関連リンパ様組織リンパ腫（BALT リンパ腫） C88.7 その他の悪性免疫増殖性疾患 C88.9 悪性免疫増殖性疾患，詳細不明 免疫増殖性疾患 NOS C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物 C90.0 多発性骨髄腫 カーレル＜Kahler＞病 髄様形質細胞腫 骨髄腫症 形質細胞性骨髄腫 除外：孤立性形質細胞腫（C90.3） C90.1 形質細胞性白血病 形質細胞性白血病 C90.2 髄外（性）形質細胞腫 C90.3 孤立性形質細胞腫 限局性悪性形質細胞腫 NOS 形質細胞腫 NOS 孤立性骨髄腫 C91 リンパ性白血病 C91.0 急性リンパ芽球性白血病[ALL]	C88.3 免疫増殖性小腸疾患 アルファ H<重> 鎖病 地中海リンパ腫 C88.4 節外性粘膜関連リンパ組織 <u>辺縁帯</u> B 細胞性リンパ腫 [MALT リンパ腫] 注： 高悪性（びまん性大細胞型）リンパ腫への移行の分類が必要な場合は、追加コード（C83.3）を使用する。 皮膚関連リンパ様組織リンパ腫（SALT リンパ腫） 気管支関連リンパ様組織リンパ腫（BALT リンパ腫） C88.7 その他の悪性免疫増殖性疾患 C88.9 悪性免疫増殖性疾患，詳細不明 免疫増殖性疾患 NOS C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物 C90.0 多発性骨髄腫 カーレル＜Kahler＞病 髄様形質細胞腫 骨髄腫症 形質細胞性骨髄腫 除外：孤立性形質細胞腫（C90.3） C90.1 形質細胞性白血病 形質細胞性白血病 C90.2 髄外（性）形質細胞腫 C90.3 孤立性形質細胞腫 限局性悪性形質細胞腫 NOS 形質細胞腫 NOS 孤立性骨髄腫 C91 リンパ性白血病 C91.0 急性リンパ芽球性白血病[ALL]	C88.3 Immunoproliferative small intestinal disease <u>Alpha heavy chain disease</u> <u>Mediterranean disease lymphoma</u> C88.4 <u>Extranodal marginal zone B-cell lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue [MALT-lymphoma]</u> <u>Note: Use additional code (C83.3) if desired, to specify transition to high malignant (diffuse large cell) lymphoma</u> <u>Lymphoma of skin-associated lymphoid tissue (SALT-lymphoma)</u> <u>Lymphoma of bronchial-associated lymphoid tissue (BALT-lymphoma)</u> C88.7 Other malignant immunoproliferative diseases C88.9 Malignant immunoproliferative disease, unspecified Immunoproliferative disease NOS C90 Multiple myeloma and malignant plasma cell neoplasms Includes: morphology codes M973, M9830 with behaviour code /3 C90.0 Multiple myeloma Kahler's disease <u>Medullary plasmacytoma</u> Myelomatosis <u>Plasma cell myeloma</u> <u>Excludes: solitary myeloma plasmacytoma (C90.23)</u> C90.1 Plasma cell leukaemia <u>Plasmacytic leukaemia</u> C90.2 Plasmacytoma, extramedullary <u>Extramedullary plasmacytoma</u> Malignant plasma cell tumour NOS Plasmacytoma NOS				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	注：このコードは、前駆 T 細胞および B 細胞リンパ芽球性白血病にのみ使用する。 C91.1 B 細胞性慢性リンパ球性白血病 リンパ形質細胞性白血病 リクター症候群 除外：リンパ形質細胞性リンパ腫（C83.0）	注：このコードは、前駆 T 細胞および B 細胞リンパ芽球性白血病にのみ使用する。 C91.1 B 細胞性慢性リンパ球性白血病 リンパ形質細胞性白血病 リクター症候群 除外：リンパ形質細胞性リンパ腫（C83.0）	Solitary myeloma C90.3 Solitary plasmacytoma <u>Localized malignant plasma cell tumour NOS</u> <u>Plasmacytoma NOS</u> <u>Solitary myeloma</u> C91 Lymphoid leukaemia <i>Includes:</i> morphology codes M982, M9940- M9941 with behaviour code /3 C91.0 Acute lymphoblastic leukaemia [ALL] <u><i>Note:</i> This code should only be used for T-cell and B-cell precursor leukaemia</u> <i>Excludes:</i> acute exacerbation of chronic lymphocytic leukaemia (C91.1) C91.1 Chronic lymphocytic leukaemia of B-cell type <u>Lymphoplasmacytic leukaemia</u> <u>Richter syndrome</u> <u><i>Excludes:</i> lymphoplasmacytic lymphoma (C83.0)</u> ※第3回部会資料から微修正あり				
62	C91.3 B 細胞性前リンパ性白血病 C91.4 毛様細胞性＜hairy-Cell＞白血病 白血性細網内皮症	C91.3 B 細胞性前リンパ性白血病 C91.4 毛様細胞性＜hairy-Cell＞白血病 白血性細網内皮症	C91.2 Subacute lymphocytic leukaemia C91.3 Polymphocytic leukaemia of B-cell type C91.4 Hairy-cell leukaemia <u>Leukaemic reticuloendotheliosis</u> ※第3回部会資料から微修正あり				
63	C91.5 成人 T 細胞リンパ腫/白血病（HTLV-1 関連） 急性 慢性 リンパ腫様 くすぶり型 成人 T 細胞リンパ腫 /白血病の変異 2013	C91.5 成人 T 細胞リンパ腫/白血病（HTLV-1 関連） 急性 慢性 リンパ腫様 くすぶり型 成人 T 細胞リンパ腫 /白血病の変異 2013	C91.5 Adult T-cell lymphoma/leukaemia (HTLV-1-associated) <u>Acute</u> <u>Chronic</u> <u>Lymphomatoid</u> <u>Smouldering</u> <u>Variant of adult</u> <u>T-cell lymphoma/leukaemia</u> ※第3回部会資料から微修正あり（成人型細胞→成人T細胞）				
	C91.5 成人 T 細胞リンパ腫/白血病 [HTLV-1 関連] 急性 慢性 リンパ腫様 くすぶり型 成人 T 細胞リンパ腫 /白血病の変異	C91.5 成人 T 細胞リンパ腫/白血病 [HTLV-1 関連] 急性 慢性 リンパ腫様 くすぶり型 成人 T 細胞リンパ腫 /白血病の変異	C91.5 Adult T-cell lymphoma/leukaemia (HTLV-1-associated) <u>Acute</u> <u>Chronic</u> <u>Lymphomatoid</u> <u>Smouldering</u> } variant				
64	C91.6 T 細胞性前リンパ性白血病 C91.7 その他のリンパ性白血病 T細胞大顆粒リンパ球性白血病（関節リウマチに関連するもの）	C91.6 T 細胞性前リンパ性白血病 C91.7 その他のリンパ性白血病 T細胞大顆粒リンパ球性白血病（関節リウマチに関連するもの）	C91.6 Prolymphocytic leukaemia of T-cell type C91.7 Other lymphoid leukaemia <u>T-cell large granular lymphocytic leukaemia</u> <u>(associated with rheumatic arthritis)</u>				
65	C91.8 成熟 B 細胞性白血病バーキット〈Burkitt〉型	C91.8 成熟 B 細胞性白血病バーキット〈Burkitt〉型	C91.8 Mature B-cell leukaemia Burkitt-type				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：骨髄浸潤をほとんど伴わない又は伴わないバーキット〈Burkitt〉リンパ腫（C83.7）	除外：骨髄浸潤をほとんど伴わない又は伴わないバーキット〈Burkitt〉リンパ腫（C83.7）	<u>Excludes: Burkitt lymphoma with little or no bone marrow infiltration (C83.7)</u> ※第3回部会資料から微修正あり<Burkitt> 追加				
66	C91.9 リンパ性白血病，詳細不明 C92 骨髄性白血病 包含：白血病： ・顆粒球性 ・骨髄性 C92.0 急性骨髄芽球性白血病〔AML〕 急性骨髄芽球性白血病，最小分化 急性骨髄芽球性白血病（成熟を伴うもの） AML1/ETO AML M0 AML M1 AML M2 AML, t（8;21）を伴うもの AML（FAB 分類なし）NOS 白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血 除外：慢性骨髄性白血病の急性増悪（C92.1） C92.1 慢性骨髄性白血病[CML], BCR/ABL 陽性 慢性骨髄性白血病，フィラデルフィア染色体（Ph1）陽性 慢性骨髄性白血病，t（9；22）（q34;q11） 芽球細胞クリーゼを伴う慢性骨髄性白血病 除外：異型性慢性骨髄性白血病（C92.2） 慢性骨髄単球性白血病（C93.1） 分類不能の骨髄増殖性疾患（D47.1）	C91.9 リンパ性白血病，詳細不明 C92 骨髄性白血病 包含：白血病： ・顆粒球性 ・骨髄性 C92.0 急性骨髄芽球性白血病〔AML〕 急性骨髄芽球性白血病，最小分化 急性骨髄芽球性白血病（成熟を伴うもの） AML1/ETO AML M0 AML M1 AML M2 AML, t（8;21）を伴うもの AML（FAB 分類なし）NOS 白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血 除外：慢性骨髄性白血病の急性増悪（C92.1） C92.1 慢性骨髄性白血病[CML], BCR/ABL 陽性 慢性骨髄性白血病，フィラデルフィア染色体（Ph1）陽性 慢性骨髄性白血病，t（9；22）（q34;q11） 芽球細胞クリーゼを伴う慢性骨髄性白血病 除外：異型性慢性骨髄性白血病（C92.2） 慢性骨髄単球性白血病（C93.1） 分類不能の骨髄増殖性疾患（D47.1）	C91.9 Lymphoid leukaemia, unspecified C92 Myeloid leukaemia <i>Includes:</i> leukaemia: • granulocytic • myelogenous morphology codes M986-M988, M9930 with behaviour code /3 C92.0 Acute myeloid myeloblastic leukaemia [AML] <u>Acute myeloblastic leukaemia, minimal differentiation</u> <u>Acute myeloblastic leukaemia (with maturation)</u> <u>AML1/ETO</u> <u>AML M0</u> <u>AML M1</u> <u>AML M2</u> <u>AML with t(8;21)</u> <u>AML (without a FAB classification) NOS</u> <u>Refractory anaemia with excess blasts in transformation</u> <i>Excludes:</i> acute exacerbation of chronic myeloid leukaemia (C92.1) C92.1 Chronic myeloid leukaemia [CML], BCR/ABL-positive <u>Chronic myelogenous leukaemia, Philadelphia chromosome (Ph1) positive</u> <u>Chronic myelogenous leukaemia</u> <u>t(9;22)(q34;q11)</u> <u>Chronic myelogenous leukaemia with crisis of blast cells</u> <u>Excludes: atypical chronic myeloid leukaemia (C92.2)</u> <u>chronic myelomonocytic leukaemia (C93.1)</u> <u>unclassified myeloproliferative disease (D47.1)</u>				
67	C92.2 非定型慢性骨髄性白血病，BCR/ABL 陰性 C92.3 骨髄性肉腫 注：未成熟骨髄細胞の腫瘍 緑色腫 顆粒球性肉腫 C92.4 急性前骨髄球性白血病[PML] AML M3 AML M3, t（15;17）及び変異を伴うもの C92.5 急性骨髄単球性白血病 AML M4 AML M4 Eo, inv（16）又は t（16;16）を伴	C92.2 非定型慢性骨髄性白血病，BCR/ABL 陰性 C92.3 骨髄性肉腫 注：未成熟骨髄細胞の腫瘍 緑色腫 顆粒球性肉腫 C92.4 急性前骨髄球性白血病[PML] AML M3 AML M3, t（15;17）及び変異を伴うもの C92.5 急性骨髄単球性白血病 AML M4 AML M4 Eo, inv（16）又は t（16;16）を伴	C92.2 Subacute Atypical chronic myeloid leukaemia, BCR/ABL-negative C92.3 Myeloid sarcoma <i>Note:</i> A tumour of immature myeloid cells. Chloroma Granulocytic sarcoma C92.4 Acute promyelocytic leukaemia [PML] <u>AML M3</u> <u>AML M3 with t(15; 17) and variants</u> C92.5 Acute myelomonocytic leukaemia				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	うもの C92.6 11q23 異常を伴う急性骨髄性白血病 MLL 遺伝子変異を伴う急性骨髄性白血病 C92.7 その他の骨髄性白血病 除外：慢性好酸球性白血病[好酸球増多症候群] (D47.5) C92.8 多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病 注：既往歴に造血形成異常及び/又は骨髄異形成疾患を伴う急性骨髄性白血病 C92.9 骨髄性白血病，詳細不明 C93 単球性白血病 包含：単球様白血病 C93.0 急性単芽球性/単球性白血病 AML M5a AML M5b AML M5 C93.1 慢性骨髄単球性白血病 慢性単球性白血病 CMML-1 CMML-2 CMML，好酸球増加症を伴うもの C93.3 若年性骨髄単球性白血病 C93.7 その他の単球性白血病 C93.9 単球性白血病，詳細不明 C94 細胞型の明示されたその他の白血病 除外：形質細胞白血病（C90.1） 白血性細網内皮症（C91.4） C94.0 急性赤白血病 急性骨髄性白血病 M6（a）（B） 赤白血病 C94.2 急性巨核芽球性白血病 急性巨核球性白血病 急性骨髄性白血病，M7	うもの C92.6 11q23 異常を伴う急性骨髄性白血病 MLL 遺伝子変異を伴う急性骨髄性白血病 C92.7 その他の骨髄性白血病 除外：慢性好酸球性白血病[好酸球増多症候群] (D47.5) C92.8 多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病 注：既往歴に造血形成異常及び/又は骨髄異形成疾患を伴う急性骨髄性白血病 C92.9 骨髄性白血病，詳細不明 C93 単球性白血病 包含：単球様白血病 C93.0 急性単芽球性/単球性白血病 AML M5a AML M5b AML M5 C93.1 慢性骨髄単球性白血病 慢性単球性白血病 CMML-1 CMML-2 CMML，好酸球増加症を伴うもの C93.3 若年性骨髄単球性白血病 C93.7 その他の単球性白血病 C93.9 単球性白血病，詳細不明 C94 細胞型の明示されたその他の白血病 除外：形質細胞白血病（C90.1） 白血性細網内皮症（C91.4） C94.0 急性赤白血病 急性骨髄性白血病 M6（a）（B） 赤白血病 C94.2 急性巨核芽球性白血病 急性巨核球性白血病 急性骨髄性白血病，M7	<u>AML M4</u> <u>AML M4 Eo with inv(16) or t(16;16)</u> <u>C92.6</u> <u>Acute myeloid leukaemia with 11q23-abnormality</u> <u>Acute myeloid leukaemia with variation of MLL-gene</u> C92.7 Other myeloid leukaemia <u>Excludes: chronic eosinophilic leukaemia [hypereosinophilic syndrome] (D47.5)</u> <u>C92.8</u> <u>Acute myeloid leukaemia wiht multilineage dysplasia</u> <u>Note: Acute myeloid leukaemia with dysplasia of remaining haematopoiesis and/or myelodysplastic disease in its history.</u> C92.9 Myeloid leukaemia, unspecified C93 Monocytic leukaemia <u>Includes: monocytoid leukaemia morphology code M989 with behaviour code /3</u> C93.0 Acute <u>monoblastic/monocytic</u> leukaemia <u>AML M5a</u> <u>AML M5b</u> <u>AML M5</u> <u>Excludes: acute exacerbation of chronic monocytic leukaemia (C93.1)</u> C93.1 Chronic monocytic <u>myelomonocytic</u> leukaemia <u>Chronic monocytic leukaemia</u> <u>CMML-1</u> <u>CMML-2</u> <u>CMML with eosinophilia</u> C93.2 Subacute monocytic leukaemia <u>C93.3</u> <u>Juvenile myelomonocytic leukaemia</u> C93.7 Other monocytic leukaemia C93.9 Monocytic leukaemia, unspecified C94 Other leukaemias of specified cell type <u>Includes: morphology codes M984, M9850, M9900, M9910, M9931, M9932 with behaviour code /3</u> <u>Excludes: leukaemic reticulo endotheliosis (C91.4)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	C94.3 肥満細胞白血病 C94.4 骨髄線維症を伴う急性汎骨髄症 急性骨髄線維症 C94.6 骨髄異形成及び骨髄増殖性疾患，他に分類され ないもの C94.7 その他の明示された白血病 急性好塩基球性白血病 侵襲性 NK 細胞白血病 C95 細胞型不明の白血病 C95.0 細胞型不明の急性白血病 急性多系統白血病 急性混合系白血病 多形質性急性白血病 系統の不明確な幹細胞性白血病 <stem cell leukaemia> 除外：詳細不明の慢性白血病の急性増悪 (C95.1) C95.1 細胞型不明の慢性白血病 C95.7 細胞型不明のその他の白血病 C95.9 白血病，詳細不明 C96 リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及 び詳細不明の悪性新生物 C96.0 多病巣性及び多臓器型（播種性）ランゲルハン ス〈Langerhans〉細胞組織球症[レットレル・ ジーベ<Letterer-Siwe> 病] ヒスチオサイトーシス X, 多臓器型	C94.3 肥満細胞白血病 C94.4 骨髄線維症を伴う急性汎骨髄症 急性骨髄線維症 C94.6 骨髄異形成及び骨髄増殖性疾患，他に分類され ないもの C94.7 その他の明示された白血病 急性好塩基球性白血病 侵襲性 NK 細胞白血病 C95 細胞型不明の白血病 C95.0 細胞型不明の急性白血病 急性多系統白血病 急性混合系白血病 多形質性急性白血病 系統の不明確な幹細胞性白血病 <stem cell leukaemia> 除外：詳細不明の慢性白血病の急性増悪 (C95.1) C95.1 細胞型不明の慢性白血病 C95.7 細胞型不明のその他の白血病 C95.9 白血病，詳細不明 C96 リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及 び詳細不明の悪性新生物 C96.0 多病巣性及び多臓器型（播種性）ランゲルハン ス〈Langerhans〉細胞組織球症[レットレル・ ジーベ<Letterer-Siwe> 病] ヒスチオサイトーシス X, 多臓器型	plasma cell leukaemia (C90.1) C94.0 Acute erythraemia and erythroleukaemia <u>erythroid leukaemia</u> <u>Acute myeloid leukaemia, M6 (a)(b)</u> <u>Erythroleukaemia</u> Acute erythraemic myelosis Di Guglielmo's disease C94.1 <u>Chronic erythraemia</u> Heilmeyer-Schöner disease C94.2 <u>Acute megakaryoblastic leukaemia</u> <u>Acute megakaryocytic leukaemia</u> <u>Acute myeloid leukaemia, M7</u> <u>Leukaemia:</u> ▲ megakaryoblastic (acute) ▲ megakaryocytic (acute) C94.3 <u>Mast cell leukaemia</u> C94.4 <u>Acute panmyelosis with myelofibrosis</u> <u>Acute myelofibrosis</u> C94.5 <u>Acute myelofibrosis</u> C94.6 <u>Myelodysplastic and myeloproliferative</u> <u>disease, not elsewhere classified</u> C94.7 <u>Other specified leukaemias</u> <u>Acute basophilic leukaemia</u> <u>Aggressive NK-cell leukaemia</u> Lymphosarcoma cell leukaemia C95 <u>Leukaemia of unspecified cell type</u> <i>Includes:</i> morphology code M980 with behaviour code /3 C95.0 <u>Acute leukaemia of unspecified cell type</u> <u>Acute bilineal leukaemia</u> <u>Acute mixed lineage leukaemia</u> <u>Biphenotypic acute leukaemia</u> Blast cell leukaemia <u>Stem cell leukaemia of unclear lineage</u> <i>Excludes:</i> acute exacerbation of unspecified chronic leukaemia (C95.1) C95.1 <u>Chronic leukaemia of unspecified cell type</u> C95.2 <u>Subacute leukaemia of unspecified cell type</u> C95.7 <u>Other leukaemia of unspecified cell type</u> C95.9 <u>Leukaemia, unspecified</u> C96 <u>Other and unspecified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組織球症 NOS C96.7 リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他の 明示された悪性新生物 C96.8 組織球性肉腫 悪性組織球症 C96.9 リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性 新生物，詳細不明	ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組織球症 NOS C96.7 リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他の 明示された悪性新生物 C96.8 組織球性肉腫 悪性組織球症 C96.9 リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生 物，詳細不明	C96.8 <u>Histiocytic sarcoma</u> <u>Malignant histiocytosis</u> C96.9 Malignant neoplasm of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified ※第 3 回部会資料から微修正あり（組織球症 X→ヒス チオサイトーシスX等）				
70	D07 その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌 除外：上皮内黒色腫（D03.5） D07.5 前立腺 除外：前立腺の低度異形成（N42.3）	D07 その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌 除外：上皮内黒色腫（D03.5） D07.5 前立腺 除外：前立腺の低度異形成（N42.3）	D07 Carcinoma in situ of other and unspecified genital organs <i>Excludes:</i> melanoma in situ (D03.5) D07.5 Prostate <i>Excludes:</i> <u>Low grade dysplasia of prostate (N42.3)</u>				
71	D16 骨及び関節軟骨の良性新生物 包含：角化嚢胞性歯原性腫瘍 2013	D16 骨及び関節軟骨の良性新生物 包含：角化嚢胞性歯原性腫瘍 2013	D16 Benign neoplasm of bone and articular cartilage <i>Includes:</i> <u>Keratocystic odontogenic tumour</u>				
	D16 骨及び関節軟骨の良性新生物	D16 骨及び関節軟骨の良性新生物	D16 Benign neoplasm of bone and articular cartilage Keratocystic odontogenic tumour				
72	D29 男性生殖器の良性新生物 包含：男性生殖器の皮膚 D29.0 陰茎 D29.1 前立腺 除外：前立腺： ・肥大（N40） ・腫大（N40） ・ 前立腺（腺腫性）過形成（N40）	D29 男性生殖器の良性新生物 包含：男性生殖器の皮膚 D29.0 陰茎 D29.1 前立腺 除外：前立腺： ・肥大（N40） ・腫大（N40） ・ 前立腺（腺腫性）過形成（N40）	D29 Benign neoplasm of male genital organs <i>Includes:</i> skin of male genital organs D29.0 Penis D29.1 Prostate <i>Excludes:</i> hyperplasia of prostate (adenomatous) (N40) prostatic: • adenoma (N40) • enlargement (N40) • hypertrophy (N40)				
73	D31.4 毛様体 D31.9 眼，部位不明 眼球	D31.4 毛様体 D31.9 眼，部位不明 眼球	D31.4 Ciliary body Eyeball D31.9 Eye, unspecified <u>Eyeball</u>				
74	D45 真正赤血球増加症〈多血症〉 注：真性赤血球増加症〈多血症〉は，ICD-O 第 3 版では悪性コードに再分類されたが，D45 のコードは，引き続き性状不詳又は不明の新生 物の章で使用する。分類の修正は，ICD の改訂 まで保留する。 D46 骨髄異形成症候群 包含：	D45 真正赤血球増加症〈多血症〉 注：真性赤血球増加症〈多血症〉は，ICD-O 第 3 版では悪性コードに再分類されたが，D45 のコードは，引き続き性状不詳又は不明の新生 物の章で使用する。分類の修正は，ICD の改訂 まで保留する。 D46 骨髄異形成症候群 包含：	D45 Polycythaemia vera <u>Note: Polycythaemia vera has been reclassi fied in ICD-O Third Edition with a malignant code. The code D45 will continue to be used, although it is located in the chapter for Neoplasms of uncertain or unknown behaviour. The modification of its classification is reserved for the revision of ICD.</u> Morphology code M9950 with behaviour code /1 D46 Myelodysplastic syndromes				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	アルキル化剤関連による骨髓異形成症候群 エピポドフィロトキシン関連による骨髓異形成症候群 治療関連骨髓異形成症候群 NOS 除外:薬物誘発性再生不良性貧血（D61.1） D46.0 環状鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの 注：鉄芽球を伴わない，過剰芽球性 D46.1 環状鉄芽球を伴う不応性貧血 D46.2 芽球過剰性不応性貧血 RAEB I RAEB II	アルキル化剤関連による骨髓異形成症候群 エピポドフィロトキシン関連による骨髓異形成症候群 治療関連骨髓異形成症候群 NOS 除外:薬物誘発性再生不良性貧血（D61.1） D46.0 環状鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの 注：鉄芽球を伴わない，過剰芽球性 D46.1 環状鉄芽球を伴う不応性貧血 D46.2 芽球過剰性不応性貧血 RAEB I RAEB II	<i>Includes:</i> morphology code M998 with behaviour code /+ <u>Alkylating agent related myelodysplastic syndrome</u> <u>Epipodophyllotoxin related myelodysplastic syndrome</u> <u>Therapy related myelodysplastic syndrome NOS</u> <i>Excludes:</i> <u>drug induced aplastic anaemia (D61.1)</u> D46.0 Refractory anaemia without <u>ringed</u> sideroblasts, so stated <i>Note:</i> <u>without sideroblasts, without excess of blasts</u> D46.1 Refractory anaemia with <u>ringed</u> sideroblasts D46.2 Refractory anaemia with excess of blasts RAEB I RAEB II				
75	D46.4 不応性貧血，詳細不明 D46.5 多系統異形成を伴う不応性血球減少 D46.6 単独 del（5q）染色体異常を伴う骨髓異形成症候群 5p マイナス症候群 D46.7 その他の骨髓異形成症候群 除外：慢性骨髓単球性白血病（C93.1） D46.9 骨髓異形成症候群，詳細不明 骨髓異形成 NOS 前白血病（症候群）NOS D47 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物	D46.4 不応性貧血，詳細不明 D46.5 多系統異形成を伴う不応性血球減少 D46.6 単独 del（5q）染色体異常を伴う骨髓異形成症候群 5p マイナス症候群 D46.7 その他の骨髓異形成症候群 除外：慢性骨髓単球性白血病（C93.1） D46.9 骨髓異形成症候群，詳細不明 骨髓異形成 NOS 前白血病（症候群）NOS D47 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物	D46.3 Refractory anaemia with excess of blasts with transformation D46.4 Refractory anaemia, unspecified D46.5 Refractory anaemia with multi-lineage dysplasia D46.6 Myelodysplastic syndrome with isolated del(5q) chromosomal abnormality <u>5 q-minus syndrome</u> D46.7 Other myelodysplastic syndromes <i>Excludes:</i> <u>chronic myelomonocytic leukaemia (C93.1)</u> D46.9 Myelodysplastic syndrome, unspecified Myelodysplasia NOS Preleukaemia (syndrome) NOS D47 Other neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue <i>Includes:</i> morphology codes M974, M976, M996 M997 with behaviour code /+				
76	D47.0 性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍 無痛性全身性肥満細胞症 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 全身性肥満細胞症，クローン造血非脂肪細胞	D47.0 性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍 無痛性全身性肥満細胞症 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 全身性肥満細胞症，クローン造血非脂肪細胞	D47.0 Histiocytic and mast cell tumours of uncertain and unknown behaviour <u>Indolent systematic mastocytosis</u> Mast cell tumour NOS Mastocytoma NOS <u>Systemic mastocytosis associated with clonal</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	症に関連するもの（SM-AHNMD） 除外：（先天性）肥満細胞症（皮膚）（Q82.2） 2013	症に関連するもの（SM-AHNMD） 除外：（先天性）肥満細胞症（皮膚）（Q82.2） 2013	<u>haematopoietic non-mast-cell disease (SM-AHNMD)</u> <i>Excludes:</i> (<u>congenital</u>) mastocytosis (cutaneous) (Q82.2)				
	D47.0 性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍 無痛性全身性肥満細胞症 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 全身性肥満細胞症，クローン造血非脂肪細胞症に関連するもの（SM-AHNMD） 除外：肥満細胞症（先天性）（皮膚）（Q82.2）	D47.0 性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍 無痛性全身性肥満細胞症 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 全身性肥満細胞症，クローン造血非脂肪細胞症に関連するもの（SM-AHNMD） 除外：肥満細胞症（先天性）（皮膚）（Q82.2）	D47.0 Histiocytic and mast cell tumours of uncertain and unknown behaviour <i>Excludes:</i> (congenital) mastocytosis (<u>congenital</u>) (cutaneous)(Q82.2)				
77	D47.1 慢性骨髓増殖性疾患 慢性好中球性白血病 骨髓増殖性疾患，詳細不明 除外：異型性慢性骨髓性白血病（C92.2） 慢性骨髓性白血病[CML]BCR/ABL陽性（C92.1）	D47.1 慢性骨髓増殖性疾患 慢性好中球性白血病 骨髓増殖性疾患，詳細不明 除外：異型性慢性骨髓性白血病（C92.2） 慢性骨髓性白血病[CML]BCR/ABL 陽性（C92.1）	D47.1 Chronic myeloproliferative disease <u>Chronic neutrophilic leukaemia</u> Myelofibrosis (with myeloid metaplasia) Myeloproliferative disease, unspecified Myelosclerosis (megakaryocytic) with myeloid metaplasia <i>Excludes:</i> <u>atypical chronic myeloid leukaemia (C92.2)</u> <u>chronic myeloid leukaemia [CML] BCR/ABL-positive (C92.1)</u>				
78	D47.2 意義不明の単クローングロブリン血症（MGUS） D47.3 本態性（出血性）血小板血症 特発性出血性血小板血症 D47.4 骨髓線維症 慢性特発性骨髓線維症 骨髓線維症（特発性）（骨髓様化生を伴う） 骨髓様化生を伴う骨髓硬化症（（骨髓）巨核球性） 骨髓増殖性疾患における続発性骨髓線維症 除外：急性骨髓線維症（C94.4） D47.5 慢性好酸球性白血病〔好酸球増加症候群〕 D47.7 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物 性状不詳及び不明の組織球性腫瘍 D47.9 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物詳細不明 リンパ増殖性疾患NOS	D47.2 意義不明の単クローングロブリン血症（MGUS） D47.3 本態性（出血性）血小板血症 特発性出血性血小板血症 D47.4 骨髓線維症 慢性特発性骨髓線維症 骨髓線維症（特発性）（骨髓様化生を伴う） 骨髓様化生を伴う骨髓硬化症（（骨髓）巨核球性） 骨髓増殖性疾患における続発性骨髓線維症 除外：急性骨髓線維症（C94.4） D47.5 慢性好酸球性白血病〔好酸球増加症候群〕 D47.7 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物 性状不詳及び不明の組織球性腫瘍 D47.9 リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物詳細不明 リンパ増殖性疾患NOS	D47.2 Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS) D47.3 Essential (haemorrhagic) thrombocythaemia Idiopathic haemorrhagic thrombocythaemia D47.4 Osteomyelofibrosis <u>Chronic idiopathic myelofibrosis</u> <u>Myelofibrosis (idiopathic) (with myeloid metaplasia)</u> <u>Myelosclerosis (megakaryocytic) with myeloid metaplasia</u> <u>Secondary myelofibrosis in myeloproliferative disease</u> <i>Excludes:</i> <u>acute myelofibrosis (C94.4)</u> D47.5 Chronic eosinophilic leukaemia [hypereosinophilic syndrome] D47.7 Other specified neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue <u>Histiocytic tumours of uncertain and unknown behaviour</u> D47.9 Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified Lymphoproliferative disease NOS				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
79	D57.3 鎌状赤血球保因者 Hb-S <ヘモグロビンS> 保因者 ヘテロ複合型ヘモグロビンS [HbAS]	D57.3 鎌状赤血球保因者 Hb-S <ヘモグロビンS> 保因者 ヘテロ複合型ヘモグロビンS [HbAS]	D57.3 Sickle-cell trait Hb-S trait Heterozygous haemoglobin S [<u>HbAS</u>]				
80	D63* 他に分類される慢性疾患における貧血 D63.0* 新生物性疾患における貧血（C 00—D48 +） D63.8* 他に分類されるその他の慢性疾患における貧血 慢性腎疾患における貧血，≥第 3 期 （N18.3—N18.5 +）	D63* 他に分類される慢性疾患における貧血 D63.0* 新生物性疾患における貧血（C 00—D48 +） D63.8* 他に分類されるその他の慢性疾患における貧血 慢性腎疾患における貧血，≥第 3 期 （N18.3—N18.5 +）	D63* Anaemia in chronic diseases classified elsewhere D63.0* Anaemia in neoplastic disease（C 00— D48 +） D63.8* Anaemia in other chronic diseases classified elsewhere <u>Anaemia in chronic kidney disease > stage 3 (N18.3—N18.5+)</u>				
81	D64 その他の貧血 除外：不応性貧血： ・NOS（D46.4） ・鉄芽球を伴わないもの（D46.0） ・鉄芽球を伴うもの（D46.1） ・芽球過剰性<with excess of blasts>（D46.2） ・芽球過剰性（with excess of blasts） 移行期<with transformation>（C92.0）	D64 その他の貧血 除外：不応性貧血： ・NOS（D46.4） ・鉄芽球を伴わないもの（D46.0） ・鉄芽球を伴うもの（D46.1） ・芽球過剰性<with excess of blasts>（D46.2） ・芽球過剰性（with excess of blasts） - 移行期<with transformation>（C92.0）	D64 Other anaemias <i>Excludes:</i> refractory anaemia: • NOS (D46.4) • with excess of blasts (D46.2) • with transformation (D46.3 <u>C92.0</u>) ※第 3 回部会資料から、移行期の位置を修正				
82	D68.5 原発性血栓形成傾向 活性 C たんぱく〈蛋白〉耐性 [第 V 因子ライ デン変異]欠乏症： ・抗トロンビン ・C たんぱく〈蛋白〉 ・S たんぱく〈蛋白〉 プロトロンビン遺伝子突然変異	D68.5 原発性血栓形成傾向 活性 C たんぱく〈蛋白〉耐性 [第 V 因子ライ デン変異]欠乏症： ・抗トロンビン ・C たんぱく〈蛋白〉 ・S たんぱく〈蛋白〉 プロトロンビン遺伝子突然変異	<u>D68.5 Primary Thrombophilia</u> <u>Activated protein C resistance [factor V Leiden mutation]</u> <u>Deficiency:</u> _____ <u>antithrombin</u> _____ <u>protein C</u> _____ <u>protein S</u> <u>Prothrombin gene mutation</u>				
83	D68.6 その他の血栓形成傾向 抗カルジオリピン症候群 抗リン脂質抗体症候群 ループス抗凝固因子の存在 除外：播種性血管内凝固症候群（D65） 高ホモシステイン血症（E72.1）	D68.6 その他の血栓形成傾向 抗カルジオリピン症候群 抗リン脂質抗体症候群 ループス抗凝固因子の存在 除外：播種性血管内凝固症候群（D65） 高ホモシステイン血症（E72.1）	<u>D68.6 Other Thrombophilia</u> <u>Anticardiolipin syndrome</u> <u>Antiphospholipid syndrome</u> <u>Presence of the lupus anticoagulant</u> <u>Excludes</u> <u>disseminated intravascular coagulation (D65)</u> _____ <u>hyperhomocysteinemia (E72.1)</u>				
84	D68.8 その他の明示された凝固障害	D68.8 その他の明示された凝固障害	D68.8 Other specified coagulation defects Presence of systemic lupus erythematosus [SLE] inhibitor				
85	D70 無顆粒球症 無顆粒球性アンギーナ 乳児遺伝性無顆粒球症 コストマン<Kostmann> 病 好中球減少性脾腫 好中球減少症： ・N O S ・中毒性	D70 無顆粒球症 無顆粒球性アンギーナ 小児遺伝性無顆粒球症 コストマン<Kostmann> 病 好中球減少性脾腫 好中球減少症： ・N O S ・中毒性	D70 Agranulocytosis Incl.:Agranulocytic angina Infantile genetic agranulocytosis Kostmann disease Neutropenia: • NOS • congenital • cyclic • drug-induced • periodic	乳児遺伝性無顆粒球症	単なる訳違い。		◆辞典なし

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・先天性 ・周期性 ・薬物誘発性 ・間欠性 ・脾性（原発性） ウェルナー・シュルツ病 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（X X章）を使用する。 除外：一過性新生児好中球減少症（P 61.5）	・先天性 ・周期性 ・薬物誘発性 ・間欠性 ・脾性（原発性） ウェルナー・シュルツ病 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（X X章）を使用する。 除外：一過性新生児好中球減少症（P 61.5）	• splenic (primary) • toxic Neutropenic splenomegaly <u>Werner-Schultz disease</u> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug, if drug-induced. Excl.:transient neonatal neutropenia (P61.5)				
86	D72 白血球のその他の障害 除外：前白血病（症候群）（D46.9） 異常白血球（数）（R72） 好塩基球増加症（D75.8） 好中球減少症（D70） 免疫障害（D80—D89）	D72 白血球のその他の障害 除外：前白血病（症候群）（D46.9） 異常白血球（数）（R72） 好塩基球増加症（D75.8） 好中球減少症（D70） 免疫障害（D80—D89）	D72 Other disorders of white blood cells <i>Excludes:</i> <u>abnormal white blood cells (count) (R72)</u> basophilia (D75.8)				
87	D75 血液および造血器のその他の疾患 除外：高ガンマグロブリン血症 NOS（D89.2） リンパ節炎： ・N O S（I88.9） ・腸間膜（急性）（慢性）（I88.0） ・慢性（I88.1） ・急性（L04.-） リンパ節腫大（R59.-） D75.1 続発性＜二次性＞赤血球増加症＜多血症＞ 赤血球増加症 NOS 赤血球増加症＜多血症＞： ・NOS ・後天性 ・情動性 ・低酸素性 ・腎性 ・相対的 ・下記によるもの： ・エリスロポ（イ）エチン ・血漿量減少 ・高地性 ・ストレス 除外：赤血球増加症＜多血症＞： ・真正（D45） ・新生児（P 61.1）	D75 血液および造血器のその他の疾患 除外：高ガンマグロブリン血症 NOS（D89.2） リンパ節炎： ・N O S（I88.9） ・腸間膜（急性）（慢性）（I88.0） ・慢性（I88.1） ・急性（L04.-） リンパ節腫大（R59.-） D75.1 続発性＜二次性＞赤血球増加症＜多血症＞ 赤血球増加症 NOS 赤血球増加症＜多血症＞： ・NOS ・後天性 ・情動性 ・低酸素性 ・腎性 ・相対的 ・下記によるもの： ・エリスロポ（イ）エチン ・血漿量減少 ・高地性 ・ストレス 除外：赤血球増加症＜多血症＞： ・真正（D45） ・新生児（P 61.1）	D75 Other diseases of blood and blood-forming organs <i>Excludes:</i> enlarged lymph nodes (R59.-) hypergammaglobulinaemia NOS（D89.2） lymphadenitis: • NOS (I88.9) • acute (L04.-) • chronic (I88.1) • mesenteric (acute)(chronic) (I88.0) D75.1 Secondary polycythaemia <u>Erythrocytosis NOS</u> Polycythaemia: • <u>NOS</u> • acquired • due to: • erythropoietin • fall in plasma volume • high altitude • stress • emotional • hypoxaemic • nephrogenous • relative <i>Excludes:</i> polycythaemia: • neonatorum (P61.1) • vera (D45)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
88	D75.8 血液及び造血器のその他の明示された疾患 好塩基球増加症 D75.9 血液及び造血器の疾患，詳細不明	D75.8 血液及び造血器のその他の明示された疾患 好塩基球増加症 D75.9 血液及び造血器の疾患，詳細不明	D75.2 Essential thrombocyto- Excludes: essential (haemorrhagic) thrombocythaemia (D47.3) D75.8 Other specified diseases of blood and blood- forming organs Basophilia D75.9 Disease of blood and blood-forming organs, unspecified				
89	D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の 明示され た疾患 除外：アプト・レットレル・ジーベ〈Abt- Letterer-Siwe〉病（C96.0） 好酸球性肉芽腫（C96.6） ハンド・シューラー・クリスチャン〈 Hand-Schüller-Christian〉病 （C96.5） 組織球性肉腫（C96.8） ヒスチオサイトーシス X，多病巣性 （C96.5） ヒスチオサイトーシス X，単局性 （C96.6） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，多病巣性（C96.5） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，単局性（C96.6） 細網内皮症または細網症： ・悪性（C85.7） ・白血性（C91.4） ・非脂質性（C96.0） ・組織球性髄質性（C96.9） ・リポメラニン性（I89.8） 悪性組織球症〈malignant histiocytosis〉（C96.8） 2013	D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の 明示され た疾患 除外：(Abt)レットレル・ジーベ〈Letterer- Siwe〉病（C96.0） 好酸球性肉芽腫（C96.6） ハンド・シューラー・クリスチャン〈 Hand-Schüller-Christian〉病 （C96.5） 組織球性肉腫（C96.8） ヒスチオサイトーシス X，多病巣性 （C96.5） ヒスチオサイトーシス X，単局性 （C96.6） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，多病巣性（C96.5） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，単局性（C96.6） 細網内皮症または細網症： ・悪性（C85.7） ・白血性（C91.4） ・非脂質性（C96.0） ・組織球性髄質性（C96.9） ・リポメラニン性（I89.8） 悪性組織球症〈malignant histiocytosis〉（C96.8） 2013	D76 Certain Other specified diseases involving with participation of lymphoreticular tissue and reticulohistiocytic system tissue Excludes: (Abt-)Letterer-Siwe disease (C96.0) eosinophilic granuloma (C96.6) Hand-Schüller-Christian disease (C96.5) histiocytic sarcoma (C96.8) histiocytosis X, multifocal (C96.5) histiocytosis X, unifocal (C96.6) Langerhans-cell histiocytosis, multifocal (C96.5) Langerhans-cell histiocytosis, unifocal (C96.6) malignant histiocytosis (C96.48) reticuloendotheliosis or reticulosis: • histiocytic medullary (C96.49) • leukaemic (C91.4) • lipomelanotic (I89.8) • malignant (C85.7) • nonlipid (C96.0) ※第3回部会資料から微修正（組織球症X→ヒスチオサ イトーシスX等）				
	D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の 明示された疾患 除外：アプト・レットレル・ジーベ〈Abt-Letterer- Siwe〉病（C96.0） 好酸球性肉芽腫（C96.6） ハンド・シューラー・クリスチャン〈Hand- Schüller-Christian〉病（C96.5） 組織球性肉腫（C96.8） ヒスチオサイトーシス X，多病巣性（C96.5） ヒスチオサイトーシス X，単局性（C96.6）	D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の 明示された疾患 除外：(Abt)レットレル・ジーベ〈Letterer- Siwe〉病（C96.0） 好酸球性肉芽腫（C96.6） ハンド・シューラー・クリスチャン〈 Hand-Schüller-Christian〉病 （C96.5） 組織球性肉腫（C96.8） ヒスチオサイトーシス X，多病巣性	D76 Other specified diseases with participation of lymphoreticular and reticulohistiocytic tissue Excludes: (Abt-) Letterer-Siwe disease (C96.0) eosinophilic granuloma (C96.6) Hand-Schüller-Christian disease (C96.5) histiocytic sarcoma (C96.8) histiocytosis X, multifocal (C96.5) histiocytosis X, unifocal (C96.6) Langerhans-cell histiocytosis, multifocal (C96.5) Langerhans-cell histiocytosis, unifocal (C96.6)	アプト・レットレル・ ジーベ〈Abt-Letterer- Siwe〉病	単なる誤違い。	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組織球 症，多病巣性（C96.5） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組織球 症，単局性（C96.6） 細網内皮症： ・白血性（C91.4） ・非脂質性（C96.0） 細網症： ・組織球性髄質性（C96.8） ・リポメラニン性（I89.8） ・悪性 NOS（C86.0） 悪性組織球症<malignant histiocytosis> （C96.8）	（C96.5） ヒスチオサイトーシス X，単局性 （C96.6） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，多病巣性（C96.5） ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組 織球症，単局性（C96.6） 細網内皮症： ・白血性（C91.4） ・非脂質性（C96.0） 細網症： ・組織球性髄質性（C96.8） ・リポメラニン性（I89.8） ・悪性 NOS（C86.0） 悪性組織球症<malignant histiocytosis >（C96.8）	malignant histiocytosis (C96.8) reticuloendotheliosis; or reticulosis: ・ histiocytic medullary (C96.9) ・ leukaemic (C91.4) ・ lipomelanotic (I89.8) ・ malignant (C85.7) ・ nonlipid (C96.0) <u>reticulosis:</u> ・ <u>histiocytic medullary (C96.8)</u> ・ <u>lipomelanotic (I89.8)</u> ・ <u>malignant NOS (C86.0)</u>				
90	D76.1 血球貪食性リンパ組織球症 家族性血球貪食性細網症 単核食細胞の組織球増殖症	D76.1 血球貪食性リンパ組織球症 家族性血球貪食性細網症 単核食細胞の組織球増殖症	D76.0 Langerhans' cell histiocytosis, not elsewhere classified Eosinophilic granuloma Hand-Schüller-Christian disease Histiocytosis X (chronic) D76.1 Haemophagocytic lymphohistiocytosis Familial haemophagocytic reticulosis Histiocytoses of mononuclear phagocytes other than Langerhans' cells NOS				
91	免疫機構の障害（D80－D89） 包含：補体系欠乏症 免疫不全症，ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病を 除く サルコイドーシス 除外：ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病（B20－B24） 多（形）核好中球機能障害（D71） 自己免疫疾患（全身性）NOS（M35.9） 妊娠、分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不 全ウイルス〔HIV〕病（O98.7）	免疫機構の障害（D80－D89） 包含：補体系欠乏症 免疫不全症，ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病を 除く サルコイドーシス 除外：ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病（B20－B24） 多（形）核好中球機能障害（D71） 自己免疫疾患（全身性）NOS（M35.9） 妊娠、分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト 免疫不全ウイルス〔HIV〕病（O98.7）	Certain disorders involving the immune mechanism (D80- D89) <i>Excludes:</i> autoimmune disease (systemic) NOS (M35.9) functional disorders of polymorphonuclear neutrophils (D71) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy childbirth and the puerperium (O98.7)</u>				
92	D89 その他の免疫機構の障害，他に分類されない もの 除外：意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血 症<monoclonal gammopathy>（MGUS）	D89 その他の免疫機構の障害，他に分類されない もの 除外：意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血 症<monoclonal gammopathy>（MGUS）	D89 Other disorders involving the immune mechanism, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> hyperglobulinaemia NOS (R77.1) monoclonal gammopathy <u>of undertermined significance (MGUS) (D47.2)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	E13 その他の明示された糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・栄養障害に関連する（E12.-） ・新生児（P70.2） ・妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・1型（E10.-） ・2型（E11.-） 尿糖： ・NOS（R81） ・腎性（E74.8） 耐糖能障害（R73.0） 術後低インスリン血症（E89.1）	E13 その他の明示された糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・1型（E10.-） ・2型（E11.-） ・栄養障害に関連する（E12.-） ・妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・新生児（P70.2） 糖尿： ・NOS（R81） ・腎性（E74.8） 術後低インスリン血症（E89.1） 耐糖能障害（R73.0）	E13 Other specified diabetes mellitus <i>Excludes:</i> diabetes mellitus (in): insulin dependent (E10.-) - malnutrition-related (E12.-) - neonatal (P70.2) non-insulin dependent (E11.-) - pregnancy (gestational), childbirth and the puerperium (O24.-) <u>type 1 (E10.-)</u> <u>type 2 (E11.-)</u> glycosuria: - NOS (R81) - renal (E74.8) impaired glucose tolerance (R73.0) postsurgical hypoinsulinaemia (E89.1)	・<u>栄養障害に関連する（E12.-）</u> ・<u>新生児（P70.2）</u> ・<u>妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-）</u> ・<u>1型（E10.-）</u> ・<u>2型（E11.-）</u> <u>尿糖</u> <u>耐糖能障害</u> <u>術後低インスリン血症</u>	<u>訳の順序が間違っている</u> <u>glycosuria の訳は尿糖であり糖尿ではない</u>	○	
	E14 詳細不明の糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・栄養障害に関連する（E12.-） ・新生児（P70.2） ・妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・1型（E10.-） ・2型（E11.-） 尿糖： ・NOS（R81） ・腎性（E74.8） 耐糖能障害（R73.0） 術後低インスリン血症（E89.1）	E14 詳細不明の糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・1型（E10.-） ・2型（E11.-） ・栄養障害に関連する（E12.-） ・妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・新生児（P70.2） 糖尿： ・N O S（R81） ・腎性（R74.8） 術後低インスリン血症（E89.1） 耐糖能障害（R73.0）	E14 Unspecified diabetes mellitus <i>Excludes:</i> diabetes mellitus (in): insulin dependent (E10.-) - malnutrition-related (E12.-) - neonatal (P70.2) non-insulin dependent (E11.-) - pregnancy (gestational), childbirth and the puerperium (O24.-) <u>type 1 (E10.-)</u> <u>type 2 (E11.-)</u> glycosuria: - NOS (R81) - renal (E74.8) impaired glucose tolerance (R73.0) postsurgical hypoinsulinaemia (E89.1)	・<u>栄養障害に関連する（E12.-）</u> ・<u>新生児（P70.2）</u> ・<u>妊娠，分娩および産じょく<褥>（O24.-）</u> ・<u>1型（E10.-）</u> ・<u>2型（E11.-）</u> <u>尿糖</u> <u>耐糖能障害</u> <u>術後低インスリン血症</u>	<u>訳の順序が間違っている</u> <u>glycosuria の訳は尿糖であり糖尿ではない</u>	○	
96	E21 副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症及びその他の副甲状腺〈上皮小体〉障害 E21.2 その他の副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症 三次性副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症 除外：家族性低カルシウム尿（症）性高カルシウム血症（E83.5）	E21 副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症及びその他の副甲状腺〈上皮小体〉障害 E21.2 その他の副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症 三次性副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症 除外：家族性低カルシウム尿（症）性高カルシウム血症（E83.5）	E21 Hyperparathyroidism and other disorders of parathyroid gland E21.2 Other hyperparathyroidism <u>Tertiary hyperparathyroidism</u> <i>Excludes:</i> familial hypocalciuric hypercalcaemia (E83.5)				
97	E64 栄養失調（症）及びその他の栄養欠乏の続発・後遺症 注: 慢性栄養失調（症）または慢性栄養欠乏には使用しない。現在の栄養失調（症）または栄養欠乏をコーディングする。	E64 栄養失調（症）及びその他の栄養欠乏の続発・後遺症 注: 慢性栄養失調（症）または慢性栄養欠乏には使用しない。現在の栄養失調（症）または栄養欠乏をコーディングする。	E64 Sequelae of malnutrition and other nutritional deficiencies <u><i>Note:</i> Not to be used for chronic malnutrition or nutritional deficiency. Code these to current malnutrition or nutritional deficiency.</u> ※第3回部会資料から抜けていたため追加				
98	E64.3 くる病の続発・後遺症 変形性脊柱障害の分類が必要な場合は，追加コード（M40.1, M41.5）を使用する。	E64.3 くる病の続発・後遺症 変形性脊柱障害の分類が必要な場合は，追加コード（M40.1, M41.5）を使用する。	E64.3 Sequelae of rickets <u>Use additional code (M40.1, M41.5) if desired, to identify spinal deformity</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
99	E68 過栄養〈過剰摂食〉の続発・後遺症 注：慢性過栄養〈過剰摂取〉には使用しない。現在の過栄養〈過剰摂取〉をコーディングする。	E68 過栄養〈過剰摂食〉の続発・後遺症 注：慢性過栄養〈過剰摂取〉には使用しない。現在の過栄養〈過剰摂取〉をコーディングする。	E68 Sequelae of hyperalimentation <u><i>Note:</i> Not to be used for chronic hyperalimentation. Code these to current hyperalimentation.</u>				
100	E71.3 脂肪酸代謝障害 副腎白質ジストロフィー [アジソン・シルダー〈Addison-Schilder〉病] 筋カルニチンパルミチルトランスフェラーゼ欠損症 除外：シルダー〈Schilder〉病（G37.0）	E71.3 脂肪酸代謝障害 副腎脳白質ジストロフィー [アジソン・シルダー〈Addison-Schilder〉病] 筋カルニチンパルミチルトランスフェラーゼ欠損症 除外：シルダー〈Schilder〉病（G37.0）	E71.3 Disorders of fatty-acid metabolism Adrenoleukodystrophy [Addison-Schilder] Muscle carnitine palmityltransferase deficiency <i>Excludes:</i> Refsum's disease (G60.1) Schilder's disease (G37.0) Zellweger's syndrome (Q87.8)	副腎白質ジストロフィー —	・通常、副腎白質ジストロフィーと訳している。 ・日本小児科学会用語集および日本医学会医学用語辞典に準じて。	○	
101	E72.0 アミノ酸転送障害 シスチン蓄積症†（N29.8*） シスチン症 シスチン尿症 ファンコニー（・ドウトニー）（・デブレ）＜Fanconi（-de Toni）（-Debré）＞症候群 ハートナップ＜Hartnup＞病 ロウ＜Lowe＞症候群 除外：トリプトファン代謝障害（E70.8）	E72.0 アミノ酸転送障害 シスチン沈着症†（N29.8*） シスチン症 シスチン尿症 ハートナップ＜Hartnup＞病 ファンコニー（・ドウトニー）（・デブレ）＜Fanconi（-de Toni）（-Debré）＞症候群 ロウ＜Lowe＞症候群 除外：トリプトファン代謝障害（E70.8）	E72.0 Disorders of amino-acid transport <u>Cystine storage disease† (N29.8*)</u> Cystinosis Cystinuria Fanconi(-de Toni)(-Debré) syndrome Hartnup's disease Lowe's syndrome <i>Excludes:</i> disorders of tryptophan metabolism (E70.8)	シスチン蓄積症 <u>ファンコニー（・ドウトニー）（・デブレ）＜Fanconi（-de Toni）（-Debré）＞症候群</u> <u>ハートナップ＜Hartnup＞病</u> <u>ロウ＜Lowe＞症候群</u>	<u>翻訳の順序が間違っている</u>	○	◆ N29.8 も修正
102	E72.3 リジン及びヒドロオキシリジン代謝障害 グルタル酸尿症 ヒドロオキシリジン血症 高リジン血症 除外： レフスム＜Refsum＞病（G60.1） ツェルベガー＜Zellweger＞症候群（Q87.8）	E72.3 リジン及びヒドロオキシリジン代謝障害 グルタル酸尿症 高リジン血症 ヒドロオキシリジン血症 除外： レフスム＜Refsum＞病（G60.1） ツェルベガー＜Zellweger＞症候群（Q87.8）	E72.3 Disorders of lysine and hydroxylysine metabolism Glutaric aciduria Hydroxylysinaemia Hyperlysinaemia <i>Excludes:</i> Refsum's disease (G60.1) <u>Zellweger's syndrome (Q87.8)</u>	ヒドロオキシリジン血症 <u>高リジン血症</u>	<u>翻訳の順序が間違っている</u>	○	
103	E83.3 リン代謝障害及びホスファターゼ障害 酸ホスファターゼ欠損症 家族性低リン血症 低ホスファターゼ症 ビタミンD抵抗性： ・骨軟化症 ・くる病 除外： 成人骨軟化症（M83.-） 骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポロース＞（M80－M81）	E83.3 リン代謝障害及びホスファターゼ障害 酸ホスファターゼ欠損症 低ホスファターゼ症 家族性低リン血症 ビタミンD抵抗性： ・骨軟化症 ・くる病 除外：骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポロース＞（M80－M81） 成人骨軟化症（M83.-）	E83.3 Disorders of phosphorus metabolism and phosphatases Acid phosphatase deficiency Familial hypophosphataemia Hypophosphatasia Vitamin-D-resistant: ・osteomalacia ・rickets <i>Excludes:</i> adult osteomalacia (M83.-) : osteoporosis (M80-M81)	家族性低リン血症 <u>低ホスファターゼ症</u> 成人骨軟化症（M83.-） <u>骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポロース＞（M80－M81）</u>	<u>翻訳の順序が間違っている</u> <u>翻訳の順序が間違っている</u>	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
104	E84.1 腸の症状発現を伴うのう〈囊〉胞線維症 遠位腸閉塞症候群 のう〈囊〉胞線維症における胎便<メコニウム>イレウス†（P75*） 除外：のう〈囊〉胞線維症が存在しないことが明らかな場合の胎便<メコニウム>閉塞<イレウス>（P76.0）	E84.1 腸の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<スティックファイブローシス> 末端腸閉塞症候群 のう<囊>胞性線維症<スティックファイブローシス>における胎便<メコニウム>イレウス†（P75*） 除外：のう胞性線維症が存在しないことが明らかな場合の胎便<メコニウム>閉塞<イレウス>（P76.0）	E84.1 Cystic fibrosis with intestinal manifestations <u>Distal intestinal obstruction syndrome</u> Meconium ileus <u>in cystic fibrosis</u> + (P75*) <i>Excludes:</i> meconium obstruction (ileus) in cases where cystic fibrosis is known not to be present (P76.0)	腸の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症 遠位腸閉塞症候群 のう<囊>胞線維症	医学用語辞典に則る（カタカナ併記不要） 誤訳 「性」不要	○ ○ ○	◆辞典なし
105	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<スティックファイブローシス>	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<スティックファイブローシス>	E84.8 Cystic fibrosis with other manifestations Cystic fibrosis with combined manifestations				
106	E88 その他の代謝障害 薬物誘発性で薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。 除外：ヒスチオサイトーシスX（慢性）（C96.6） E88.0 血漿たんぱく<蛋白>代謝障害，他に分類されないもの アルファ1アンチ<抗>トリプシン欠損症 ビスアルブミン血症 除外：ワルデンストレーム<Waldenström>マクログロブリン血症（C88.0） 意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血症<monoclonal gammopathy>（MGUS）（D47.2） 多クローン性高ガンマグロブリン血症（D89.0） リポたんぱく<蛋白>代謝障害（E78.-）	E88 その他の代謝障害 薬物誘発性で薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。 除外：ヒスチオサイトーシスX（慢性）（C96.6） E88.0 血漿たんぱく<蛋白>代謝障害，他に分類されないもの アルファ1アンチ<抗>トリプシン欠損症 ビスアルブミン血症 除外：ワルデンストレーム<Waldenström>マクログロブリン血症（C88.0） 意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血症<monoclonal gammopathy>（MGUS）（D47.2） 多クローン性高ガンマグロブリン血症（D89.0） リポたんぱく<蛋白>代謝障害（E78.-）	E88 Other metabolic disorders Use additional external cause code (Chapter XX) if desired to identify drug, if drug induced. <i>Excludes:</i> Histiocytosis X (chronic) (D76.0 <u>C96.6</u>) E88.0 Disorders of plasma-protein metabolism, not elsewhere classified Excludes: disorder of lipoprotein metabolism (E78.-) monoclonal gammopathy <u>of undetermined significance</u> (MGUS) D47.2 polyclonal hypergammaglobulinaemia (D89.0) Waldenström ² macroglobulinaemia (C88.0)				
107	E88.3 腫瘍溶解症候群 腫瘍溶解（抗腫瘍薬療法に続発するもの）（自発性）	E88.3 腫瘍溶解症候群 腫瘍溶解（抗腫瘍薬療法に続発するもの）（自発性）	<u>E88.3 Tumour lysis syndrome</u> <u>Tumour lysis (following antineoplastic drug therapy)(spontaneous)</u>				
108	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症 認知症（下記における）： ・脳リピドーシス（E75.-†） ・てんかん（G40.-†） ・肝レンズ核変性症（E83.0†） ・高カルシウム血症（E83.5†） ・甲状腺機能低下症，後天性（E01.-	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症 認知症（下記における）： ・神経梅毒（A52.1†） ・トリパノソーマ症（B56.-†，B57.-†） ・甲状腺機能低下症，後天性（E01.-†，E03.-†）	F02.8* Dementia in other specified diseases classified elsewhere Dementia (in): • cerebral lipidosis (E75.-†) • epilepsy (G40.-†) • hepatolenticular degeneration (E83.0†) • hypercalcaemia (E83.5†) • hypothyroidism, acquired (E01.-†, E03.-†) • intoxications (T36-T65†)	<u>てんかん</u>		? ×	順番が違う ◆順番を原

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	†, E03.-†) ・中毒（T36－T65†） ・多発性硬化症（G35†） ・神経梅毒（A52.1†） ・ナイアシン欠乏症〔ペラグラ〕（E52†） ・結節性多発（性）動脈炎（M30.0†） ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡>（M32.-†） ・トリパノソーマ症（B56.-†, B57.-†） ・尿毒症（N18.5†） ・ビタミンB12欠乏症（E53.8†）	・ナイアシン欠乏症〔ペラグラ〕（E52†） ・ビタミンB12欠乏症（E53.8†） ・脳リポドーシス（E75.-†） ・肝レンズ核変性症（E83.0†） ・高カルシウム血症（E83.5†） ・多発性硬化症（G35†） ・てんかん（G40.-†） ・結節性多発（性）動脈炎（M30.0†） ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡>（M32.-†） ・尿毒症（N18.5†） ・中毒（T36－T65†）	- multiple sclerosis (G35†) - neurosyphilis (A52.1†) - niacin deficiency [pellagra] (E52†) - polyarteritis nodosa (M30.0†) - systemic lupus erythematosus (M32.-†) - trypanosomiasis (B56.-†, B57.-†) <u>uraemia (N18.5†)</u> - vitamin B 12 deficiency (E53.8†)				文のとおり 修正
109	F05.8 その他のせん妄 混合性病因によるせん妄 術後せん妄	F05.8 その他のせん妄 混合性病因によるせん妄 術後せん妄	F05.8 Other delirium Delirium of mixed origin <u>Postoperative delirium</u>				
110	F07.2 脳振とう<盪>後症候群 ・・・ 脳挫傷後症候群（脳症） 脳外傷後症候群・非精神病性 除外：現在の振とう<盪>症，脳（S06.0）	F07.2 脳振とう<盪>後症候群 ・・・ 頭部打撲後症候群（脳障害） 脳外傷後症候群・非精神病性 除外：現在の振とう<盪>症，脳（S06.0）	F07.2 Postconcussional syndrome Postcontusional syndrome (encephalopathy) Post-traumatic brain syndrome, nonpsychotic <u>Excludes: current concussion, brain (S06.0)</u>	脳挫傷後症候群（脳症）	Contusion は通常は挫傷と訳す。 Encephalopathy は通常は脳症と訳す。	○	◆ Contusion 挫傷 Encephalopathy 脳症 →辞典あり
111	精神作用物質使用による精神および行動の障害（F10—F19） ・・・ .6 健忘症候群 ・・・ コルサコフ<Korsakov>精神病または症候群，アルコールもしくは他の精神作用物質によるもの，または詳細不明のもの ウェルニッケ<Wernicke>病または症候群に関連する分類が必要な場合は、追加コード（E51.2† G32.8*）を使用する。	精神作用物質使用による精神および行動の障害（F10—F19） ・・・ .6 健忘症候群 ・・・ コルサコフ<Korsakov>精神病または症候群，アルコールもしくは他の精神作用物質によるもの，または詳細不明のもの ウェルニッケ<Wernicke>病または症候群に関連する分類が必要な場合は、追加コード（E51.2† G32.8*）を使用する。	Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance abuse (F10-F19)6 Amnesic syndrome ... Korsakov’s psychosis or syndrome, alcohol- or other psychoactive substance-induced or unspecified <u>Use additional code, (E51.2† G32.8*) if desired, when associated with Wernicke’s disease or syndrome.</u>				
112	精神作用物質使用による精神および行動の障害（F10—F19） ・・・ .0 急性中毒 （アルコール依存症における）急性酩酊	精神作用物質使用による精神および行動の障害（F10—F19） ・・・ .0 急性中毒 （アルコール症者の）急性酩酊	Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance abuse (F10-F19) ... The following fourth-character subdivisions are for use with categories F10-F19: .0 Acute intoxication Acute drunkenness (in alcoholism)	（アルコール（中毒）症者の）	Alcoholism は通常はアルコール中毒症と訳す。	○ ×	◆「辞典」では、 Alcoholism アルコール依存症
113	F80.1 表出性言語障害	F80.1 表出性言語障害	F80.1 Expressive language disorder				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	特異的な発達障害で、表出言語使用の能力は精神年齢に相応する水準より著しく低いが、しかし言語理解は正常範囲である。構音の異常があることもないこともある。 発達性不全失語（症）又は失語（症）、表出型 除外：知的障害＜精神遅滞＞（F70－F79） てんかんを伴う後天性失語（症）〔ランドウ・クレフナー＜Landau-Kleffner＞症候群〕（F80.3） 広汎性発達障害（F84.-） 選択（性）かん＜緘＞黙（F94.0） 不全失語（症）及び失語（症）： • NOS（R47.0） ●発達性、受容型（F80.2）	特異的な発達障害で、表出言語使用の能力は精神年齢に相応する水準より著しく低いが、しかし言語理解は正常範囲である。構音の異常があることもないこともある。 発達性不全失語（症）又は失語（症）、表出型 除外：知的障害＜精神遅滞＞（F70－F79） てんかんを伴う後天性失語（症）〔ランドウ・クレフナー＜Landau-Kleffner＞症候群〕（F80.3） 広汎性発達障害（F84.-） 選択（性）かん＜緘＞黙（F94.0） 不全失語（症）及び失語（症）： • NOS（R47.0） ●発達性、受容型（F80.2）	A specific developmental disorder... Developmental dysphasia or aphasia, expressive type <i>Excludes:</i> acquired aphasia with epilepsy [Landau-Kleffner] (F80.3) developmental dysphasia or aphasia, receptive type (F80.2) dysphasia and aphasia NOS (R47.0) <u>dysphasia and aphasia:</u> <u>• NOS (R47.0)</u> <u>• developmental, receptive type (F80.2)</u> elective mutism (F94.0) mental retardation (F70－F79) pervasive developmental disorders (F84.-)				
114	F80.2 受容性言語障害 特異的な発達障害で・・・ 先天性聴覚無知覚症 発達性： ・不全失語（症）または失語（症）、受容型 ・ウェルニッケ＜Wernicke＞の失語（症） 語ろう＜聾＞ 除外：知的障害＜精神遅滞＞（F70－F79） 不全失語（症）または失語（症）： ・NOS（R47.0） ・発達型、表出型（F80.1） てんかんを伴う後天性失語（症）〔ランドウ・クレフナー＜Landau-Kleffner＞症候群〕（F80.3） 自閉症（F84.0－F84.1） 選択（性）かん＜緘＞黙（F94.0） ろう＜聾＞にもとづく言語の遅れ（H90－H91） 広汎性発達障害(F84.-)	F80.2 受容性言語障害 特異的な発達障害で・・・ 先天性聴覚無知覚症 発達性： ・不全失語（症）または失語（症）、受容型 ・ウェルニッケ＜Wernicke＞の失語（症） 語ろう＜聾＞ 除外：知的障害＜精神遅滞＞（F70－F79） 不全失語（症）または失語（症）： ・NOS（R47.0） ・発達型、表出型（F80.1） てんかんを伴う後天性失語（症）〔ランドウ・クレフナー＜Landau-Kleffner＞症候群〕（F80.3） 自閉症（F84.0－F84.1） 選択（性）かん＜緘＞黙（F94.0） ろう＜聾＞にもとづく言語の遅れ（H90－H91）	F80.2 Receptive language disorder A specific developmental disorder.... Congenital auditory imperception Developmental: • dysphasia or aphasia, receptive type • Wernicke's aphasia Word deafness <i>Excludes:</i> acquired aphasia with epilepsy [Landau-Kleffner] (F80.3) autism (F84.0－F84.1) dysphasia and aphasia: • NOS (R47.0) • <u>developmental</u>, expressive type (F80.1) elective mutism (F94.0) language delay due to deafness (H90－H91) mental retardation (F70－F79) <u>pervasive developmental disorders (F84.-)</u>	広汎性発達障害(F84.-)	pervasive developmental disorders (F84.-)の訳が無い。	○	◆ pervasive developmental disorders 広汎性発達障害→辞典あり
115	G04.8 その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎 感染後脳炎および脳脊髄炎 NOS てんかん発作関連の分類が必要な場合は、追加コードを	G04.8 その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎 感染後脳炎および脳脊髄炎 NOS てんかん発作関連の分類が必要な場合は、追加コードを	G04.8 Other encephalitis, myelitis and Encephalomyelitis Postinfectious encephalitis and encephalomyelitis NOS <u>Use additional code, if desired, to identify any associated epileptic seizures. (G40.-).</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	使用する (G40.-)。	使用する (G40.-)。					
116	G05.1* 他に分類されるウイルス疾患における脳炎，脊髄炎及び脳脊髄炎 ・インフルエンザ（J09†，J10.8†，J11.8†）	G05.1* 他に分類されるウイルス疾患における脳炎，脊髄炎及び脳脊髄炎 ・インフルエンザ（J09†，J10.8†，J11.8†）	G05.1* Encephalitis, myelitis and encephalomyelitis in viral diseases classified elsewhere ・ influenza (<u>J09†</u> , J10.8†, J11.8†)				
117	G09 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症 注：項目 G09 は，続発・後遺症自身は他に分類されるが，G00—G08〔星印（＊）の項目を除く〕に一次分類される病態が続発・後遺症の原因であることを示すために使用される。「続発・後遺症」とは，前述の病態，後遺症と記載された病態または原病態り患後１年以上存在する病態を含んでいる。本項目の使用の際には，関連する疾病・死亡コーディングルール及びガイドラインを参照するべきである。 中枢神経系の慢性炎症性疾患には使用しない。現在の中枢神経系の炎症性疾患にコードする。	G09 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症 注：項目 G09 は，続発・後遺症自身は他に分類されるが，G00—G08〔星印（＊）の項目を除く〕に一次分類される病態が続発・後遺症の原因であることを示すために使用される。「続発・後遺症」とは，前述の病態，後遺症と記載された病態または原病態り患後１年以上存在する病態を含んでいる。本項目の使用の際には，関連する疾病・死亡コーディングルール及びガイドラインを参照するべきである。 中枢神経系の慢性炎症性疾患には使用しない。現在の中枢神経系の炎症性疾患にコードする。	G09 Sequelae of inflammatory diseases of central nervous system <i>Note:</i> This category G09 is to be used to indicate conditions whose primary classification is to G00-G08 (i.e. excluding those marked with an asterisk (*)) as the cause of sequelae, themselves classifiable elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such or as late effects, or those present one year or more after onset of the causal condition. For use of this category reference should be made to the relevant morbidity and mortality coding rules and guidelines in Volume 2. <u>Not to be used for chronic inflammatory disease of the central nervous system. Code these to current inflammatory disease of the central nervous system.</u>	中枢神経系の炎症性疾患の後遺症 注：項目 G09 は，後遺症自身は————— ————— 次分類される病態が後遺症の原因であることを示すために使用される。「後遺症」とは，	Sequelae は後遺症でよい。	○	◆ Sequelae 続発症、後遺症→辞典
118	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症（G10—G14） G14 ポリオ後症候群 灰白髄炎後症候群 除外：灰白髄炎〈ポリオ〉の続発・後遺症（B91）	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症（G10—G13） G14 ポリオ後症候群 小児麻痺症候群 除外：灰白髄炎〈ポリオ〉の続発・後遺症（B91）	Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10-G13G14) G14 Postpolio syndrome Postpolio myelitic syndrome <u>Excludes:</u> sequelae of poliomyelitis (B91)	①灰白髄炎後症候群 ②ポリオ後症候群＜ Postpolio myelitic syndrome＞ 除外：灰白髄炎〈ポリオ〉の後遺症（B91）	「小児麻痺」は不適切な旧語。 Sequelae は後遺症でよい。	②	◆Postpolio myelitic syndrome 灰白髄炎後症候群→辞典あり ◆Sequelae 続発症、後遺症→辞典より
119	G21 続発性パーキンソン〈Parkinson〉症候群 G21.4 血管性パーキンソン〈Parkinson〉症候群	G21 続発性パーキンソン〈Parkinson〉症候群 G21.4 血管性パーキンソン〈Parkinson〉症候群	G21 Secondary Parkinsonism G21.4 Vascular parkinsonism				
120	G23.1 進行性核上性眼筋麻痺 [スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson- Olszewski>病] 進行性核上性麻痺	G23.1 進行性核上性（眼筋）麻痺 [スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson- Olszewski>病] 進行性核上性麻痺	G23.1 Progressive supranuclear ophthalmoplegia [Steele-Richardson-Olszewski] <u>Progressive supranuclear palsy</u> ※訳語の修正による４桁コードタイトルの修正（スチール→スティール等）あり	進行性核上性眼筋麻痺	Progressive supranuclear palsy の訳と区別するためにも、直訳であれば（）は不要である。	○	
121	G25 その他の錐体外路障害および異常運動	G25 その他の錐体外路障害および異常運動	G25 Other extrapyramidal and movement disorders G25.8 Other specified extrapyramidal and movement	アカシジア（薬物誘	akathisiaは静座不能，	①	◆akathisia

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	G25.8 その他の明示された錐体外路障害および異常運動 静坐不能〈座位不能〉〈アカシジア〉（薬物誘発）（治療誘発） 下肢むずむず〈restless leg〉症候群 全身強直〈stiff-man〉症候群 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	G25.8 その他の明示された錐体外路障害および異常運動 アカシジア（薬物誘発）（治療誘発） 不安脚〈restless leg〉症候群 スティフ・マン〈stiff-man〉症候群 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	disorders <u>Akathisia (drug-induced) (treatment-induced)</u> Restless legs syndrome Stiffman syndrome <u>Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to</u> <u>identify drug, if drug-induced</u>	発）（治療誘発）→ ①静坐不能＜アカシジア＞（薬物誘発）（治療誘発） ②座位不能＜アカシジア＞（薬物誘発）（治療誘発） 不安脚＜restless leg＞症候群→ ③むずむず脚＜restless legs＞症候群 ④下肢静止不能＜レストレスレッグス＞症候群 ⑤脚不穏症候群 ⑥レストレスレッグス症候群 スティフ・パーソン＜stiff-person＞症候群	あるいはアカシジアと訳されている。 日本内科学会では座位不能とも訳されている。 日本医学会医学用語辞典に準じて。 Restless legs syndromeは、下肢静止不能症候群と訳されているが、日本内科学会では脚不穏症候群とも訳されている。また、日本睡眠学会では、レストレスレッグス症候群、あるいはむずむず脚症候群が推奨されている。 スティフ・マン＜stiff-man＞症候群は性別に関係なく発症するので、スティフ・パーソン＜stiff-person＞症候群と呼称されることが多い。	③ ④ ○	は「辞典」では、静坐不能、座位不能、アカシジア、正座不能。折衷案として御意見を「辞典」の順に併記させていただきました。 ◆「辞典」では、restless legs syndrome 下肢むずむず症候群 ◆「辞典」では、stiff-man syndrome は、全身強直症候群。Stiff-person は、スティフ・パーソン症候群。訳に諸説あるとのこと

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
							で英語は残 しました。
122	G31.0 限局性脳萎縮（症） 前頭側頭型認知症（FTD） ピック<Pick>病 進行性失語（症）	G31.0 限局性脳萎縮（症） 前頭側頭型認知症（FTD） ピック<Pick>病 進行性単独失語（症）	G31.0 Circumscribed brain atrophy <u>Frontotemporal dementia (FTD)</u> Pick's disease Progressive isolated aphasia	進行性失語（症）	進行性失語（症）と通 称されている。	○	
123	G31.8 神経系のその他の明示された変性疾患 灰白質変性 [アルパース<Alpers>病] レヴィ小体（型認知症）（病） 亜急性えく壊>死性脳症 [リー<Leigh>病]	G31.8 神経系のその他の明示された変性疾患 灰白質変性 [アルパース<Alpers>病] レーヴィ小体（認知症）（疾患） 亜急性えく壊>死性脳症 [リー<Leigh> 病]	G31.8 Other specified degenerative diseases of nervous system Grey-matter degeneration [Alpers] <u>Lewy body(ies)(dementia)(disease)</u> Subacute necrotizing encephalopathy [Leigh]	<u>レビー小体</u> レビー小体型認知症 レビー小体病	Lewy は、レビーと訳 されており、 レビー小体病はレビー 小体型認知症、パーキ ンソン病、純粋自律神 経不全症の総称であ り、レビー小体型認知 症はレビー小体病の中 で認知症で発症するも のの呼称であるため、 別々の記載が必要であ る。	○	◆ Lewy body は「辞 典」でレヴ ィ小体
124	G61.0 ギラン・バレー<Guillain-Barré>症候群 急性感染（後）性多発神経炎 ミラー・フィッシャー<Miller Fisher>症候群	G61.0 ギラン・バレー<Guillain-Barré>症候群 急性感染（後）性多発神経炎 ミラー・フィッシャー<Miller Fisher>症候群	G61.0 Guillain-Barré syndrome Acute (post-) infective polyneuritis <u>Miller Fisher Syndrome</u>	Fisher syndrome とし て、フィッシャー症候 群と訳す。	Miller Fisher が単一人 であることから、近 年、フィッシャー< Fisher>症候群を用い ることが多くなってい る、	○	◆「辞典」 では、Miller Fisher syndrome は、ミラ ー・フィッ シャー症候 群
125	G73.1* ランバート・イートン< Lambert-Eaton> 症候群（C00-D48+）	G73.1* ランバート・イートン< Lambert-Eaton> 症候群（C00-D48+）	G73.1* Eaton - <u>Lambert-Eaton</u> syndrome (C00-D48+)				
126	G99.8* 他に分類される疾患における神経系のその 他の明示された障害 尿毒症性麻痺（N18.5+）	G99.8* 他に分類される疾患における神経系のその 他の明示された障害 尿毒症性麻痺（N18.5+）	G99.8* Other specified disorders of nervous system in diseases classified elsewhere <u>Uraemic paralysis (N18.5+)</u>				
127	H32.8* 他に分類される疾患におけるその他の網脈 絡膜の障害 タンパク〈蛋白〉尿性網膜炎（N18.5+） 腎性網膜炎（N18.5+）	H32.8* 他に分類される疾患におけるその他の網脈 絡膜の障害 たんぱく<蛋白>尿性網膜炎（N18.5+） 腎性網膜炎（N18.5+）	H32.8* Other chorioretinal disorders in diseases classified elsewhere <u>Albuminurica retinitis (N18.5+)</u> <u>Renal retinitis (N18.5+)</u>	蛋白尿性網膜症 腎性網膜症	いずれも網膜炎ではな く網膜症が適切な病名 である。	○	◆「辞典」 で は、 albuminuric retinitisは、 タンパク尿 性網膜炎、

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考																							
							renal retinitis は、 腎性網膜炎																							
128	H54 盲<失明>を含む視覚障害（両眼性又は単眼性） 注：視覚障害の定義については 353 ページの表を参照 除外：一過性黒内障（G45.3） H54.0 盲<失明>，両眼性 項目 5 の視覚障害 H54.1 重度の視覚障害，両眼性 項目 2 の視覚障害 H54.2 中度の視覚障害，両眼性 項目 1 の視覚障害 H54.3 視覚障害なし又は軽度の視覚障害，両眼性 項目 0 の視覚障害 <table><tr><td rowspan="2">分類項目</td><td>遠見視力で表示</td><td></td></tr><tr><td>下記未満</td><td>下記と同等又は以上</td></tr><tr><td>0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害</td><td></td><td>6/18 3/10（0.3） 20/70</td></tr><tr><td>1 中度の視覚障害</td><td>6/18 3/10（0.3） 20/70</td><td>6/60 1/10（0.1） 20/200</td></tr><tr><td>2 重度の視覚障害</td><td>6/60 1/10（0.1） 20/200</td><td>3/60 1/20（0.05） 20/400</td></tr><tr><td>3 盲<失明></td><td>3/60 1/20（0.05） 20/400</td><td>1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）</td></tr><tr><td>4 盲<失明></td><td>1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）</td><td>光覚弁</td></tr><tr><td>5 盲<失明></td><td>光覚なし</td><td></td></tr></table> H54.4 盲<失明>，単眼	分類項目	遠見視力で表示		下記未満	下記と同等又は以上	0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害		6/18 3/10（0.3） 20/70	1 中度の視覚障害	6/18 3/10（0.3） 20/70	6/60 1/10（0.1） 20/200	2 重度の視覚障害	6/60 1/10（0.1） 20/200	3/60 1/20（0.05） 20/400	3 盲<失明>	3/60 1/20（0.05） 20/400	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	4 盲<失明>	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	光覚弁	5 盲<失明>	光覚なし		H54 盲<失明>を含む視力障害（両眼又は単眼） 注：視力障害の定義については 353 ページの表を参照 除外：一過性黒内障（G45.3） H54.0 盲<失明>，両眼 項目 5 の視力障害 H54.1 重度の視力障害，両眼 項目 2 の視力障害 H54.2 中度の視力障害，両眼 項目 1 の視力障害 H54.3 軽度又は非視力障害，両眼 項目 0 の視力障害 H54.4 盲<失明>，単眼	H54.- Blindness and low visionVisual impairment including blindness (binocular or monocular) <i>Note:</i> For definition of visual impairment categories see table below. <i>Excludes:</i> amaurosis fugax (G45.3) H54.0 Blindness, both eyesbinocular Visual impairment categories 3, 4, 5 in both eyes H54.1 Blindness, one eye, low vision other eye Severe visual impairment, binocular Visual impairment categories 3, 4, 5 in one eye, with categories 1 or 2 in the other eye <u>Visual impairment category 2</u> H54.2 Low vision, both eyesModerate visual impairment, binocular Visual impairment categories 1 or 2<u>category 1 in both eyes</u> H54.3 Unqualified visual loss, both eyesMild or no visual impairment, binocular Visual impairment category 9 in both eyes<u>category 0</u> H54.4 Blindness, one eye monocular Visual impairment categories 3, 4, 5 in one eye [normal vision in other eye] <u>and categories 0, 1, 2 or 9 in the other eye.</u> H54.5 Low vision, one eyeSevere visual impairment, monocular Visual impairment categories 1 or 2 in one eye [normal vision in other eye] <u>category 2 in one eye and categories 0, 1 or 9 in other eye</u> H54.6 Unqualified visual loss, one eyeModerate visual impairment, monocular Visual impairment category 9 in one eye [normal vision in other eye] <u>category 1 in one eye and categories 0 or 9 in other eye</u> H54.7 Unspecified visual loss Visual impairment category 9 NOS H54.9 Unspecified visual impairment (binocular) <u>Visual impairment category 9</u> <i>Note:</i> The table below gives a classification of severity of visual impairment recommended by a WHO study group on the Prevention of Blindness, Geneva, 6-10 November 1972. <u>the Resolution of the International Council of Ophthalmology (2002) and the Recommendations of the WHO Consultation</u>	視力障害→視覚障害 （以下の記載全部で） 軽度又は非視力障害 →視覚障害なし又は軽度の視覚障害 提示距離の視力 →遠見視力で表示 下記以下→下記未満 ここだけ「または」が仮名（表中の他 2 箇所と本文とは「又は」） 軽度又は非視力障害 →視覚障害なしまたは軽度の視覚障害 詳細不明→未特定？ 単眼の→片眼の	blindness と「盲」には幅があっても「失明」は光覚なしの意とすべきである⇒ visual impairment には視野等の障害も含み、中心視野 10 度未満の視野障害も項目 3 に加味されている 非視覚障害という言葉がおかしい+最後の注意文中では「視力障害なし」と記されている+日本語の感覚では「なし」が先で「軽度」が後と逆順 むしろ、本文も「又は」ではなく「または」に統一しては？ 同上 or「一眼」「1眼」 身体障害者程度等級	○ ○	◆「辞典」では、blindness 盲、失明。Visual impairment はなし。Visual disorder は視力障害。
分類項目	遠見視力で表示																													
	下記未満	下記と同等又は以上																												
0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害		6/18 3/10（0.3） 20/70																												
1 中度の視覚障害	6/18 3/10（0.3） 20/70	6/60 1/10（0.1） 20/200																												
2 重度の視覚障害	6/60 1/10（0.1） 20/200	3/60 1/20（0.05） 20/400																												
3 盲<失明>	3/60 1/20（0.05） 20/400	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）																												
4 盲<失明>	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	光覚弁																												
5 盲<失明>	光覚なし																													

No.	提案反映済			事務局仮訳			WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考																																																																
	<table><tr><td>9</td><td>未決定又は詳細不明</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">* あるいは 1メートルで指数弁（CF）</td></tr></table> 片眼の項目 3， 4， 5 の視覚障害及び他眼の項目 0， 1， 2， 9 の視覚障害 H54.5 重度の視覚障害， 単眼性 片眼の項目 2 及び他眼の項目 0， 1， 9 の視覚障害 H54.6 中度の視覚障害， 単眼性 片眼の項目 1 及び他眼の項目 0， 9 の視覚障害 H54.9 詳細不明の視覚障害（両眼性） 項目 9 の視覚障害 注：下記の表は 2002 年国際眼科理事会決議<the Resolution of the International Council of Ophthalmology>及び 2003 年 9 月“視覚の喪失及び視機能評価基準の開発”についての WHO 会議における勧告<the Recommendations of the WHO Consultation on “Development of Standards for Characterization of Vision Loss and Visual Functioning”>によって勧告された視覚障害の重症度の分類である。 コード H54.0 から H54.3 の視覚障害の評価については， 両眼を解放して矯正視力を測定する。 コード H54.4 から H54.6 の視覚障害の評価については， 片眼ごとの矯正視力を測定する。 視野を考慮する場合， 良い方の眼が中心 10 度未満の患者は項目 3 に分類する。片眼の盲<失明>（H54.4）では， その眼には中心 10 度未満の視野障害があるとみなす。 注：H54 の分類表における「視覚障害」は、視覚障害なしか軽度の項目 0、中等度の 1、重度の 2、盲<失明>の 3， 4， 5、不特定の 9 で構成される。前の改訂版にあった「低視力〈low vision〉」は、必要な低視力〈low vision〉ケアとの混乱を避けるために 1 及び 2 とする。	9	未決定又は詳細不明		* あるいは 1メートルで指数弁（CF）			<table><tr><td>分類項目</td><td>提示距離の視力</td><td></td></tr><tr><td></td><td>下記以下</td><td>下記と同等または以上</td></tr><tr><td>0 軽度又は非視力障害</td><td></td><td>6/18 3/10（0.3） 20/70</td></tr><tr><td>1 中度の視力障害</td><td>6/18 3/10（0.3） 20/70</td><td>6/60 1/10（0.1） 20/200</td></tr><tr><td>2 重度の視力障害</td><td>6/60 1/10（0.1） 20/200</td><td>3/60 1/20（0.05） 20/400</td></tr><tr><td>3 盲<失明></td><td>3/60 1/20（0.05） 20/400</td><td>1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）</td></tr><tr><td>4 盲<失明></td><td>1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）</td><td>光覚弁</td></tr><tr><td>5 盲<失明></td><td>光覚なし</td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>未決定又は詳細不明</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">* あるいは 1メートルで指数弁（CF）</td></tr></table> 単眼の項目 3， 4， 5 の視力障害及び他眼の項目 0， 1， 2， 9 の視力障害 H54.5 重度の視力障害， 単眼 単眼の項目 2 及び他眼の項目 0， 1 あるいは 9 の視力障害 H54.6 中度の視力障害， 単眼 単眼の項目 1 及び他眼の項目 0 あるいは 9 の視力障害 【他眼視力正常】 H54.9 詳細不明の視力障害（両眼） 項目 9 の視力障害 注：下記の表は 2002 年国際眼科理事会決議<the Resolution of the International Council of Ophthalmology>及び 2003 年 9 月“視力喪失および視力機能評価の基準開発”についての WHO 会議における	分類項目	提示距離の視力			下記以下	下記と同等または以上	0 軽度又は非視力障害		6/18 3/10（0.3） 20/70	1 中度の視力障害	6/18 3/10（0.3） 20/70	6/60 1/10（0.1） 20/200	2 重度の視力障害	6/60 1/10（0.1） 20/200	3/60 1/20（0.05） 20/400	3 盲<失明>	3/60 1/20（0.05） 20/400	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	4 盲<失明>	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	光覚弁	5 盲<失明>	光覚なし		9	未決定又は詳細不明		* あるいは 1メートルで指数弁（CF）			on “Development of Standards for Characterization of Vision Loss and Visual Functioning” (Sept 2003) The term "low vision" in category H54 comprises categories 1 and 2 of the table, the term "blindness" categories 3, 4 and 5, and the term "unqualified visual loss" category 9. For characterizing visual impairment for codes H54.0 to H54.3, visual acuity should be measured with both eyes open with presenting correction if any. For characterizing visual impairment for codes H54.4 to H54.6, visual acuity should be measured monocularly with presenting correction if any. If the extent of the visual field is taken into account, patients with a visual field no greater than 10° but<u>greater than 5° around central fixation should be placed in category 3 and patients with a field no greater than 5° around central fixation should be placed in category 4, even if the central acuity is not impaired.</u> of the better eye no greater than 10° in radius around central fixation should be placed under category 3. For monocular blindness (H54.4), this degree of field loss would apply to the affected eye. Table 1 Proposed revision of categories of visual impairment <table><tr><th>Category</th><th colspan="2">Presenting distance visual acuity</th></tr><tr><td></td><th>Worse than:</th><th>Equal to or better than:</th></tr><tr><td>Mild or no visual impairment 0</td><td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td><td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td></tr><tr><td>Moderate visual impairment 1</td><td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td><td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td></tr><tr><td>Severe visual impairment 2</td><td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td><td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td></tr><tr><td>Blindness 3</td><td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td><td>1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td></tr><tr><td>Blindness 4</td><td>1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td><td>Light perception</td></tr><tr><td>Blindness 5</td><td>1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">Undetermined or unspecified</td></tr><tr><td colspan="3">* Or counts fingers (CF) at 1 metre.</td></tr></table> <table><tr><th>Category of visual impairment</th><th>Visual acuity with best possible correction</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	Category	Presenting distance visual acuity			Worse than:	Equal to or better than:	Mild or no visual impairment 0	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/18 3/10 (0.3) 20/70	Moderate visual impairment 1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200	Severe visual impairment 2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400	Blindness 3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	Blindness 4	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	Light perception	Blindness 5	1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)		2	Undetermined or unspecified		* Or counts fingers (CF) at 1 metre.			Category of visual impairment	Visual acuity with best possible correction			単眼の→片眼の [他眼視力正常]→削除 詳細不明→未特定？ 視力喪失 →視覚の喪失 視力機能→視機能 評価の基準開発 →評価基準の開発 勧告→推奨 矯正視力で両眼→両眼 を開放して矯正視力 矯正視力で片眼→片眼 ごとの矯正視力 の範囲→削除 注視点の周囲半径より 10°未満の視野の →よい方の眼が中心 10 度未満の 単眼の→片眼の 視野の範囲が失われた 程度を障害された眼に 適応する。 →その眼には中心 10 度 未満の視野障害がある とみなす。	表、労働者災害補償保険法の障害等級表は「一眼」となっているが、眼科（学）では「片眼」が一般的である 注）変更は下から 2 行目の「勧告」 or「矯正視力を片眼ずつ（測定する）」つまり「視野の範囲」は「視野」で可 直訳ではわかりにくく、失明眼にも項目 3 に該当する程度の視野障害があるとみなして、良い方の眼が中心 10 度未満であれば項目 3 の視覚障害と判定できるとすることが趣旨と思われる 「失明統計」「失明原
9	未決定又は詳細不明																																																																										
* あるいは 1メートルで指数弁（CF）																																																																											
分類項目	提示距離の視力																																																																										
	下記以下	下記と同等または以上																																																																									
0 軽度又は非視力障害		6/18 3/10（0.3） 20/70																																																																									
1 中度の視力障害	6/18 3/10（0.3） 20/70	6/60 1/10（0.1） 20/200																																																																									
2 重度の視力障害	6/60 1/10（0.1） 20/200	3/60 1/20（0.05） 20/400																																																																									
3 盲<失明>	3/60 1/20（0.05） 20/400	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）																																																																									
4 盲<失明>	1/60* 1/50（0.02） 5/300 （20/1200）	光覚弁																																																																									
5 盲<失明>	光覚なし																																																																										
9	未決定又は詳細不明																																																																										
* あるいは 1メートルで指数弁（CF）																																																																											
Category	Presenting distance visual acuity																																																																										
	Worse than:	Equal to or better than:																																																																									
Mild or no visual impairment 0	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/18 3/10 (0.3) 20/70																																																																									
Moderate visual impairment 1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200																																																																									
Severe visual impairment 2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400																																																																									
Blindness 3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)																																																																									
Blindness 4	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	Light perception																																																																									
Blindness 5	1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)																																																																										
2	Undetermined or unspecified																																																																										
* Or counts fingers (CF) at 1 metre.																																																																											
Category of visual impairment	Visual acuity with best possible correction																																																																										

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考																					
		勧告<the Recommendations of the WHO Consultation on “Development of Standards for Characterization of Vision Loss and Visual Functioning>によって勧告された視力障害の重症度の分類である。 コード H54.0 から H54.3 の視力障害の評価については、矯正視力で両眼を測定する。 コード H54.4 から H54.6 の視力障害の評価については、矯正視力で片眼を測定する。 視野の範囲を考慮する場合、注視点の周囲半径より10°未満の視野の患者は項目 3 に分類する。単眼の盲＜失明＞（H54.4）では、視野の範囲が失われた程度を障害された眼に適応する。 注：項目 H54 に使用されている「視力障害」とは上記の表で軽度または視力障害なしについては分類項目 0、中度の視力障害については分類項目 1、重度の視力障害については分類項目 2、「盲＜失明＞」については分類項目 3、4 及び 5 をいい、また「詳細不明の視力障害」とは、項目 9 の各用語をいう。これまでの改訂において低視力ケアとの混乱を避けるために「低視力」は分類項目 1 及び 2 の分類となった。 Note: The term visual impairment in category H54 comprises category 0 for mild or no visual impairment, category 1 for moderate visual impairment, category 2 for severe visual impairment, categories 3, 4 and 5 for blindness and category 9 for unqualified visual impairment. The term "low vision" included in the previous revision has been replaced by categories 1 and 2 to avoid confusion with those requiring low vision care.	<table><tr><td></td><td colspan="2">Maximum less than: Minimum equal to or better than:</td></tr><tr><td>±</td><td><u>6/18</u> <u>3/10 (0.3)</u> <u>20/70</u></td><td><u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u></td></tr><tr><td>±</td><td><u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u></td><td><u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u></td></tr><tr><td>±</td><td><u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u></td><td><u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300 (20/1200)</u></td></tr><tr><td>4</td><td><u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300</u></td><td><u>Light perception</u></td></tr><tr><td colspan="3"><u>5 No light perception</u></td></tr><tr><td colspan="3"><u>9 Undetermined or unspecified</u></td></tr></table> Note: The term visual impairment in category H54 comprises category 0 for mild or no visual impairment, category 1 for moderate visual impairment, category 2 for severe visual impairment, categories 3, 4 and 5 for blindness and category 9 for unqualified visual impairment. The term "low vision" included in the previous revision has been replaced by categories 1 and 2 to avoid confusion with those requiring low vision care.		Maximum less than: Minimum equal to or better than:		±	<u>6/18</u> <u>3/10 (0.3)</u> <u>20/70</u>	<u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u>	±	<u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u>	<u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u>	±	<u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u>	<u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300 (20/1200)</u>	4	<u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300</u>	<u>Light perception</u>	<u>5 No light perception</u>			<u>9 Undetermined or unspecified</u>			注：の全文（引用略） →H54 の分類表における「視覚障害」は、視覚障害なしか軽度の項目 0、中等度の 1、重度の 2、盲の 3, 4, 5、不特定の 9 で構成される。前の改訂版にあった「ロービジョン」は、必要なロービジョンケアとの混乱を避けるために 1 および 2 とする。	因」など、「失明」が広く光覚以上を含んだ重度の視覚障害を指す用いられ方のあることは承知しているが、一般用語としても、眼科用語としても、通常は「光覚なし」を意味し、「盲」のように視機能のある状態を示すというより、「光を失う」「見えていたものが見えなくなる」という喪失の意味（動きや方向性）も含む言葉であるため、ここに付記することは不適切と考える		
	Maximum less than: Minimum equal to or better than:																											
±	<u>6/18</u> <u>3/10 (0.3)</u> <u>20/70</u>	<u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u>																										
±	<u>6/60</u> <u>1/10 (0.1)</u> <u>20/200</u>	<u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u>																										
±	<u>3/60</u> <u>1/20 (0.05)</u> <u>20/400</u>	<u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300 (20/1200)</u>																										
4	<u>1/60 (finger counting at 1 metre)</u> <u>1/50 (0.02)</u> <u>5/300</u>	<u>Light perception</u>																										
<u>5 No light perception</u>																												
<u>9 Undetermined or unspecified</u>																												
129	H59.0 白内障手術に続発する角膜症（無水晶体性水疱性角膜症） 硝子体（接触）症候群 硝子体角膜症候群	H59.0 白内障手術に続発する角膜症（水疱性無水晶体症） 硝子体（接触）症候群 硝子体角膜症候群	H59.0 Vitreous syndrome Keratopathy (bullous aphakic) following cataract surgery Vitreous (Touch) Syndrome <u>Vitreous Corneal Syndrome</u>	無水晶体性水疱性角膜症	無水晶体性水疱性角膜症が適切な病名である。	○																						
130	H59.8 眼及び付属器のその他の処置後障害	H59.8 眼及び付属器のその他の処置後障害	H59.8 Other postprocedural disorders of eye and adnexa	ブレブ関連眼内炎→濾	ブレブは濾過胞とする	○																						

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	網膜剥離手術後の網脈絡膜瘢痕 濾過胞関連眼内炎 処置後濾過胞炎（感染症） 処置後ろ〈濾〉過胞炎	網膜剥離手術後の網脈絡膜瘢痕 ブレブ関連眼内炎 処置後ブレブ炎症（感染症） 処置後ろ〈濾〉過胞炎	<u>Bleb associated endophthalmitis</u> <u>Inflammation (infection) of postprocedural bleb</u> <u>Postprocedural blebitis</u>	過胞関連眼内炎 処置後ブレブ炎症→処 置後濾過胞炎	のが一般的であり、学 会でも推奨している。		
131	H67.1* 他に分類されるウイルス疾患における中耳炎 下記における中耳炎： ・麻疹（B05.3+） ・インフルエンザ（J09—J11+）	H67.1* 他に分類されるウイルス疾患における中耳炎 下記における中耳炎： ・麻疹（B05.3+） ・インフルエンザ（J09—J11+）	H67.1* Otitis media in viral diseases classified elsewhere Otitis media in: ・ influenza (<u>J09</u> J40 -J11†)				
132	I12 高血圧性腎疾患 包含：腎の動脈硬化（症） 腎硬化症 動脈硬化性腎炎（慢性）（間質性） 高血圧性腎症〈ネフロパシー〉 I10 の病態を伴う N00–N07, N18.-, N19.- または N26.-の各病態 除外：二次性〈続発性〉高血圧（症）（I15.- ）	I12 高血圧性腎疾患 包含：腎の動脈硬化（症） 腎硬化症 動脈硬化性腎炎（慢性）（間質性） 高血圧性腎症〈ネフロパシー〉 I10 の病態を伴う N00–N07, N18.-, N19.- または N26.-の各病態 除外：二次性〈続発性〉高血圧（症）（I15.- ）	I12 Hypertensive renal disease <i>Includes:</i> any condition in <u>N00 – N07</u> , N18.-, N19– or N26– with any condition in I10 arteriosclerosis of kidney arteriosclerotic nephritis (chronic)(interstitial) hypertensive nephropathy nephrosclerosis <i>Excludes:</i> secondary hypertension (I15.-)				
133	I12 高血圧性腎疾患 包含：腎の動脈硬化（症） 腎硬化症 動脈硬化性腎炎（慢性）（間質性） 高血圧性腎症〈ネフロパシー〉 高血圧による N00–N07, N18.-, N19.-又は N26.-の各病態 除外：二次性〈続発性〉高血圧（症）（I15.- ） I12.0 腎不全を伴う高血圧性腎疾患 高血圧性腎不全 I12.9 腎不全を伴わない高血圧性腎疾患 高血圧性腎疾患 NOS	I12 高血圧性腎疾患 包含：腎の動脈硬化（症） 腎硬化症 動脈硬化性腎炎（慢性）（間質性） 高血圧性腎症〈ネフロパシー〉 高血圧による N00–N07, N18.-, N19.-又は N26.-の各病態 除外：二次性〈続発性〉高血圧（症）（I15.- ） I12.0 腎不全を伴う高血圧性腎疾患 高血圧性腎不全 I12.9 腎不全を伴わない高血圧性腎疾患 高血圧性腎疾患 NOS	I12 Hypertensive renal disease <i>Includes:</i> any condition <u>in N00–N07</u> , N18.-, N19, or N26 with any condition in I10 <u>due to hypertension</u> arteriosclerosis of kidney arteriosclerotic nephritis (chronic)(interstitial) hypertensive nephropathy nephrosclerosis <i>Excludes:</i> secondary hypertension (I15.-) I12.0 Hypertensive renal disease with renal failure Hypertensive renal failure I12.9 Hypertensive renal disease without renal failure Hypertensive renal disease NOS				
134	虚血性心疾患（I20—I25） 注：疾病分類の場合，，I21, I22, I24, I25 で使用される期間は，虚血発作の発症から治療のための入院までに経過した期間とする。死因分類の場合，罹病期間は発症から死亡までに経過した期間とする。 包含：高血圧（症）（I10—I15）の記載があるもの 高血圧（症）の存在を明示することが必要な場合は，追加コードを使用する。	虚血性心疾患（I20—I25） 注：疾病分類の場合，，I21, I22, I24, I25 で使用される期間は，虚血発作の発症から治療のための入院までに経過した期間とする。死因分類の場合，罹病期間は発症から死亡までに経過した期間とする。 包含：高血圧（症）（I10—I15）の記載があるもの 高血圧（症）の存在を明示することが必要な場合は，追加コードを使用する。	Ischaemic heart diseases (I20–I25) <i>Note:</i> For morbidity, duration as used in categories I21–I25 , <u>I21, I22, I24 and I25</u> refers to the interval elapsing between onset of the ischaemic episode and admission to care. For mortality, duration refers to the interval elapsing between onset and death. <i>Includes:</i> with mention of hypertension (I10–I15) <i>Use additional code, if desired, to identify presence of hypertension.</i>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	I22 再発性心筋梗塞 包含：心筋梗塞 拡張 反復性 再梗塞 注：疾病コーディングについては，以前の梗塞が発症から 4 週間（28 日）以内に発生した心筋部位の梗塞を本項目に割り当てる。 除外：慢性と明示されたもの，又は期間が発症から 4 週（28 日）を超えると記載されたもの（I25.8）	I22 再発性心筋梗塞 包含：心筋梗塞 拡張 反復性 再梗塞 注：疾病コーディングについては，以前の梗塞が発症から 4 週間（28 日）以内に発生した心筋部位の梗塞を本項目に割り当てる。 除外：慢性と明示されたもの，又は期間が発症から 4 週（28 日）を超えると記載されたもの（I25.8）	I22 Subsequent myocardial infarction <i>Includes:</i> recurrent myocardial infarction: <u>extension</u> <u>recurrent</u> <u>reinfarction</u> <i>Note:</i> For morbidity coding, this category should be assigned for infarction of any myocardial site, occurring within 4 weeks (28 days) from onset of a previous infarction <i>Excludes:</i> specified as chronic or with a stated duration of more than 4 weeks (more than 28 days) from onset (I25.8)				
135	I20.8 その他の型の狭心症 労作（時）（性）狭心症 冠(状)動脈遅延流症候群 狭心症	I20.8 その他の型の狭心症 労作（時）（性）狭心症 冠(状)動脈遅延流症候群 狭心症	I20.8 Other forms of angina pectoris Angina of effort Coronary slow flow syndrome <u>Stenocardia</u>				
136	I27.8 その他の明示された肺性心疾患 除外：アイゼンメンゲル＜Eisenmenger＞症候群（Q21.8）	I27.8 その他の明示された肺性心疾患 除外：アイゼンメンゲル＜Eisenmenger＞欠損（Q21.8）	I27.8 Other specified pulmonary heart disease <i>Excludes:</i> Eisenmenger’s defect (Q21.8) ※第 3 回部会資料から修正（defect のため、症候群→欠損と仮訳）	除外：アイゼンメンゲル＜Eisenmenger＞症候群	<u>その他の明示された肺性心疾患の項目ですの</u> <u>で『除外：アイゼンメンゲル＜Eisenmenger＞症候群』が適切でし</u> <u>ょうか。</u>	○	
137	I41.1* 他に分類されるウイルス疾患における心筋炎 ムンプス心筋炎（B26.8+） インフルエンザ心筋炎（急性）（J09+，J10.8+，J11.8+）	I41.1* 他に分類されるウイルス疾患における心筋炎 ムンプス心筋炎（B26.8+） インフルエンザ心筋炎（急性）（J09+，J10.8+，J11.8+）	I41.1* Myocarditis in viral diseases classified elsewhere Influenzal myocarditis (acute) (J09+, J10.8+, J11.8+) avian influenza virus identified (J09+) other virus identified (J10.8+) virus not identified (J11.8+) Mumps myocarditis (B26.8+)				
138	I45.8 その他の明示された伝導障害 干涉解離 房室〔A V〕解離 Q T 延長症候群 除外：QT 間隔の延長（R94.3）	I45.8 その他の明示された伝導障害 干涉解離 房室〔A V〕解離 Q T 延長症候群 除外：QT 間隔の延長（R94.3）	I45.8 Other specified conduction disorders Atrioventricular [AV] dissociation Interference dissociation long QT syndrome <i>Excludes:</i> prolongation of QT interval (R94.3)				
139	I47.1 上室(性)頻拍(症) 頻拍(症)(発作性): •心房性 •房室性 [AV]: • NOS • リエントリ性 (結節性)[AVNRT][AVRT] •接合部	I47.1 上室(性)頻拍(症) 頻拍(症)(発作性): •心房性 •房室性 [AV]: • NOS • リエントリ性 (結節性)[AVNRT][AVRT] •接合部	I47.1 Supraventricular tachycardia Paroxysmal Tachycardia (paroxysmal): •atrial •atrioventricular [AV]: • <u>NOS</u> • <u>re-entrant (nodal) [AVNRT][AVRT]</u> • junctional • nodal				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・ 結節性	• 結節性					
140	I48 心房細動及び粗動 I48.0 発作性心房細動 I48.1 持続性心房細動 I48.2 慢性心房細動 I48.3 定型心房粗動 I 型心房粗動 I48.4 非定型心房粗動 II 型心房粗動 I48.9 心房細動及び心房粗動，詳細不明	I48 心房細動及び粗動 I48.0 発作性心房細動 I48.1 持続性心房細動 I48.2 慢性心房細動 I48.3 定型心房粗動 I 型心房粗動 I48.4 非定型心房粗動 II 型心房粗動 I48.9 心房細動及び心房粗動，詳細不明	I48 Atrial fibrillation and flutter <u>I48.0 Paroxysmal atrial fibrillation</u> <u>I48.1 Persistent atrial fibrillation</u> <u>I48.2 Chronic atrial fibrillation</u> <u>I48.3 Typical atrial flutter</u> <u>Type I atrial flutter</u> <u>I48.4 Atypical atrial flutter</u> <u>Type II atrial flutter</u> <u>I48.9 Atrial fibrillation and atrial flutter, unspecified</u>				
141	I50.1 左室不全 肺水腫，心疾患 NOS または心不全の記載があるもの 心臓喘息 左心不全	I50.1 左室不全 肺水腫，心疾患 NOS または心不全の記載があるもの 心臓喘息 左心不全	I50.1 Left ventricular failure Cardiac asthma Left heart failure Acute Oedema of lung _ with mention of heart disease NOS Acute Pulmonary oedema or heart failure				
142	I67.1 脳動脈瘤，非<未>破裂性 脳： ・ 動脈瘤 N O S ・ 動静脈瘻，後天性 除外：脳動脈瘤破裂（I60.-） 先天性脳動脈瘤，非<未>破裂（Q28.-）	I67.1 脳動脈瘤，非<未>破裂性 脳： ・ 動脈瘤 N O S ・ 動静脈瘻，後天性 除外：脳動脈瘤出血（I60.-） 先天性脳動脈瘤，非<未>出血性（Q28.-）	I67.1 Cerebral aneurysm, nonruptured Excludes: congenital cerebral aneurysm, nonruptured (Q28.-) ruptured cerebral aneurysm (I60-9 <u>I60.-</u>)	<u>除外：脳動脈瘤破裂（I60.-）</u> <u>先天性脳動脈瘤，非<未>破裂（Q28.-）</u>	<u>rupture, nonrupture</u> <u>については、破裂、未破裂の用語が用いられている。</u>	○	
143	I68.8* 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害 慢性腎疾患における尿毒症性卒中（N18.5†）	I68.8* 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害 慢性腎疾患における尿毒症性卒中（N18.5†）	I68.8* Other cerebrovascular disorders in diseases classified elsewhere <u>Uraemic apoplexia in chronic kidney disease (N18.5†)</u>				
144	I69 脳血管疾患の続発・後遺症 注：項目 I69 は，それ自身は他に分類されるが，続発・後遺症の原因が I60-I67.1 及び I67.4-I67.9 の病態であることを示すために使用する。続発・後遺症とは，前述の病態，後遺症と記載された病態または原因病態の発生後 1 年以上存在する病態を含んでいる。慢性脳血管疾患については使用しない。これらを I60-I67 にコードする。	I69 脳血管疾患の続発・後遺症 注：項目 I69 は，それ自身は他に分類されるが，続発・後遺症の原因が I60-I67.1 及び I67.4-I67.9 の病態であることを示すために使用する。続発・後遺症とは，前述の病態，後遺症と記載された病態または原因病態の発生後 1 年以上存在する病態を含んでいる。慢性脳血管疾患については使用しない。これらを I60-I67 にコードする。	I69 Sequelae of cerebrovascular disease <i>Note:</i> This category I69 is to be used to indicate conditions in I60-I67 I60-I67.1 and I67.4-I67.9 as the cause of sequelae, themselves classified elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such or as late effects, or those present one year or more after onset of the causal condition. <u>Not to be used for chronic cerebrovascular disease. Code these to I60-I67.</u>				
145	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化（症） 包含：細動脈硬化（症） 動脈硬化（症） 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変形性又は閉塞性動脈内膜炎 変性： ・ 動脈	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化（症） 包含：細動脈硬化（症） 動脈硬化（症） 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変形性又は閉塞性動脈内膜炎 変性： ・ 動脈	I70 Atherosclerosis <i>Includes:</i> arteriolosclerosis arteriosclerosis arteriosclerotic vascular disease atheroma degeneration: ・ arterial ・ arteriovascular ・ vascular				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	- 動脈血管 - 血管 老人性: - 動脈炎 - 動脈内膜炎 除外：冠動脈（I25.1） 脳動脈（I67.2） 肺動脈（I27.0） 腸間膜動脈（K55.1） 下記のえ<壊>死の有無を示す補足的分類は任意的に使用する。 0 え<壊> 疸なし 1 え<壊> 疸あり	- 動脈血管 - 血管 老人性: - 動脈炎 - 動脈内膜炎 除外：冠動脈（I25.1） 脳動脈（I67.2） 肺動脈（I27.0） 腸間膜動脈（K55.1） 下記のえ<壊>死の有無を示す補足的分類は任意的に使用する。 0 え<壊> 疸なし 1 え<壊> 疸あり	endarteritis deformans or obliterans senile: - arteritis - endarteritis Excludes: cerebral (I67.2) coronary (I25.1) mesenteric (K55.1) pulmonary (I27.0) <u>The following supplementary classification to indicate the presence or absence of gangrene is provided for optional use.</u> 0 without gangrene 1 with gangrene Excludes: cerebral (I67.2) coronary (I25.1) mesenteric (K55.1) pulmonary (I27.0)				
	I70 アテローム〈じゅく〈粥〉状〉硬化（症） 包含： 細動脈硬化（症） 動脈硬化（症） 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変性又は閉塞性動脈内膜炎 変性: - 動脈 - 動脈血管 - 血管 老人性: - 動脈炎 - 動脈内膜炎 除外： 脳動脈（I67.2） 冠動脈（I25.1） 腸間膜動脈（K55.1） 肺動脈（I27.0） 下記のえ〈壊〉死の有無を示す補足的分類は分類項目 I70 における適切な細分類に伴うものとして任意的に使用する。 0 え〈壊〉 疸なし 1 え〈壊〉 疸あり	I70 アテローム〈じゅく〈粥〉状〉硬化（症） 包含： 細動脈硬化（症） 動脈硬化（症） 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変性又は閉塞性動脈内膜炎 変性: - 動脈 - 動脈血管 - 血管 老人性: - 動脈炎 - 動脈内膜炎 除外： 脳動脈（I67.2） 冠動脈（I25.1） 腸間膜動脈（K55.1） 肺動脈（I27.0） 下記のえ〈壊〉死の有無を示す補足的分類は分類項目 I70 における適切な細分類に伴うものとして任意的に使用する。 0 え〈壊〉 疸なし 1 え〈壊〉 疸あり	I70 Atherosclerosis Includes: arteriosclerosis arteriosclerosis arteriosclerotic vascular disease atheroma degeneration: - arterial - arteriovascular - vascular endarteritis deformans or obliterans senile: - arteritis - endarteritis Excludes: cerebral (I67.2) coronary (I25.1) mesenteric (K55.1) pulmonary (I27.0) The following supplementary classification to indicate the presence or absence of gangrene is provided for optional use <u>with appropriate subcategories in I70.</u> 0 without gangrene 1 with gangrene				
146	I72 その他の動脈瘤及び解離 包含：動脈瘤（蔓状）（偽性<仮性>）（破裂） 除外：網膜動脈瘤（H35.0） 心室瘤（I25.3） 冠（状）動脈瘤（I25.4）	I72 その他の動脈瘤及び解離 包含：動脈瘤（蔓状）（偽性<仮性>）（破裂） 除外：網膜動脈瘤（H35.0） 心室瘤（I25.3） 冠（状）動脈瘤（I25.4）	I72 Other aneurysm and dissection Includes: aneurysm (cirroid)(false)(ruptured) Excludes: aneurysm (of): - aorta (I71.-) - arteriovenous NOS (Q27.3) <u>arteriovenous NOS:</u> - acquired (I77.0) - cerebral (nonruptured) (I67.1)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
				は誤っています。	<u>ているようですので、病 変頻度の高い anterior cerebral artery（前大脳 動脈）と混同しないよう に、和訳してはどうか？</u>		
147	I72.6 椎骨動脈の動脈瘤及び解離	I72.6 椎骨動脈の動脈瘤及び解離	<u>I72.6 Aneurysm and dissection of vertebral artery</u>				
148	I72.8 その他の明示された動脈の動脈瘤及び解離 I72.9 部位不明の動脈瘤及び解離	I72.8 その他の明示された動脈の動脈瘤及び解離 I72.9 部位不明の動脈瘤及び解離	I72.8 Aneurysm <u>and dissection</u> of other specified arteries I72.9 Aneurysm <u>and dissection</u> of unspecified site				
149	I77.2 動脈の破裂 瘻 } 動脈 除外：動脈の外傷性破裂—各部位の血管損傷を参照 I77.8 動脈及び細動脈のその他の明示された障害 びらん } 潰瘍 } 動脈	I77.2 動脈の破裂 瘻 } 動脈 除外：動脈の外傷性破裂—各部位の血管損傷を参照 I77.8 動脈及び細動脈のその他の明示された障害 びらん } 潰瘍 } 動脈	I77.2 Rupture of artery Erosion Fistula of artery Ulcer <i>Excludes:</i> traumatic rupture of artery - see injury of blood vessel by body region. I77.8 Other specified disorders of arteries and arterioles Erosion Ulcer of artery				
150			I84 Haemorrhoids <i>Includes:</i> piles varicose veins of anus and rectum <i>Excludes:</i> complicating: ▲childbirth and the puerperium (O87.2) ▲pregnancy (O22.4) I84.0 Internal thrombosed haemorrhoids I84.1 Internal haemorrhoids with other complications Internal haemorrhoids: ▲bleeding ▲prolapsed ▲strangulated ▲ulcerated I84.2 Internal haemorrhoids without complication Internal haemorrhoids NOS				
151	I84.3 血栓性外痔核 肛門周囲血栓症 肛門周囲血腫（非外傷性）	I84.3 血栓性外痔核 肛門周囲血栓症 肛門周囲血腫（非外傷性）	I84.3 External thrombosed haemorrhoids Perianal thrombosis Perianal haematoma (nontraumatic)				
	2013	2013	I84.3 External thrombosed haemorrhoids Perianal haematoma (nontraumatic) Perianal thrombosis				
152			I84.4 External haemorrhoids with other complications External haemorrhoids: ▲bleeding ▲prolapsed ▲strangulated ▲ulcerated I84.5 External haemorrhoids without complication				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
			External haemorrhoids NOS 184.6 Residual haemorrhoidal skin tags Skin tags of anus or rectum 184.7 Unspecified thrombosed haemorrhoids Thrombosed haemorrhoids, unspecified whether internal or external 184.8 Unspecified haemorrhoids with other complications Haemorrhoids, unspecified whether internal or external: • bleeding • prolapsed • strangulated • ulcerated 184.9 Unspecified haemorrhoids without complication Haemorrhoids NOS				
153	I87.0 血栓後症候群 静脈炎後症候群	I87.0 血栓後症候群 静脈炎後症候群	187.0 Postphlebitic Postthrombotic syndrome <u>Postphlebitic syndrome</u>				
154	I98.2* 他に分類される疾患における出血を伴わない 食道静脈瘤 下記による食道静脈瘤：・住血吸虫症 （B65.-†） ・肝障害（K70—K71†, K74.-†） I98.3* 他に分類される疾患における出血を伴う食 道静脈瘤 下記による食道静脈瘤： •肝障害（K70-K71†, K74.-†） •住血吸虫症（B65.-†）	I98.2* 他に分類される疾患における出血を伴わない 食道静脈瘤 下記による食道静脈瘤：・住血吸虫症 （B65.-†） ・肝障害（K70—K71†, K74.-†） I98.3* 他に分類される疾患における出血を伴う食 道静脈瘤 下記による食道静脈瘤： •肝障害（K70-K71†, K74.-†） •住血吸虫症（B65.-†）	I98.2* Oesophageal varices <u>without bleeding in diseases classified elsewhere</u> Oesophageal varices in: • liver disorders (K70-K71†, K74.-†) • schistosomiasis (B65.-†) <u>I98.3* Oesophageal varices with bleeding in diseases classified elsewhere</u> <u>Oesophageal varices in:</u> • <u>liver disorders (K70-K71†), K74.-†</u> • <u>schistosomiasis (B65.-†)</u>				
155	呼吸器系の疾患 本章は、次の中間分類項目を含む： J00－J06 急性上気道感染症 J09－J18 インフルエンザ及び肺炎 J20－J22 その他の急性下気道感染症 J02.8 その他の明示された病原体による急性咽頭炎 感染病原体の分類が必要な場合は、追加コード （B95－B98）を使用する。 除外：咽頭炎（下記によるもの）： ・ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] （性）（B00.2） ・エンテロウイルス性水疱性（B08.5） ・伝染性単核症（B27.-） ・インフルエンザウイルス： ・分離されたもの（J09, J10.1） ・分離されないもの（J11.1） J04.0 急性喉頭炎 喉頭炎（急性）：	呼吸器系の疾患 本章は、次の中間分類項目を含む： J00－J06 急性上気道感染症 J09－J18 インフルエンザ及び肺炎 J20－J22 その他の急性下気道感染症 J02.8 その他の明示された病原体による急性咽頭炎 感染病原体の分類が必要な場合は、追加コード （B95－B98）を使用する。 除外：咽頭炎（下記によるもの）： ・ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] （性）（B00.2） ・エンテロウイルス性水疱性（B08.5） ・伝染性単核症（B27.-） ・インフルエンザウイルス： ・分離されたもの（J09, J10.1） ・分離されないもの（J11.1） J04.0 急性喉頭炎 喉頭炎（急性）：	Diseases of the respiratory system (J00-J99) This chapter contains the following blocks: J00-J06 Acute upper respiratory infections J09-J10 -J18 Influenza and pneumonia J20-J22 Other acute lower respiratory infections J02.8 Acute pharyngitis due to other specified organisms Use additional code (B95-B97 <u>8</u>), if desired, to identify infectious agent. <i>Excludes:</i> pharyngitis (due to): • enteroviral vesicular (B08.5) • herpesviral [herpes simplex] (B00.2) • infectious mononucleosis (B27.-) • influenza virus: • identified (J09, J10.1) • not identified (J11.1)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・NOS ・浮腫性 ・化膿性 ・声門下 ・潰瘍性 除外：インフルエンザ喉頭炎： ・インフルエンザウイルスが分離されたもの（J09, J10.1） ・インフルエンザウイルスが分離されないもの（J11.1） 慢性喉頭炎（J37.0） J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 除外：インフルエンザウイルスが分離されたもの（J09, J10.1） インフルエンザウイルスが分離されないもの（J11.1） 急性呼吸器感染症 NOS（J22）	・NOS ・浮腫性 ・化膿性 ・声門下 ・潰瘍性 除外：インフルエンザ喉頭炎： ・インフルエンザウイルスが分離されたもの（J09, J10.1） ・インフルエンザウイルスが分離されないもの（J11.1） 慢性喉頭炎（J37.0） J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 除外：インフルエンザウイルスが分離されたもの（J09, J10.1） インフルエンザウイルスが分離されないもの（J11.1） 急性呼吸器感染症 NOS（J22）	J04.0 Acute laryngitis Laryngitis (acute): ・NOS ・oedematous ・subglottic ・suppurative ・ulcerative <i>Excludes:</i> chronic laryngitis (J37.0) influenzal laryngitis, influenza virus: ・identified (<u>J09</u>, J10.1) ・not identified (J11.1) J06 Acute upper respiratory infections of multiple and unspecified sites <i>Excludes:</i> acute respiratory infection NOS (J22) influenza virus: ・identified (<u>J09</u>, J10.1) ・not identified (J11.1)				
156	インフルエンザ及び肺炎（J09－18） J09 特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 特に疫学上重要となるインフルエンザウイルスが原因のインフルエンザで動物-ヒト又はヒト-ヒトの感染を伴うもの、包含項目に含まれるものに限る。 注：ウイルスの型の追加については、WHO による勧告による場合のみ可能とする。 包含:インフルエンザ A/H1N1 2009 年流行型〔豚インフルエンザ〕 インフルエンザ A/H5N1 流行型〔鳥インフルエンザ〕 肺炎又はその他の症状発現の分類が必要な場合追加コードを用いる。 除外：インフルエンザ菌 [<i>H.influenzae</i>]：	インフルエンザ及び肺炎（J09－18） J09 特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 特に疫学上重要となるインフルエンザウイルスが原因のインフルエンザで動物-ヒト又はヒト-ヒトの感染を伴うもの、包含項目に含まれるものに限る。 注：ウイルスの型の追加については、WHO による勧告による場合のみ可能とする。 包含:インフルエンザ A/H1N1 2009 年流行型〔豚インフルエンザ〕 インフルエンザ A/H5N1 流行型〔鳥インフルエンザ〕 肺炎又はその他の症状発現の分類が必要な場合追加コードを用いる。 除外：インフルエンザ菌 [<i>H.influenzae</i>]：	Influenza and pneumonia (<u>J09</u> J10 -J18) J09 Influenza due to certain identified influenza virus <u>Influenza caused by influenza virus strains of special epidemiological importance with an animal-human or inter-human transmission limited to the inclusions.</u> <u>Note: Additional virus strains may only be included upon recommendation by WHO.</u> <u><i>Includes:</i> Influenza A/H1N1 pandemic2009 [swine flu]</u> <u>Influenza A/H5N1 epidemic [avian influenza]</u> <u>Use additional code, if desired, to identify pneumonia or other manifestations.</u> <u><i>Excludes:</i> <i>Haemophilus influenzae</i> [<i>H. influenzae</i>]:</u> ・infection NOS (A49.2) ・meningitis (G00.0) ・pneumonia (J14) ※第 3 回部会資料から注書きの訳語を修正				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	●感染症 NOS（A49.2） ●髄膜炎（G00.0） ●肺炎（J14）	●感染症 NOS（A49.2） ●髄膜炎（G00.0） ●肺炎（J14）					
157	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 除外：インフルエンザ菌 [<i>H.influenzae</i>]： ・感染症 NOS（A 49.2） ・髄膜炎（G 00.0） ・肺炎（J14） J10.0 肺炎を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ（気管支）肺炎，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの J10.1 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ インフルエンザ： ・急性上気道感染症 ・喉頭炎 ・咽頭炎 ・胸水 J10.8 その他の症状を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザによる脳症 インフルエンザ： ・胃腸炎 ・心筋炎（急性） J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの 包含：インフルエンザウイルス以外のウイルスによる気管支肺炎 除外： 肺炎： ・インフルエンザにおける（J09，J10.0，J11.0） ・リポイド（J69.1） ・間質性 NOS（J84.9） ・えん<嚥>下<誤えん<嚥>>性： ・NOS（J69.0） ・固形物及び液状物（J69.-） ・下記の麻酔： ・妊娠時（O 29.0）	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 除外：インフルエンザ菌 [<i>H.influenzae</i>]： ・感染症 NOS（A 49.2） ・髄膜炎（G 00.0） ・肺炎（J14） J10.0 肺炎を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ（気管支）肺炎，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの J10.1 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ インフルエンザ： ・急性上気道感染症 ・喉頭炎 ・咽頭炎 ・胸水 J10.8 その他の症状を伴うインフルエンザ，その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザによる脳症 インフルエンザ： ・胃腸炎 ・心筋炎（急性） J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの 包含：インフルエンザウイルス以外のウイルスによる気管支肺炎 除外： 肺炎： ・インフルエンザにおける（J09，J10.0，J11.0） ・リポイド（J69.1） ・間質性 NOS（J84.9） ・えん<嚥>下<誤えん<嚥>>性： ・NOS（J69.0） ・固形物及び液状物（J69.-） ・下記の麻酔： ・妊娠時（O 29.0）	J10 Influenza due to <u>other</u> identified influenza virus <i>Excludes:</i> <i>Haemophilus influenzae</i> [<i>H. influenzae</i>]: ・infection NOS (A49.2) ・meningitis (G00.0) ・pneumonia (J14) J10.0 Influenza with pneumonia, <u>other</u> influenza virus identified Influenzal (broncho)pneumonia, <u>other</u> influenza virus identified J10.1 Influenza with other respiratory manifestations, <u>other</u> influenza virus identified Influenza Influenzal: ・acute upper respiratory infection ・laryngitis ・pharyngitis ・pleural effusion J10.8 Influenza with other manifestations, <u>other</u> influenza virus identified Encephalopathy due to influenza Influenzal: ・gastroenteritis ・myocarditis (acute) J12 Viral pneumonia, not elsewhere classified <i>Includes:</i> bronchopneumonia due to viruses other than influenza viruses <i>Excludes:</i> congenital rubella pneumonitis (P35.0) pneumonia: ・aspiration (due to): ・NOS (J69.0) ・anaesthesia during: ・labour and delivery (O74.0) ・pregnancy (O29.0) ・puerperium (O89.0) ・neonatal (P24.9) ・solids and liquids (J69.-)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・分娩時（O74.0） ・産じょく＜褥＞時（O89.0） ・先天性（P23.0） ・新生児吸引性（P24.9） 先天性風疹肺臓炎（P35.0） <u>重症急性呼吸器症候群〔SARS〕（U04.9）</u>	・分娩時（O74.0） ・産じょく＜褥＞時（O89.0） ・先天性（P23.0） ・新生児吸引性（P24.9） 先天性風疹肺臓炎（P35.0） 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕（U04.9）	・congenital (P23.0) ・in influenza (<u>J09</u> , J10.0, J11.0) ・interstitial NOS (J84.9) ・lipid (J69.1) <u>severe acute respiratory syndrome</u> <u>[SARS](U04.9)</u>				
158	J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの J12.3 ヒト・メタニューモウイルス肺炎	J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの J12.3 ヒト・メタニューモウイルス肺炎	J12 Viral pneumonia, not elsewhere classified <u>J12.3 Human metapneumovirus pneumonia</u>				
159	J18 肺炎，病原体不詳 除外：肺炎： ・えん＜嚥＞下＜誤えん＜嚥＞＞性： ・NOS (J69.0) ・下記の麻酔： ・妊娠時（O29.0） ・分娩時（O74.0） ・産じょく＜褥＞時（O89.0） ・固形物及び液状物（J69.-） ・先天性（P23.9） ・新生児吸引性（P24.9） ・間質性 NOS (J84.9) ・リポイド（J69.1） ・通常型間質性（J84.1） 肺臓炎，外的因子によるもの（J67— J70） 薬物誘発性間質性肺障害（J70.2— J70.4） 肺炎を伴う肺膿瘍（J85.1）	J18 肺炎，病原体不詳 除外：肺炎： ・えん＜嚥＞下＜誤えん＜嚥＞＞性： ・NOS (J69.0) ・下記の麻酔： ・妊娠時（O29.0） ・分娩時（O74.0） ・産じょく＜褥＞時（O89.0） ・固形物及び液状物（J69.-） ・先天性（P23.9） ・新生児吸引性（P24.9） ・間質性 NOS (J84.9) ・リポイド（J69.1） ・通常型間質性（J84.1） 肺臓炎，外的因子によるもの（J67— J70） 薬物誘発性間質性肺障害（J70.2— J70.4） 肺炎を伴う肺膿瘍（J85.1）	J18 Pneumonia, organism unspecified <i>Excludes:</i> abscess of lung with pneumonia (J85.1) drug-induced interstitial lung disorders (J70.2–J70.4) pneumonia: ・aspiration (due to): ・NOS (J69.0) ・anaesthesia during: ・labour and delivery (O74.0) ・pregnancy (O29.0) ・puerperium (O89.0) ・neonatal (P24.9) ・solids and liquids (J69.-) ・congenital (P23.9) ・interstitial NOS (J84.9) ・lipid (J69.1) <u>・usual interstitial (J84.1)</u> pneumonitis, due to external agents (J67–J70)				
160	J21 急性細気管支炎 J21.1 ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎	J21 急性細気管支炎 J21.1 ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎	J21 Acute bronchiolitis <u>J21.1 Acute bronchiolitis due to human metapneumovirus</u>				
161	J44.0 急性下気道感染症を伴う慢性閉塞性肺疾患 除外：インフルエンザを伴うもの（J09 – J11）	J44.0 急性下気道感染症を伴う慢性閉塞性肺疾患 除外：インフルエンザを伴うもの（J09 – J11）	J44.0 Chronic obstructive pulmonary disease with acute lower respiratory infection <i>Excludes:</i> with influenza (<u>J09</u> J10 –J11)				
162	J68.1 化学物質，ガス，フューム及び蒸気による肺水腫 化学物質性肺水腫（急性）	J68.1 化学物質，ガス，フューム及び蒸気による肺水腫 化学物質性肺水腫（急性）	J68.1 Acute pulmonary oedema due to chemicals, gases, fumes and vapours Chemical pulmonary oedema (acute)				
163	J84.1 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患 びまん〈広汎〉性肺線維症 線維化性肺肺炎（特発性） ハンマン・リッチ＜Hamman-Rich＞症候群 特発性肺線維症 通常型間質性肺炎	J84.1 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患 びまん〈広汎〉性肺線維症 線維化性肺肺炎（特発性） ハンマン・リッチ＜Hamman-Rich＞症候群 特発性肺線維症 通常型間質性肺炎	J84.1 Other interstitial pulmonary diseases with fibrosis Diffuse pulmonary fibrosis Fibrosing alveolitis (cryptogenic) Hamman-Rich syndrome Idiopathic pulmonary fibrosis <u>Usual interstitial pneumonia</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：肺線維症（慢性）： ・化学物質，ガス，フューム及び蒸気 の吸入による（J68.4） ・放射線照射に続発する（J70.1）	除外：肺線維症（慢性）： ・化学物質，ガス，フューム及び蒸気 の吸入による（J68.4） ・放射線照射に続発する（J70.1）	<i>Excludes:</i> pulmonary fibrosis (chronic): • due to inhalation of chemicals, gases, fumes or vapours (J68.4) • following radiation (J70.1)				
164	J85.1 肺炎を伴う肺膿瘍 除外：明示された病原体による肺炎を伴うもの（JJ09 – J16）	J85.1 肺炎を伴う肺膿瘍 除外：明示された病原体による肺炎を伴うもの（JJ09 – J16）	J85.1 Abscess of lung with pneumonia <i>Excludes:</i> with pneumonia due to specified organism (<u>J09-J10</u> -J16)				
165	J96 呼吸不全，他に分類されないもの 除外： 心呼吸不全（R 09.2） 処置後呼吸不全（J95.-） 呼吸： ・停止（R 09.2） ・窮<促>迫： ・成人の症候群<ARDS>（J80） ・新生児における<IRDS>（P22.-）	J96 呼吸不全，他に分類されないもの 除外： 心呼吸不全（R 09.2） 処置後呼吸不全（J95.-） 呼吸： ・停止（R 09.2） ・窮<促>迫： ・成人の症候群<ARDS>（J80） ・新生児における<IRDS>（P22.- ）	J96 Respiratory failure, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> cardiorespiratory failure (R09.2) postprocedural respiratory failure (J95.-) respiratory: • arrest (R09.2) • distress syndrome • <u>syndrome of adult</u> (J80) • <u>in newborn</u> (P22.0) (P22.-)				
166	J96 呼吸不全,他に分類されないもの 下記の補足的細分類は分類項目 J96 に伴うものとして 任意的に使用する。 0 I 型〔低酸素性〕 1 II 型〔高炭酸ガス性〕 9 型詳細不明 除外: 心呼吸不全 (R09.2) 処置後呼吸不全 (J95.-) 呼吸: ・停止 (R09.2) ・窮<促>迫： ・成人 の症候群<ARDS> (J80) ・新生児における<IRDS> (P22.-) J96.0 急性呼吸不全 J96.1 慢性呼吸不全 J96.9 呼吸不全，詳細不明	J96 呼吸不全,他に分類されないもの 下記の補足的細分類は分類項目 J96 に伴うものとして 任意的に使用する。 0 I 型〔低酸素性〕 1 II 型〔高炭酸ガス性〕 9 型詳細不明 除外: 心呼吸不全 (R09.2) 処置後呼吸不全 (J95.-) 呼吸: ・停止 (R09.2) ・窮<促>迫： ・成人 の症候群<ARDS> (J80) ・新生児における<IRDS> (P22.-) J96.0 急性呼吸不全 J96.1 慢性呼吸不全 J96.9 呼吸不全，詳細不明	J96 Respiratory failure, not elsewhere classified <u>The following supplementary subclassification is provided for optional use with category J96.</u> <u>0 Type I [hypoxic]</u> <u>1 Type II [hypercapnic]</u> <u>9 Type unspecified</u> <i>Excludes:</i> cardiorespiratory failure (R09.2) postprocedural respiratory failure (J95.-) respiratory: • arrest (R09.2) • distress: ・ syndrome of adult (J80) ・ in newborn (P22.-) J96.0 Acute respiratory failure J96.1 Chronic respiratory failure J96.9 Respiratory failure, unspecified				
167	第 XI 章 消化器系の疾患 (K00-K93) ….. 本章は、次の中間分類項目を含む: … K55-K64 腸のその他の疾患	第 XI 章 消化器系の疾患 (K00-K93) ….. 本章は、次の中間分類項目を含む: … K55-K64 腸のその他の疾患	Chapter XI Diseases of the digestives system (K00-K93) …… This chapter contains the following blocks: … K55-K64 Other diseases of intestines				
168	K02 う<齲>蝕 K02.5 露髄のあるう<齲>蝕	K02 う<齲>蝕 K02.5 露髄う<齲>蝕	K02 Dental Caries	<u>K02.5 露 髄 の ある う</u>	<u>「露髄う<齲>蝕」と</u>	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
			<u>K02.5 Caries with pulp exposure</u>	<u>〈齲〉 蝕</u>	<u>和訳していますが、こ の言葉はわが国では使 われません</u>		
169	K04.0 歯髄炎 歯髄炎： NOS 急性 慢性（増殖性）（潰瘍性） 不可逆性 可逆性	K04.0 歯髄炎 歯髄炎： NOS 急性 慢性（増殖性）（潰瘍性） 不可逆性 可逆性	K04.0 Pulpitis Pulpal: abscess polyp Pulpitis: · <u>NOS</u> · acute · chronic (hyperplastic)(ulcerative) suppurative · <u>irreversible</u> · <u>reversible</u>				
170	K08.8 歯および歯の支持組織のその他の明示された障 害 歯槽（突起）裂 顎堤の腫大 NOS 不規則歯槽突起 歯痛 NOS	K08.8 歯および歯の支持組織のその他の明示された障 害 歯槽（突起）裂 顎堤の腫大 NOS 不規則歯槽突起 歯痛 NOS	K08.8 Other specified disorders of teeth and supporting structures <u>Alveolar (process) cleft</u> Enlargement of the alveolar ridge NOS Irregular alveolar process Toothache NOS				
171	K09.0 発育性歯原性のう＜囊＞胞 のう＜囊＞胞： ・含歯性 ・萌出 ・ろ＜濾＞胞性 ・側方性歯周 ・原始性 ・歯肉	K09.0 発育性歯原性のう＜囊＞胞 のう＜囊＞胞： ・含歯性 ・萌出 ・ろ＜濾＞胞性 ・側方性歯周 ・原始性 ・歯肉	K09.0 Developmental odontogenic cysts Keratocyst				
172	K09.1 口腔部の発育性(非歯原性)のう＜囊＞胞 のう＜囊＞胞： 鼻唇の〔鼻歯槽（前庭）の〕 鼻口蓋管〔切歯管〕	K09.1 口腔部の発育性(非歯原性)のう＜囊＞胞 のう＜囊＞胞： 鼻唇の〔鼻歯槽（前庭）の〕 鼻口蓋管〔切歯管〕	K09.1 Developmental (nonodontogenic) cysts of oral region Cyst (of): globulomaxillary · nasopalatine <u>nasolabial [nasoalveolar]</u> · incisive canal <u>nasopalatine duct [incisive canal]</u> median palatal palatine papilla				
173	K09.8 その他の口腔部のう＜囊＞胞,他に分類されな いもの 皮様＜類皮＞のう＜囊＞胞 類表皮 のう＜囊＞胞 リンパ上皮性のう＜囊＞胞 エプスタイン＜Epstein＞真珠	K09.8 その他の口腔部のう＜囊＞胞,他に分類されな いもの 皮様＜類皮＞のう＜囊＞胞 類表皮 のう＜囊＞胞 リンパ上皮性のう＜囊＞胞 エプスタイン＜Epstein＞真珠	K09.8 Other cysts of oral region, not elsewhere classified Dermatoid cyst Epidermoid cyst Lymphoepithelial cyst Epstein's pearl Nasoalveolar cyst Nasolabial cyst				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
174	K10.2 炎症性顎骨病態 骨炎 骨髄炎（新生児） 骨えく壊>死（薬物誘発）（放射線誘発） 放射線骨えく壊>死 骨膜炎 顎の腐骨 放射線誘発性で、放射線の分類が必要な場合、又は薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	K10.2 炎症性顎骨病態 骨炎 骨髄炎（新生児） 骨えく壊>死（薬物誘発）（放射線誘発） 放射線骨えく壊>死 骨膜炎 顎の腐骨 放射線誘発性で、放射線の分類が必要な場合、又は薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	K10.2 Inflammatory conditions of jaws Osteitis Osteomyelitis (neonatal) <u>Osteonecrosis (drug-induced)</u> <u>(radiation-induced)</u> Osteo(radio)necrosis Periostitis Sequestrum of jaw bone Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify radiation, if radiation induced_ or to identify drug, if drug induced_ of jaw (acute) (chronic) (suppurative)				
175	K12 口内炎及び関連病変 K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 粘膜炎（口腔）（中咽頭）： -NOS -薬物誘発性 -放射線誘発性 -ウイルス性 薬物誘発性で、外的因子の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。 除外：粘膜炎（潰瘍性）： -鼻及び副鼻腔（J34.8） -膣及び外陰（N76.8） -消化管（口腔および中咽頭を除く）（K92.8）	K12 口内炎及び関連病変 K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 粘膜炎（口腔）（中咽頭）： -NOS -薬物誘発性 -放射線誘発性 -ウイルス性 薬物誘発性で、外的因子の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。 除外：粘膜炎（潰瘍性）： -鼻及び副鼻腔（J34.8） -膣及び外陰（N76.8） -消化管（口腔および中咽頭を除く）（K92.8）	K12 Stomatitis and related lesions <u>K12.3 Oral mucositis (ulcerative)</u> <u>Mucositis(oral) (oropharyngeal):</u> · NOS · <u>drug-induced</u> · <u>radiation induced</u> · <u>viral</u> <u>Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify external agent</u> <u>Excludes: mucositis (ulcerative) of:</u> · <u>nose and nasal sinuses (J34.8)</u> · <u>vagina and vulva (N76.8)</u> · <u>gastrointestinal tract (except oral cavity and oropharynx) (K92.8)</u>				
176	K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 除外：以下の粘膜炎(潰瘍性): ▪ 胃腸管(口腔及び中咽頭を除く) (K92.8)	K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 除外：以下の粘膜炎(潰瘍性): ▪ 胃腸管(口腔及び中咽頭を除く) (K92.8)	K12.3 Oral mucositis (ulcerative) <i>Excludes:</i> mucositis (ulcerative) of ▪ nose and nasal sinuses (J34.8) ▪ vagina and vulva (N76.8) ▪ gastrointestinal tract (except oral cavity and oropharynx) (K92.8)				
177	K22.1 食道潰瘍 食道のびらん 食道潰瘍： ・NOS ・真菌性 ・消化性 ・下記の摂取による： ・薬物および薬剤 ・化学物質	K22.1 食道潰瘍 食道のびらん 食道潰瘍： ・NOS ・真菌性 ・消化性 ・下記の摂取による： ・薬物および薬剤 ・化学物質	K22.1 Ulcer of oesophagus Erosion of oesophagus Ulcer of oesophagus: • NOS • Due to ingestion of • Chemicals • drugs and medicaments • fungal • peptic <u>Ulcerative oesophagitis</u> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify cause.				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	潰瘍性食道炎 原因の分類が必要な場合は、追加外因コード（X X 章）を使用する。	潰瘍性食道炎 原因の分類が必要な場合は、追加外因コード（X X 章）を使用する。					
178	K22.7 バレット食道 バレット： •病 •症候群 除外：バレット潰瘍（K22.1）	K22.7 バレット食道 バレット： •病 •症候群 除外：バレット潰瘍（K22.1）	K22.7 Barrett's esophagus <u>Barrett's:</u> • <u>disease</u> • <u>syndrome</u> <u>Excludes:</u> Barrett's ulcer (K22.1)				
179	K30 機能性ディスペプシア 消化不良 除外：ディスペプシア（症）： 心因性（F45.3） 神経性（F45.3） 神経症性（F45.3） 胸やけ（R12）	K30 機能性ディスペプシア 消化不良 除外：ディスペプシア（症）： 心因性（F45.3） 神経性（F45.3） 神経症性（F45.3） 胸やけ（R12）	K30 Dyspepsia-Functional dyspepsia Indigestion Excludes: dyspepsia: · nervous (F45.3) · neurotic (F45.3) · psychogenic (F45.3) heartburn (R12)				
180	K35 急性虫垂炎 K35.2 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 破裂又は穿孔に続発する汎発性（びまん性）腹膜炎を伴う虫垂炎（急性）	K35 急性虫垂炎 K35.2 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 破裂又は穿孔に続発する汎発性（びまん性）腹膜炎を伴う虫垂炎（急性）	K35 Acute appendicitis K35.0 Acute appendicitis with generalized peritonitis Appendicitis (acute) with: • perforation • peritonitis (generalized) (localized) following rupture or perforation • rupture K35.1 Acute appendicitis with peritoneal abscess Abscess of appendix K35.2 Acute appendicitis with generalized peritonitis Appendicitis (acute) with generalized (diffuse) peritonitis following rupture or perforation	汎発性		○	◆「辞典」では、diffuse peritonitis は、びまん性腹膜炎
181	K35.3 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎，破裂または穿孔を伴う又は伴わないもの 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	K35.3 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎，破裂または穿孔を伴う又は伴わないもの 腹膜内膿瘍を伴う急性虫垂炎	K35.3 Acute appendicitis with localized peritonitis <u>Acute appendicitis with localized peritonitis with or without rupture or perforation</u> <u>Acute appendicitis with peritoneal abscess</u>				
	K35.3 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 腹膜炎を伴う急性虫垂炎（穿孔又は破裂を伴うもの又は伴わないもの）： • NOS • 限局性 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	K35.3 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 腹膜炎を伴う急性虫垂炎（穿孔又は破裂を伴うもの又は伴わないもの）： • NOS • 限局性 腹膜内膿瘍を伴う急性虫垂炎	K35.3 Acute appendicitis with localized peritonitis Acute appendicitis (<u>with or without perforation or rupture</u>) with localized peritonitis with or without rupture or perforation ; • <u>NOS</u> • <u>localized</u> Acute appendicitis with peritoneal abscess	腹腔内膿瘍	2013 年を採用 医学的に正しい表現に訂正	○	◆「辞典」には peritoneal abscess はなし。

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
182	K35.8 急性虫垂炎，その他及び詳細不明 限局性又は汎発性腹膜炎の記載がない急性虫垂炎	K35.8 急性虫垂炎，その他及び詳細不明 限局性又は汎発性腹膜炎の記載がない急性虫垂炎	<u>K35.8 Acute appendicitis, other and unspecified</u> <u>Acute appendicitis without mention of localized or generalized peritonitis</u> K35.9 Acute appendicitis, unspecified Acute appendicitis with peritonitis, localized or NOS Acute appendicitis without: generalized peritonitis perforation peritoneal abscess rupture				
183	K43.0 癒痕ヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア： - 閉塞性 - かん<嵌>性 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.1 癒痕ヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの え〈壊〉疝性癒痕ヘルニア K43.2 癒痕ヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア NOS K43.3 傍ストーマヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア： - 閉塞性 - かん<嵌>頓性 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.4 傍ストーマヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの え〈壊〉疝性傍ストーマヘルニア K43.5 傍ストーマヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア NOS K43.6 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの ヘルニア： - 上腹壁 - 下腹壁 - 正中腹壁	K43.0 癒痕ヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア： - 閉塞性性 - かん<嵌>頓 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.1 癒痕ヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの え〈壊〉疝性癒痕ヘルニア K43.2 癒痕ヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア NOS K43.3 傍ストーマヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア： - 閉塞性 - かん<嵌>頓性 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.4 傍ストーマヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの え〈壊〉疝性傍ストーマヘルニア K43.5 傍ストーマヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア NOS K43.6 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，閉塞を伴い，え〈壊〉疝を伴わないもの ヘルニア： - 上腹壁 - 下腹壁 - 正中腹壁	K43.0 Ventral-incisional hernia with obstruction, without gangrene Ventral-incisional hernia: - causing obstruction - Incarcerated - irreducible - strangulated } without gangrene K43.1 Ventral-incisional hernia with gangrene Gangrenous ventral-incisional hernia <u>K43.2 Incisional hernia without obstruction or gangrene</u> <u>Incisional hernia NOS</u> <u>K43.3 Parastomal hernia with obstruction, without gangrene</u> <u>Parastomal hernia:</u> <u>causing obstruction</u> <u>incarcerated</u> <u>irreducible</u> <u>strangulated</u> } <u>without gangrene</u> <u>K43.4 Parastomal hernia with gangrene</u> <u>Gangrenous parastomal hernia</u> <u>K43.5 Parastomal hernia without obstruction or gangrene</u> <u>Parastomal hernia NOS</u> <u>K43.6 Other and unspecified ventral hernia with obstruction, _____ without gangrene</u> <u>Hernia:</u> <u>epigastric</u> <u>hypogastric</u> <u>midline</u> <u>spigelian</u> <u>subxiphoid</u> <u>Any condition listed under K43.6</u> <u>causing obstruction</u> <u>incarcerated</u> <u>irreducible</u> <u>strangulated</u> } <u>without gangrene</u>	閉塞性性→閉塞性 かん<嵌>頓→かん<嵌>頓性	誤記	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	- スピゲリウス - 剣状突起下 K43.6 にある下記のいずれかの状態： - 閉塞性 - かんく嵌> 頓性 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.7 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの K43.6 にあるいずれかの状態でえ〈壊〉疝を伴うと明示されたもの K43.9 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 腹壁ヘルニア NOS	- スピゲリウス - 剣状突起下 K43.6 にある下記のいずれかの状態： - 閉塞性 - かんく嵌> 頓性 - 非還納性 - 絞扼性 え〈壊〉疝を伴わないもの K43.7 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，え〈壊〉疝を伴うもの K43.6 にあるいずれかの状態でえ〈壊〉疝を伴うと明示されたもの K43.9 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア，閉塞及びえ〈壊〉疝を伴わないもの 腹壁ヘルニア NOS	K43.7 Other and unspecified ventral hernia with gangrene Any condition listed under K43.6 specified as gangrenous K43.9 Other and unspecified Vventral hernia without obstruction or gangrene Ventral hernia NOS				
184	K51 潰瘍性大腸炎 K51.0 潰瘍性（慢性）全大腸炎 包含：逆流性回腸炎 K51.2 潰瘍性（慢性）直腸炎 K51.3 潰瘍性（慢性）直腸 S 状結腸炎 K51.4 炎症性ポリープ K51.5 左側結腸炎 包含：左半結腸炎 K51.8 その他の潰瘍性大腸炎 K51.9 潰瘍性大腸炎，詳細不明	K51 潰瘍性大腸炎 K51.0 潰瘍性（慢性）全大腸炎 包含：逆流性回腸炎 K51.2 潰瘍性（慢性）直腸炎 K51.3 潰瘍性（慢性）直腸 S 状結腸炎 K51.4 炎症性ポリープ K51.5 左側結腸炎 包含：左半結腸炎 K51.8 その他の潰瘍性大腸炎 K51.9 潰瘍性大腸炎，詳細不明	K51 Ulcerative colitis K51.0 Ulcerative (chronic) enterocolitis pancolitis Includes: backwash ileitis K51.1 Ulcerative (chronic) ileocolitis K51.2 Ulcerative (chronic) proctitis K51.3 Ulcerative (chronic) rectosigmoiditis K51.4 Pseudopolypsis of colon Inflammatory polyps [Pseudopolypsis of colon] K51.5 Left sided colitis Mucosal proctocolitis Includes: left hemicolitis K51.8 Other ulcerative colitis K51.9 Ulcerative colitis, unspecified Ulcerative enteritis NOS ※K51～内の colitis の訳し分け（大腸、結腸）について要検討				
185	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 K52.0 放射線による胃腸炎及び大腸炎	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 K52.0 放射線による胃腸炎及び大腸炎	K52 Other noninfective gastroenteritis and colitis K52.0 Gastroenteritis and colitis due to radiation				
186	K52.1 中毒性胃腸炎及び大腸炎 薬物誘発性の胃腸炎および大腸炎 薬物誘発性又は毒性物質で、薬物の同定が必要な場合は、追加外因コード（XX 章）を使用する。	K52.1 中毒性胃腸炎および大腸炎 薬物誘発性の胃腸炎および大腸炎 薬剤誘発性又は毒性物質で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX 章）を使用する。	K52 Other noninfective gastroenteritis and colitis K52.1 Toxic gastroenteritis and colitis <u>Drug-induced gastroenteritis and colitis</u> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify <u>drug, if drug-induced, or</u> toxic agent	分類→同定 薬剤誘発性→薬物誘発性	原文に近い和訳 薬物と薬剤の意味の違いを考えると、薬物の方が正しい	○	◆「辞典」でも drug-induced は、薬物誘発性
187	K52.2 アレルギー性及び食事性胃腸炎及び大腸炎 食物過敏性胃腸炎又は大腸炎 K52.3 分類不能大腸炎	K52.2 アレルギー性及び食事性胃腸炎及び大腸炎 食物過敏性胃腸炎又は大腸炎 K52.3 特定されない腸炎	K52.2 Allergic and dietetic gastroenteritis and colitis Food hypersensitivity gastroenteritis or colitis K52.3 Indeterminate colitis	分類不能大腸炎	原文の意味に近い和訳	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
188	K52.8 その他の明示された非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 膠原性大腸炎 好酸球（増加）性胃炎又は胃腸炎 リンパ球性大腸炎 顕微鏡的大腸炎（膠原性大腸炎又はリンパ球性大腸炎）	K52.8 その他の明示された非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 膠原性大腸炎 好酸球（増加）性胃炎又は胃腸炎 リンパ球性大腸炎 顕微鏡的大腸炎（膠原性大腸炎又はリンパ球性大腸炎）	K52.8 Other specified noninfective gastroenteritis and colitis <u>Collagenous colitis</u> Eosinophilic gastritis or gastroenteritis <u>Lymphocytic colitis</u> <u>Microscopic colitis (collagenous colitis or lymphocytic colitis)</u>				
189	K52.9 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎，詳細不明 下痢 腸炎 回腸炎 空腸炎 S 状結腸炎 除外：大腸炎，胃腸炎，腸炎，下痢： ・感染性（A09.0） ・原因が詳細不明のもの（A09.9） 心因性下痢（F 45.3） 機能性下痢（K59.1） 新生児の下痢症（非感染性）（P 78.3）	K52.9 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎，詳細不明 下痢 腸炎 回腸炎 空腸炎 S 状結腸炎 除外：大腸炎，胃腸炎，腸炎，下痢： ・感染性（A09.0） ・原因が詳細不明のもの（A09.9） 心因性下痢（F 45.3） 機能性下痢（K59.1） 新生児の下痢症（非感染性）（P 78.3）	K52.9 Noninfective gastroenteritis and colitis, unspecified Diarrhoea Enteritis Ileitis Jejunitis Sigmoiditis <i>Excludes:</i> colitis, diarrhoea, enteritis, gastroenteritis: - infectious (A09.0) - unspecified in countries where the condition can be presumed to be of infectious origin (A09) origin (A09.9) functional diarrhoea (K59.1) neonatal diarrhoea (noninfective) (P78.3) psychogenic diarrhoea (F45.3)				
190	腸のその他の疾患 (K55-K64)	腸のその他の疾患 (K55-K64)	Other diseases of intestines (K55-K63, K64)				
191	K59.3 巨大結腸、他に分類されないもの 除外:巨大結腸（下記におけるもの）： ・シャガス〈Chagas〉病（B57.3） ・クロストリジウム・デフィシル（A04.7） ・先天性（無神経節性）（Q43.1） ・ヒルシュスプルング〈Hirschsprung〉病（Q43.1）	K59.3 巨大結腸、他に分類されないもの 除外:巨大結腸（下記におけるもの）： ・シャガス〈Chagas〉病（B57.3） ・クロストリジウム・ウェルシュ（A04.7） ・先天性（無神経節性）（Q43.1） ・ヒルシュスプルング〈Hirschsprung〉病（Q43.1）	K59.3 Megacolon, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> megacolon (due to)(in): ・Chagas' disease (B57.3) ・ <u>Clostridium difficile (A04.7)</u> ・congenital (aganglionic) (Q43.1) ・Hirschsprung's disease (Q43.1)	クロストリジウム・デ ィフィシル（A04.7）	単純ミス	○	
192	K62 肛門および直腸のその他の疾患 包含：肛門管 除外：結腸瘻〈人工肛門〉および小腸瘻の機能障害（K91.4） 便失禁（R15） 痔核（K64.-） 潰瘍性直腸炎（K51.2）	K62 肛門および直腸のその他の疾患 包含：肛門管 除外：結腸瘻〈人工肛門〉および小腸瘻の機能障害（K91.4） 便失禁（R15） 痔核（K64.-） 潰瘍性直腸炎（K51.2）	K62 Other diseases of anus and rectum <i>Includes:</i> anal canal <i>Excludes:</i> colostomy and enterostomy malfunction (K91.4) faecal incontinence (R15) haemorrhoids (K64.-) ulcerative proctitis (K51.2)				
193	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・肛門部及び直腸部（K61.-）	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・虫垂（K35.3）	K63.0 Abscess of intestine <i>Excludes:</i> abscess of: ・anal and rectal regions (K61.-) ・appendix (K35.4) <u>K35.3</u> with diverticular disease (K57.-)	・ <u>虫垂（K35.3）</u>		○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・虫垂（K35.3） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-） K63.1 腸穿孔（非外傷性） 除外：穿孔（非外傷性）： ・虫垂（K35.-） ・十二指腸（K26.-） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-）	・肛門部及び直腸部（K61.-） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-） K63.1 腸穿孔（非外傷性） 除外：穿孔（非外傷性）： ・十二指腸（K26.-） ・虫垂（K35.-） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-）	K63.1 Perforation of intestine (nontraumatic) <i>Excludes:</i> perforation (nontraumatic) of • appendix (K35.0-) • duodenum (K26.-) with diverticular disease (K57.-)	・<u>肛門部及び直腸部（K61.-）</u> ・<u>十二指腸（K26.-）</u> ・<u>虫垂（K35.-）</u>	→記載が上下逆		
194	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・肛門部および直腸部（K61.-） ・虫垂（K35.3） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-） K63.1 腸穿孔（非外傷性） 除外：穿孔（非外傷性）： ・虫垂（K35.2, K35.3） ・十二指腸（K26.-） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-）	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・肛門部および直腸部（K61.-） ・虫垂（K35.3） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-） K63.1 腸穿孔（非外傷性） 除外：穿孔（非外傷性）： ・虫垂（K35.2, K35.3） ・十二指腸（K26.-） 憩室性疾患を伴うもの（K57.-）	K63.0 Abscess of intestine <i>Excludes:</i> abscess of • anal and rectal regions (K61.-) • appendix (K35.1<u>K35.3</u>) with diverticular disease (K57.-) K63.1 Perforation of intestine (nontraumatic) <i>Excludes:</i> perforation (nontraumatic) of • appendix (K35.0<u>K35.2, K35.3</u>) • duodenum (K26.-) with diverticular disease (K57.-)				
195	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 包含：痔 除外：合併症： ・産じょく〈褥〉における痔核（87.2） ・妊娠（O22.4） K64.0 第1度痔核 グレード/ステージⅠ痔核 痔核（出血性），脱肛を伴わない K64.1 第2度痔核 グレード/ステージⅡ痔核 痔核（出血性），努責により脱肛するが，自然に還納する。 K64.2 第3度痔核 グレード/ステージⅢ痔核 痔核（出血性），努責により脱肛し，用指的還納を必要とする。 K64.3 第4度痔核 グレード/ステージⅣ痔核 痔核（出血性），脱肛を伴い用指的に還納できない K64.4 痔核性遺残皮膚突起 肛門皮垂 K64.5 肛門周囲静脈血栓症	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 包含：痔 除外：合併症： ・産じょく〈褥〉における痔核（87.2） ・妊娠（O22.4） K64.0 第1度痔核 グレード/ステージⅠ痔核 痔核（出血性），脱肛を伴わない K64.1 第2度痔核 グレード/ステージⅡ痔核 痔核（出血性），努責により脱肛するが，自然に戻る。 K64.2 第3度痔核 グレード/ステージⅢ痔核 痔核（出血性），努責により脱肛するが，指で肛門管内へ押し戻さないと戻らない。 K64.3 第4度痔核 グレード/ステージⅣ痔核 痔核（出血性），脱肛を伴い手動で元に戻らない。 K64.4 残遺痔核皮垂 肛門皮垂 K64.5 肛門周囲静脈血栓症	<u>K64 Haemorrhoids and perianal venous thrombosis</u> <i><u>Includes:</u></i> piles <i><u>Excludes:</u></i> complicating: • childbirth and the puerperium (O87.2) • pregnancy (O22.4) <u>K64.0 First degree haemorrhoids</u> <u>Grade/stage I haemorrhoids</u> <u>Haemorrhoids (bleeding) without prolapse outside of anal canal</u> <u>K64.1 Second degree haemorrhoids</u> <u>Grade/stage II haemorrhoids</u> <u>Haemorrhoids (bleeding) that prolapse with straining, but retract spontaneously</u> <u>K64.2 Third degree haemorrhoids</u> <u>Grade/stage III haemorrhoids</u> <u>Haemorrhoids (bleeding) that prolapse with straining and require manual replacement back inside anal canal</u> <u>K64.3 Fourth degree haemorrhoids</u> <u>Grade/stage IV haemorrhoids</u> <u>Haemorrhoids (bleeding) with prolapsed tissue that cannot be manually replaced</u> <u>K64.4 Residual haemorrhoidal skin tags</u> <u>Skin tags of anus or rectum</u> <u>K64.5 Perianal venous thrombosis</u> <u>Perianal haematoma</u> <u>K64.8 Other specified haemorrhoids</u> <u>K64.9 Haemorrhoids, unspecified</u> <u>Haemorrhoids (bleeding):</u>	戻る→還納する 脱肛するが，指で肛門管内へ押し戻さないと戻らない→脱肛し，用指的還納を必要とする 手動で元に戻らない→用指的に還納できない	医学用語として通常用いている butではない 医学用語として通常用いている 医学用語として通常用いている	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
					題ない。		
198	K76.8 その他の明示された肝疾患 単純性肝のう<嚢>胞 肝限局性結節性過形成 肝下垂（症）	K76.8 その他の明示された肝疾患 単純性肝のう<嚢>胞 肝限局性結節性過形成 肝下垂（症）	K76.8 Other specified diseases of liver <u>Simple cyst of liver</u> Focal nodular hyperplasia of liver Hepatoptosis				
199	K85 急性膵炎 膵膿瘍 膵え<壊>死： ・急性 ・感染性 膵炎： ・NOS ・急性（再発性） ・出血性 ・亜急性 ・化膿性 K85.0 特発性急性膵炎 K85.1 胆石性急性膵炎 胆石性膵炎 K85.2 アルコール性急性膵炎 K85.3 薬物性急性膵炎 薬物の同定が必要な場合は，追加外因コード（XX 章）を使用する。 K85.8 その他の急性膵炎 K85.9 急性膵炎，詳細不明	K85 急性膵炎 膵炎： ・NOS ・急性（再発性） ・亜急性 ・出血性 ・化膿性 膵膿瘍 急性膵え<壊>死 感染性膵え<壊>死 K85.0 特発性急性膵炎 K85.1 胆石性急性膵炎 胆石性膵炎 K85.2 アルコール性急性膵炎 K85.3 薬剤性急性膵炎 薬物の分類が必要な場合は，追加外因コード（XX 章）を使用する。 K85.8 その他の急性膵炎 K85.9 急性膵炎，詳細不明	K85 Acute pancreatitis Abscess of pancreas Necrosis of pancreas: ·acute ·infective Pancreatitis: ·NOS ·acute (recurrent) ·haemorrhagic ·subacute ·suppurative <u>K85.0 Idiopathic acute pancreatitis</u> <u>K85.1 Biliary acute pancreatitis</u> <u>Gallstone pancreatitis</u> <u>K85.2 Alcohol-induced acute pancreatitis</u> <u>K85.3 Drug-induced acute pancreatitis</u> <u>Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug</u> <u>K85.8 Other acute pancreatitis</u> <u>K85.9 Acute pancreatitis, unspecified</u>	膵膿瘍 膵え<壊>死： ・急性 ・感染性 膵炎： ・NOS ・急性（再発性） ・出血性 ・亜急性 ・化膿性 薬剤性急性膵炎→薬物性急性膵炎 分類→同定	原文に合わせて、順番と形式を訂正してください 薬物性膵炎が医学用語辞典に記載あり 原文に近い和訳	○	◆「辞典」では、drug-induced pancreatitis で薬物起因性膵炎、薬物性膵炎
200	K92.1 メレナ 除外：便潜血（R19.5）	K92.1 メレナ 除外：便潜血（R19.5）	K92.1 Melaena <u><i>Excludes:</i> occult blood in faeces (R19.5)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
201	L08.0 膿皮症 化膿性皮膚炎 敗血症性皮膚炎 え〈壊〉疽性皮膚炎	L08.0 膿皮症 化膿性皮膚炎 敗血症性皮膚炎 え〈壊〉疽性皮膚炎	L08.0 Pyoderma Dermatitis: • <u>gangrenosa</u> purulent				
202	皮膚炎および湿疹 （L20 - L30） 除外：慢性（小児性）肉芽腫症（D71） 皮膚炎 ・乾皮症（L85.3） ・人工（L98.1） ・え〈壊〉疽性（L08.0）	皮膚炎および湿疹 （L20 - L30） 除外：慢性（小児性）肉芽腫症（D71） 皮膚炎 ・皮膚乾燥性（L85.3） ・人工（L98.1） ・え〈壊〉疽性（L08.0）	Dermatitis and eczema (L20 - L30) <i>Excludes:</i> chronic (childhood) granulomatous disease (D71) dermatitis ・dry skin (L85.3) ・factitial (L98.1) ・gangrenosa (L88) <u>(L08.0)</u>	乾皮症	乾皮症の呼び名が一般的である	○ ◆	Dry skin dermatitis で「乾皮症」か、「乾皮症皮膚炎」か要確認
203	L41 類乾せん〈癬〉 L41.0 急性痘瘡状苔せん〈癬〉状ひこう〈秕糠〉疹 L41.1 慢性苔せん〈癬〉状ひこう〈秕糠〉疹	L41 類乾せん〈癬〉 L41.0 急性痘瘡状苔せん〈癬〉状ひこう〈秕糠〉疹 L41.1 慢性苔せん〈癬〉状ひこう〈秕糠〉疹	L41 Parapsoriasis L41.0 Pityriasis lichenoides et varioliformis acuta L41.1 Pityriasis lichenoides chronica L41.2 Lymphomatoid papulosis				
204	L88 え〈壊〉疽性膿皮症 侵食〈蝕〉性膿皮症 除外: え〈壊〉疽性皮膚炎（L08.0）	L88 え〈壊〉疽性膿皮症 侵食〈蝕〉性膿皮症 除外: え〈壊〉疽性皮膚炎（L08.0）	L88 Pyoderma gangrenosum Dermatitis gangrenosa Phagedenic pyoderma <i>Excludes:</i> dermatitis gangrenosa (L08.0)				
205	L89 じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域 包含：じょく〈褥〉瘡 ギブス（包帯）性潰瘍 注：ステージが異なる複数の部位がある場合は、最も高いステージを示すコード1つのみを割り当てる。 除外：子宮頸（部）のじょく〈褥〉瘡性（栄養性）潰瘍（N86） L89.0 ステージ I じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域 皮膚の欠損を伴わず、潰瘍は、薄く色素沈着のある皮膚では、持続的な赤みがかった色調（紅斑），より暗い色調の皮膚では、持続的な赤，青又は紫の色調として認められる。紅斑のみに限定されるじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕	L89 じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域 包含：じょく〈褥〉瘡 ギブス（包帯）性潰瘍 注：ステージが異なる複数の部位がある場合は、最も高いステージを示すコード1つのみを割り当てる。 除外：子宮頸（部）のじょく〈褥〉瘡性（栄養性）潰瘍（N86） L89.0 ステージ I じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域 皮膚の欠損を伴わず、潰瘍は、薄く色素沈着のある皮膚では、持続的な赤みがかった色調（紅斑），より暗い色調の皮膚では、持続的な赤，青又は紫の色調として認められる。紅斑のみに限定されるじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕	L89 Decubitus ulcer and pressure area <u>Incl. :</u> Bedsore Plaster ulcer Pressure ulcer <i>Note:</i> For multiple sites of differing stages assign only one code indicating the highest stage. <i>Excludes:</i> decubitus (trophic) ulcer of cervix (uteri) (N86) <u>L89.0 Stage I decubitus ulcer and pressure area</u> <u>Decubitus [pressure] ulcer limited to erythema only</u> <i>Note:</i> The ulcer appears as a defined area of persistent redness (erythema) in lightly pigmented skin, whereas in darker skin tones, the ulcer may appear with persistent red, blue or purple hues, without skin loss. <u>L89.1 Stage II decubitus ulcer</u>	<u>子宮頸は子宮頸となります。</u>		◆ 「辞典」では、頸のため、仮訳のままとしました。	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	潰瘍 L89.1 ステージⅡじょく〈褥〉瘡性潰瘍 下記を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍 ・擦過傷 ・水疱 ・表皮及び/又は真皮を含む皮膚の部分的欠損 ・皮膚の欠損 NOS L89.2 ステージⅢじょく〈褥〉瘡性潰瘍 皮下組織の傷害又はえ〈壊〉死を含む皮膚全層の欠損を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍，下床の筋膜までの範囲に及ぶもの L89.3 ステージⅣじょく〈褥〉瘡性潰瘍 筋肉，骨，支持構造（即ち，腱又は関節包）のえ〈壊〉死を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍 L89.9 じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域，詳細不明 じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍，ステージの記載がないもの	潰瘍 L89.1 ステージⅡじょく〈褥〉瘡性潰瘍 下記を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍 ・擦過傷 ・水疱 ・表皮及び/又は真皮を含む皮膚の部分的欠損 ・皮膚の欠損 NOS L89.2 ステージⅢじょく〈褥〉瘡性潰瘍 皮下組織の傷害又はえ〈壊〉死を含む皮膚全層の欠損を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍，下床の筋膜までの範囲に及ぶもの L89.3 ステージⅣじょく〈褥〉瘡性潰瘍 筋肉，骨，支持構造（即ち，腱又は関節包）のえ〈壊〉死を伴うじょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍 L89.9 じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域，詳細不明 じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍，ステージの記載がないもの	<u>Decubitus [pressure] ulcer with:</u> <u>•abrasion</u> <u>•blister</u> <u>•partial thickness skin loss involving epidermis and/or dermis</u> <u>•skin loss NOS</u> <u>L89.2 Stage III decubitus ulcer</u> <u>Decubitus [pressure] ulcer with full thickness skin loss involving damage or necrosis of subcutaneous tissue extending to underlying fascia</u> <u>L89.3 Stage IV decubitus ulcer</u> <u>Decubitus [pressure] ulcer with necrosis of muscle, bone or supporting structures (ie tendon or joint capsule)</u> <u>L89.9 Decubitus ulcer and pressure area, unspecified</u> <u>Decubitus [pressure] ulcer without mention of stage</u> ※第3回部会資料から訳を微修正				
206	L91.0 肥厚性癬痕 ケロイド癬痕 除外：ケロイドぎ瘡〈アクネ〉（L73.0） 癬痕 NOS（L90.5）	L91.0 肥厚性癬痕 ケロイド癬痕 除外：ケロイドぎ瘡〈アクネ〉（L73.0） 癬痕 NOS（L90.5）	L91.0 Keloid scar Hypertrophic scar Hypertrophic-Keloid scar <i>Excludes: acne keloid (L73.0)</i> scar NOS (L90.5) ※第3回告示資料から抜けていたため追加				
207	L97 下肢の潰瘍，他に分類されないもの 除外：A00－B99 に分類される感染症 じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍及び圧迫領域（L89.-） 静脈瘤性潰瘍（I83.0, I83.2） え〈壊〉疽〈脱疽〉（R02） 皮膚感染症（L00－L08） L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害，他に分類されないもの L98.4 皮膚の慢性潰瘍，他に分類されないもの 皮膚の慢性潰瘍 NOS 皮膚の潰瘍 NOS 熱帯性潰瘍 NOS 除外：A00－B99 に分類される感染症 静脈瘤性潰瘍（I83.0, I83.2） 皮膚感染症（L00－L08） じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍及び圧迫領域（L89.-）	L97 下肢の潰瘍，他に分類されないもの 除外：A00－B99 に分類される感染症 じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍及び圧迫領域（L89.-） 静脈瘤性潰瘍（I83.0, I83.2） え〈壊〉疽〈脱疽〉（R02） 皮膚感染症（L00－L08） L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害，他に分類されないもの L98.4 皮膚の慢性潰瘍，他に分類されないもの 皮膚の慢性潰瘍 NOS 皮膚の潰瘍 NOS 熱帯性潰瘍 NOS 除外：A00－B99 に分類される感染症 静脈瘤性潰瘍（I83.0, I83.2） 皮膚感染症（L00－L08） じょく〈褥〉瘡性〔圧迫性〕潰瘍及び圧迫領域（L89.-）	L97 Ulcer of lower limb, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> decubitus <u>[pressure]</u> ulcer <u>and pressure area</u> (L89.-) gangrene (R02) skin infections (L00－L08) specific infections classified to A00－B99 varicose ulcer (I83.0, I83.2) L98 Other disorders of skin and subcutaneous tissue, not elsewhere classified L98.4 Chronic ulcer of skin, not elsewhere classified Chronic ulcer of skin NOS Tropical ulcer NOS Ulcer of skin NOS <i>Excludes:</i> decubitus <u>[pressure]</u> ulcer <u>and pressure area</u> (L89.-) gangrene (R02) skin infections (L00－L08) specific infections classified to A00－B99				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	下肢の潰瘍 NEC（L97） え〈壊〉疽〈脱疽〉（R02）	下肢の潰瘍 NEC（L97） え〈壊〉疽〈脱疽〉（R02）	ulcer of lower limb NEC (L97) varicose ulcer (I83.0, I83.2)				
208	L98.5 皮膚のムチン（沈着）症 病巣性ムチン（沈着）症 粘液水腫性苔せん〈癬〉 網状紅斑性ムチン（沈着）症 除外：粘液水腫（E03.9） 病 巣 性 口 腔 ム チ ン （ 沈 着 ） 症 （K13.7）	L98.5 皮膚のムチン（沈着）症 病巣性ムチン（沈着）症 粘液水腫性苔せん〈癬〉 網状紅斑性ムチン（沈着）症 除外：粘液水腫（E03.9） 病巣性口腔ムチン（沈着）症 （K13.7）	L98.5 Mucinosis of skin Focal mucinosis Lichen myxoedematosus <u>Reticular erythematous mucinosis</u> <i>Excludes:</i> focal oral mucinosis (K13.7) myxoedema (E03.9)				
209	第XⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 全身性結合組織障害（M30－M36） 包含：自己免疫疾患，全身性又は NOS 膠原（血管）病，全身性又は NOS 除外：抗リン脂質抗体症候群（D68.6） 自己免疫疾患，単独臓器型または単独細胞型 （該当する病態の分類項目にコードする）	第XⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 全身性結合組織障害（M30－M36） 包含：自己免疫疾患，全身性又は NOS 膠原（血管）病，全身性又は NOS 除外：抗リン脂質抗体症候群（D68.6） 自己免疫疾患，単独臓器型または単独細胞型 （該当する病態の分類項目にコードする）	Chapter XIII Diseases of the musculoskeletal system and connective tissue (M00-M99) Systemic connective tissue disorders (M30-M36) <i>Includes:</i> autoimmune disease: ・ NOS ・ systemic collagen (vascular) disease: ・ NOS ・ systemic <i>Excludes:</i> <u>antiphospholipid syndrome (D68.6)</u> autoimmune disease, single organ or single cell-type (code to relevant condition category)				
210	M00 化膿性関節炎 [部位コードは章の冒頭を参照] 除外：体内関節プロステシスによる感染症および炎症性反応（T84.5）	M00 化膿性関節炎 [部位コードは章の冒頭を参照] 除外：体内関節プロステシスによる感染症および炎症性反応（T84.5）	M00 Pyogenic arthritis [See site code at the beginning of this chapter] <i>Excludes:</i> infection and inflammatory reaction due to internal joint prosthesis (T84.5)				
211	M10.3 腎機能障害による痛風 腎疾患の障害の分類が必要な場合は，追加コードを使用する（N17－N19）。	M10.3 腎機能障害による痛風 腎疾患の障害の分類が必要な場合は，追加コードを使用する（N17－N19）。	M10.3 Gout due to impairment of renal function <u>Use additional code, if desired, to identify impairment of kidney disease (N17-N19)</u>				
212	M24.8 その他の明示された関節内障，他に分類されないもの	M24.8 その他の明示された関節内障，他に分類されないもの	M24.8 Other specific joint derangements, not elsewhere classified Irritable hip ※第3回部会資料から抜けていたため追加				
213	M31.7 顕微鏡的多発（性）血管炎 顕微鏡的多発（性）動脈炎 除外：結節性多発（性）動脈炎（M30.0）	M31.7 顕微鏡的多発（性）血管炎 顕微鏡的多発（性）動脈炎 除外：結節性多発（性）動脈炎（M30.0）	M31.7 Microscopic polyangiitis <u>Microscopic polyarteritis</u> <i>Excludes:</i> polyarteritis nodosa (M30.0)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
214	M36.1* 新生物性疾患における関節症（C00—D48†） 下記における関節障害： ・白血病（C91—C95†） ・悪性組織球症（C96.8†） ・多発性骨髄腫（C90.0†）	M36.1* 新生物性疾患における関節症（C00—D48†） 下記における関節障害： ・多発性骨髄腫（C90.0†） ・白血病（C91—C95†） ・悪性組織球症（C96.8†）	M36.1* Arthropathy in neoplastic disease (C00-D48†) Arthropathy in: ・ leukaemia (C91-C95†) ・ malignant histiocytosis (C96.+8†) ・ multiple myeloma (C90.0†)			◆	項 目 223 へのコメン トを受けて 順番を修正
215	M65.8 その他の滑膜炎及び腱鞘炎 過敏性股（関節）	M65.8 その他の滑膜炎及び腱鞘炎 過敏性股（関節）	M65.8 Other synovitis and tenosynovitis <u>Irritable hip</u>				
216	M70 使用，使い過ぎ及び圧迫に関連する軟部組織障害 包含：職業に起因する軟部組織障害 除外：滑液包炎： ・N O S（M71.9） ・肩（M75.5） じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域（L89.-） 腱（靱帯）付着部症（M76—M77）	M70 使用，使い過ぎ及び圧迫に関連する軟部組織障害 包含：職業に起因する軟部組織障害 除外：滑液包炎： ・N O S（M71.9） ・肩（M75.5） じょく〈褥〉瘡性潰瘍及び圧迫領域（L89.-） 腱（靱帯）付着部症（M76—M77）	M70 Soft tissue disorders related to use, overuse and pressure <i>Includes:</i> soft tissue disorders of occupational origin <i>Excludes:</i> bursitis (of): ・ NOS (M71.9) ・ shoulder (M75.5) <u>decubitus ulcer and pressure area (L89.-)</u> enthesopathies (M76-M77)				
217	M79.0 リウマチ，詳細不明 除外：回帰性リウマチ（M12.3） 線維筋痛症（M79.7） M79.7 線維筋痛症 線維筋炎 結合組織炎 筋線維膜炎	M79.0 リウマチ，詳細不明 除外：回帰性リウマチ（M12.3） 線維筋痛症（M79.7） M79.7 線維筋痛症 線維筋炎 結合組織炎 筋線維膜炎	M79.0 Rheumatism, unspecified Fibromyalgia Fibrositis <u>Excludes:</u> fibromyalgia (M79.7) M79.7 Fibromyalgia Fibromyositis Fibrositis Myofibrositis ※第3回部会資料から訳を微修正				
218	M85.8 骨の密度及び構造のその他の明示された障害 骨増殖症，頭蓋を除く 骨硬化症，後天性 除外：全身性特発性骨増殖症〔DISH〕（M48.1） 骨硬化症： ・先天性（Q77.4） ・骨髄線維症（D75.8）	M85.8 骨の密度及び構造のその他の明示された障害 骨増殖症，頭蓋を除く 骨硬化症，後天性 除外：全身性特発性骨増殖症〔DISH〕（M48.1） 骨硬化症： ・先天性（Q77.4） ・骨髄線維症（D75.8）	M85.8 Other specified disorders of bone density and structure Hyperostosis of bones, except skull <u>Osteosclerosis, acquired</u> <i>Excludes:</i> diffuse idiopathic skeletal hyperostosis [DISH] (M48.1-) <u>osteosclerosis:</u> ・ <u>congenita (Q77.4)</u> ・ <u>myelofibrosis (D75.8)</u>				
219	M87 骨え〈壊〉死 〔部位コードは524～525ページを参照〕 包含：骨の阻血性え〈壊〉死 除外：骨軟骨症〈骨端症〉（M91—M93） 顎の骨え〈壊〉死（薬物誘発）（放射線誘発）（K10.2）	M87 骨え〈壊〉死 〔部位コードは524～525ページを参照〕 包含：骨の阻血性え〈壊〉死 除外：骨軟骨症〈骨端症〉（M91—M93） 顎の骨え〈壊〉死（薬物誘発）（放射線誘発）（K10.2）	M87 Osteonecrosis [See site code at the beginning of this chapter] <i>Includes:</i> avascular necrosis of bone <i>Excludes:</i> osteochondropathies (M91-M93) <u>osteonecrosis of jaw (drug-induced)(radiation-induced) (K10.2)</u>				
220	M87.1 薬物による骨え〈壊〉死 薬物の分類が必要な場合は，追加外因コード	M87.1 薬物による骨え〈壊〉死 薬物の分類が必要な場合は，追加外因コード	M87.1 Osteonecrosis due to drugs Use additional external cause code (Chapter XX), if				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	(XX 章) を使用する。 除外：顎の骨え〈壊〉死（K10.2）	(XX 章) を使用する。 除外：顎の骨え〈壊〉死（K10.2）	desired ,to identify drug. <u>Excludes: osteonecrosis of jaw (K10.2)</u> ※第3回部会資料から抜けていたため、追加				
221	M89.6 急性灰白髄炎〈ポリオ〉後骨障害 既往の急性灰白髄炎〈ポリオ〉の分類が必要な場合は、追加コード（B91）を使用する。 除外：ポリオ後症候群（G14）	M89.6 急性灰白髄炎〈ポリオ〉後骨障害 既往の急性灰白髄炎〈ポリオ〉の分類が必要な場合は、追加コード（B91）を使用する。 除外：ポリオ後症候群（G14）	M89.6 Osteopathy after poliomyelitis Use additional code (B91), if desired, to identify previous poliomyelitis. <u>Excludes: postpolio syndrome (G14)</u>				
222	M94.0 肋軟骨骨結合症候群〔ティーツエ〈Tietze〉病〕 肋軟骨炎	M94.0 肋軟骨骨結合症候群〔ティーツエ〈Tietze〉病〕 肋軟骨炎	M94.0 Chondrocostal junction syndrome [Tietze] <u>Costochondritis</u>				
223	糸球体疾患（N00－N08） 慢性腎疾患（N18.-）に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する（N18.-）。 外因（第X X章）又は急性（N17）, 慢性（N18）もしくは詳細不明（N19）の腎不全の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧性腎疾患（ I 12.-）	糸球体疾患（N00－N08） 慢性腎疾患（N18.-）に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する（N18.-）。 外因（第X X章）又は急性（N17）, 慢性（N18）もしくは詳細不明（N19）の腎不全の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧性腎疾患（ I 12.-）	Glomerular diseases (N00－N08) <u>Use additional code, if desired, to identify associated chronic kidney disease (N18.-)</u> Use additional code, if desired, to identify external cause (Chapter XX) or presence of renal failure, (N17-N19) <u>Acute (N17), Chronic(N18.-), or Unspecified (N19)</u> <u>Excludes: hypertensive renal disease (I12.-)</u>	詳細不明→原因不明、 特定不能等 <u>原文の順番と訳語の順番を一致させるべき。</u>	<u>○unspecified origin, unspecified site, unspecified --の訳語は、事務局（仮訳）は、詳細不明、部位不明、詳細不明の-- になっているが、「原因不明」や「特定不能」を訳語として用いた方が適切。</u> <u>○WHO 勧告（原文）と事務局仮訳の用語の同一枠内の並び順（順番）が異なる：順番に「疾患頻度」、「重要度」などの要素を含んでいた場合、間違いになる。</u> <u>例えば、No. 214, 224 など。他多数。</u>	△	特定できない
224	N03 慢性腎炎症候群 〔細分類は 574 ページを参照〕 包含：慢性： ・糸球体疾患 ・糸球体腎炎 ・腎炎 除外：慢性尿細管間質性腎炎（N11.-） びまん性硬化性糸球体腎炎（N18.-） 腎炎症候群 NOS（N05.-）	N03 慢性腎炎症候群 〔細分類は 574 ページを参照〕 包含：慢性： ・糸球体疾患 ・糸球体腎炎 ・腎炎 除外：腎炎症候群 NOS（N05.-） 慢性尿細管間質性腎炎（N11.-） びまん性硬化性糸球体腎炎（N18.-）	N03 Chronic nephritic syndrome [Note: See before N00 for subdivisions] <i>Includes:</i> chronic: ● glomerular disease ● glomerulonephritis ● nephritis ● renal disease NOS <i>Excludes:</i> chronic tubulo-interstitial nephritis (N11.-) diffuse sclerosing glomerulonephritis (N18.-) nephritic syndrome NOS (N05.-)			◆	項 目 223 のコメントを受けて順番を修正
225	N05 詳細不明の腎炎症候群 〔細分類は 574 ページを参照〕 包含：糸球体疾患 NO S	N05 詳細不明の腎炎症候群 〔細分類は 574 ページを参照〕 包含：糸球体疾患 NO S	N05 Unspecified nephritic syndrome <u>Excludes:</u> nephropathy NOS with no stated morphological lesion (N28.9)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	糸球体腎炎 腎炎 574 ページの.0—.8 で明示された形態学的病変を伴う腎症<ネフロパシー>NOS 及び腎疾患 NOS 除外：尿細管間質性腎炎 NOS（N12） 形態学的病変の明示されない腎症<ネフロパシー>NOS（N28.9） 形態学的病変の明示されない腎疾患 NOS（N28.9）	糸球体腎炎 腎炎 574 ページの.0—.8 で明示された形態学的病変を伴う腎症<ネフロパシー>NOS 及び腎疾患 NOS 除外：尿細管間質性腎炎 NOS（N12） 形態学的病変の明示されない腎症<ネフロパシー>NOS（N28.9） 形態学的病変の明示されない腎疾患 NOS（N28.9）	renal disease NOS with no stated <u>morphological lesion</u> （N28.9）				
226	N08.5* 全身性結合組織障害における糸球体障害 下記における糸球体障害： ・顕微鏡的多発（性）血管炎（M31.7+） ・グッドパスチャー<Goodpasture>症候群（M31.0+） ・血栓性血小板減少性紫斑病（M31.1+） ・ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫（M31.3+） ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>（M32.1+）	N08.5* 全身性結合組織障害における糸球体障害 下記における糸球体障害： ・顕微鏡的多発（性）血管炎（M31.7+） ・グッドパスチャー<Goodpasture>症候群（M31.0+） ・血栓性血小板減少性紫斑病（M31.1+） ・ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫症（M31.3+） ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>（M32.1+）	N08.5* Glomerular disorders in systemic connective tissue disorders Glomerular disorders in: ・ Goodpasture syndrome (M31.0+) ・ polyarteritis nodosa (M30.0+) <u>microscopic polyangiitis (M31.7+)</u> ・ systemic lupus erythematosus (M32.1+) ・ thrombotic thrombocytopenic purpura (M31.1+) ・ Wegener granulomatosis (M31.3+)	多発血管炎性肉芽腫症 （旧 ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫症）	専門学会での新名称 に合致させるため	○	◆「辞典」 では、顕微鏡的多発血管炎。ウェゲナー肉芽腫
227	腎尿細管間質性疾患（N10–N16） 包含：腎盂腎炎 慢性腎疾患（N18.-）に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する（N18.-）。 除外：のう<囊>胞性腎盂尿管炎（N28.8）	腎尿細管間質性疾患（N10–N16） 包含：腎盂腎炎 慢性腎疾患（N18.-）に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する（N18.-）。 除外：のう<囊>胞性腎盂尿管炎（N28.8）	RENAL TUBULO-INTERSTITIAL DISEASES (N10–N16) <i>Includes:</i> pyelonephritis <u>Use additional code, if desired, to identify associated chronic kidney disease (N18.-)</u> <i>Excludes:</i> pyeloureteritis cystica (N28.8)				
228	N17 急性腎不全 包含：急性腎機能障害	N17 急性腎不全 包含：急性腎機能障害	N17 Acute renal failure <i>Includes:</i> acute renal impairment				
229	N18 慢性腎臓病 包含：慢性尿毒症 びまん性硬化性糸球体腎炎 基礎疾患の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 高血圧症の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧（症）を伴う慢性腎不全（I12.0） N18.1 慢性腎臓病，ステージ 1 GFR 正常値又は亢進（> 90 mL/min）を伴う腎障害 N18.2 慢性腎臓病，ステージ 2 GFR の軽度低下（60-89 mL/min）を伴う腎障害	N18 慢性腎臓病 包含：慢性尿毒症 びまん性硬化性糸球体腎炎 基礎疾患の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 高血圧症の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧（症）を伴う慢性腎不全（I12.0） N18.1 慢性腎臓病，ステージ 1 GFR 正常値又は亢進（> 90 mL/min）を伴う腎障害 N18.2 慢性腎臓病，ステージ 2 GFR の軽度低下（60-89 mL/min）を伴う腎障害	N18 Chronic renal failure kidney disease <i>Includes:</i> chronic uraemia diffuse sclerosing glomerulonephritis <u>Use additional code, if desired, to identify underlying disease.</u> <u>Use additional code, if desired, to identify presence of hypertension.</u> <i>Excludes:</i> chronic renal failure with hypertension (I12.0) N18.0 End stage renal disease N18.1 Chronic kidney disease, stage 1 <u>Kidney damage with normal or increased GFR (> 90 mL/min)</u> N18.2 Chronic kidney disease, stage 2 <u>Kidney damage with mild decreased GFR (60-89 mL/min)</u> N18.3 Chronic kidney disease, stage 3 <u>Kidney damage with moderately decreased GFR (30-59 mL/min)</u> N18.4 Chronic kidney disease, stage 4				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	N18.3 慢性腎臓病，ステージ3 GFR の中度低下（30-59 mL/min）を伴う腎障害 N18.4 慢性腎臓病，ステージ4 GFR の重度低下（15-29 mL/min）を伴う腎障害 N18.5 慢性腎臓病，ステージ5 慢性尿毒症 末期腎臓病： ●同種移植片不全におけるもの ●NOS ●透析中もの ●透析又は移植を受けないもの 腎性網膜炎†（H32.8*） 尿毒症性： ●卒中†（I68.8*） ●認知症†（F02.8*） ●ニューロパチ〈シ〉ー†（G63.8*） ●麻痺†（G99.8*） ●心膜炎†（I32.8*） N18.9 慢性腎臓病，詳細不明	N18.3 慢性腎臓病，ステージ3 GFR の中度低下（30-59 mL/min）を伴う腎障害 N18.4 慢性腎臓病，ステージ4 GFR の重度低下（15-29 mL/min）を伴う腎障害 N18.5 慢性腎臓病，ステージ5 慢性尿毒症 末期腎臓病： ●同種移植片不全におけるもの ●NOS ●透析中もの ●透析又は移植を受けないもの 腎性網膜炎†（H32.8*） 尿毒症性： ●卒中†（I68.8*） ●認知症†（F02.8*） ●ニューロパチ〈シ〉ー†（G63.8*） ●麻痺†（G99.8*） ●心膜炎†（I32.8*） N18.9 慢性腎臓病，詳細不明	<u>Kidney damage with severely decreased GFR (15-29 mL/min)</u> N18.5 Chronic kidney disease, stage 5 <u>Chronic uraemia</u> <u>End stage kidney disease:</u> ● <u>in allograft failure</u> ● <u>NOS</u> ● <u>on dialysis</u> ● <u>without dialysis or transplant</u> <u>Renal retinitis†(H32.8*)</u> <u>Uraemic:</u> ● <u>apoplexia† (I68.8*)</u> ● <u>dementia † (F02.8*)</u> ● <u>neuropathy† (G63.8*)</u> ● <u>paralysis† (G99.8*)</u> ● <u>pericarditis† (I32.8*)</u> N18.8 Other chronic renal failure Uraemic: ● neuropathy† (G63.8*) ● pericarditis† (I32.8*) N18.9 Chronic renal failure kidney disease, unspecified ※第3回部会資料から訳を修正				
230	N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全 NOS 除外：高血圧（症）を伴う腎不全（I 12.0） 新生児尿毒症（P 96.0）	N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全 NOS 除外：高血圧（症）を伴う腎不全（I 12.0） 新生児尿毒症（P 96.0）	N19 Unspecified renal kidney failure <u>Renal insufficiency NOS</u> <u>Uraemia NOS</u> <i>Excludes:</i> renal kidney failure with hypertension (I12.0) uraemia of newborn (P96.0)				
231	N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全NOS 除外：高血圧（症）による腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）	N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全NOS 除外：高血圧（症）による腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）	N19 Unspecified kidney failure Renal insufficiency NOS Uraemia NOS <i>Excludes:</i> kidney failure with <u>due to</u> hypertension (I12.0) uraemia of newborn (P96.0)				
232	N20 腎結石及び尿管結石 包含：結石性腎盂腎炎 除外：水腎症を伴うもの（N13.2） N20.9 尿路結石，詳細不明	N20 腎結石及び尿管結石 包含：結石性腎盂腎炎 除外：水腎症を伴うもの（N13.2） N20.9 尿路結石，詳細不明	N20 Calculus of kidney and ureter <i>Includes:</i> calculous pyelonephritis <i>Excludes:</i> with hydronephrosis (N13.2) N20.9 Urinary calculus, unspecified Calculous pyelonephritis				
233	N26 詳細不明の萎縮腎 除外：高血圧による萎縮腎（I12）	N26 詳細不明の萎縮腎 除外：高血圧による萎縮腎（I12）	N26 Unspecified contracted kidney <i>Excludes:</i> contracted kidney with <u>due to</u> hypertension (I12)				
234	N29.8* 他に分類されるその他の疾患における腎及び尿管のその他の障害	N29.8* 他に分類されるその他の疾患における腎および尿管のその他の障害	N29.8* Other disorders of kidney and ureter in other diseases classified elsewhere	<u>Cystinuria (E72.0†)</u>	<u>Cystine storage</u>	○	◆原文に対

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	シスチン尿症（E72.0+）	シスチン尿症（E72.0+）	<u>Cystine storage disease (E72.0+)</u>		<u>disease はシスチン症</u> <u>の総称であるため</u>	×	する修正意 見のため、 未対応
235	N32.8 その他の明示された膀胱障害 膀胱： ・石灰化 ・萎縮 ・過活動	N32.8 その他の明示された膀胱障害 膀胱： ・石灰化 ・萎縮 ・過活動	N32.8 Other specified disorders of bladder Bladder: ・calcified ・contracted ・ <u>overactive</u>				
236	N36.3 尿道粘膜脱 尿道脱 尿道瘤，男性 除外：尿道瘤： ・先天性（Q64.7） ・女性（N81.0）	N36.3 尿道粘膜脱 尿道脱 尿道瘤，男性 除外：尿道瘤： ・先天性（Q64.7） ・女性（N81.0）	N36.3 Prolapsed urethral mucosa Prolapse of urethra Urethrocele, male <i>Excludes:</i> urethrocele, female (N81.0) ・ <u>congenital (Q64.7)</u> ・ <u>female (N81.0)</u>				
237	N40 前立腺肥大（症） 腺線維性肥大 腫大（良性） 肥大（良性） 中葉肥大（前立腺） 前立腺性閉塞 NOS 除外：前立腺の良性新生物（D 29.1）	N40 前立腺肥大（症） 腺線維腫様肥大 腫大（良性） 肥大（良性） 中柵（前立腺） 前立腺性閉塞 NOS 除外：前立腺の良性新生物（D 29.1）	N40 Hyperplasia of prostate Adenofibromatous hypertrophy } Adenoma (benign) } Enlargement (benign) } Fibroadenoma } of prostate Fibroma } Hypertrophy (benign) } Myoma } Median bar (prostate) Prostatic obstruction NOS <i>Excludes:</i> benign neoplasms, except adenoma, fibroma and myoma of prostate (D29.1)	Adenofibromatous <u>hypertrophy→腺線維性</u> <u>肥大</u> <u>Enlargement (benign)</u> <u>→腫大（良性）</u> <u>Median bar→中葉肥大</u>		○	
238	N42.3 前立腺の異形成 低度異形成 除外：前立腺の高度異形成（D07.5）	N42.3 前立腺の異形成 低度異形成 除外：前立腺の高度異形成（D07.5）	N42.3 Dysplasia of prostate <u>Low grade dysplasia</u> <i>Excludes:</i> <u>high grade dysplasia of prostate (D07.5)</u>				
239	N81.0 女性尿道瘤 除外：先天性（Q64.7） 下記を伴う尿道瘤： ・膀胱瘤（N81.1） ・子宮脱（N81.2－N81.4）	N81.0 女性尿道瘤 除外：先天性（Q64.7） 下記を伴う尿道瘤： ・膀胱瘤（N81.1） ・子宮脱（N81.2－N81.4）	N81.0 Female urethrocele <i>Excludes:</i> <u>congenital (Q64.7)</u> urethrocele with: ・cystocele (N81.1) ・prolapse of uterus (N81.2－N81.4)				
240	N85 子宮のその他の非炎症性障害，子宮頸（部）を除く 除外：子宮の炎症性疾患（N71.-） 子宮体（部）ポリープ（N84.0） 子宮内膜症（N80.-）	N85 子宮のその他の非炎症性障害，子宮頸（部）を除く 除外：子宮の炎症性疾患（N71.-） 子宮体（部）ポリープ（N84.0） 子宮内膜症（N80.-）	N85 Other noninflammatory disorders of uterus, except cervix <i>Excludes:</i> endometriosis (N80.—) inflammatory diseases of uterus (N71.—) noninflammatory disorders of cervix <u>except</u> <u>malposition</u> (N86 - N88)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	子宮頸（部）の非炎症性障害，位置異常を除く（N86－N88） 子宮脱（N81.-）	子宮頸（部）の非炎症性障害，位置異常を除く（N86－N88） 子宮脱（N81.-）	polyp of corpus uteri (N84.0) uterine prolapse (N81.—)				
241	第X V章 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉 本章に含まれているコードは、妊娠，分娩または産じょく〈褥〉（母体又は産科的な原因）に関連する又はそれによって悪化する病態に使用する。 除外：他に分類される妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併する疾患又は損傷： 外因（死因）（V, W, X, Y） 損傷，中毒及びその他の外因の影響（S 00－T88.1, T88.6－T 98） 産じょく〈褥〉に関連する精神及び行動の障害（F 53.-） 産科破傷風（A 34） 下垂体の分娩後え<壊>死（E 23.0） 産じょく<褥>期骨軟化症（M83.0） 管理： ・ハイリスク妊娠（Z 35.-） ・正常妊娠（Z 34.-）	第X V章 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉 本章に含まれているコードは、妊娠，分娩または産じょく〈褥〉（母体又は産科的な原因）に関連する又はそれによって悪化する病態に使用する。 除外：他に分類される妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併する疾患又は損傷： 外因（死因）（V, W, X, Y） 産科的破傷風（A 34） 下垂体の分娩後え<壊>死（E 23.0） 産じょく〈褥〉に関連する精神及び行動の障害（F 53.-） 産じょく<褥>性骨軟化症（M83.0） 損傷，中毒及びその他の外因の影響（S 00－T88.1, T88.6－T 98） 管理： ・正常妊娠（Z 34.-） ・ハイリスク妊娠（Z 35.-）	Chapter XV Pregnancy, childbirth and the puerperium (O00-O99) <u>The codes included in this chapter are to be used for conditions related to or aggravated by the pregnancy, childbirth or by the puerperium (maternal causes or obstetric causes)</u> <u>Excludes:</u> <u>Certain diseases or injuries complicating pregnancy, childbirth and the puerperium classified elsewhere:</u> - <u>external causes (for mortality) (V, W, X, Y)</u> - human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20－B24) - injury, poisoning and certain other consequences of external cause (S00-T88.1, T88.6-T98) - mental and behavioural disorders associated with the puerperium (F53.-) - <u>obstetrical tetanus (A34)</u> - postpartum necrosis of pituitary gland (E23.0) - <u>puerperal osteomalacia (M83.0)</u> Supervision of - high-risk pregnancy (Z35.-) - normal pregnancy (Z34.-)	産科破傷風（A 34） 産じょく<褥>期骨軟化症（M83.0） 日本語訳の項目と英文で書かれた場合と順番をあわせる	obstetrical shock の日本語訳は産科ショックであり産科的ショックではない。産科的破傷風では産科に特化した破傷風のように言い回しとして違和感がある。産褥が原因となって発症するのではなく、この時期にみられるために付けられた病名なので	○	◆ obstetrical tetanus, puerperal osteomalacia とともに「辞典」になし。
242	O08.0 流産，子宮外妊娠及び胞状奇胎妊娠に続発する生殖器および骨盤内感染症 子宮内膜炎 卵巣炎 子宮傍（結合）組織炎 骨盤腹膜炎 卵管炎 卵管—卵巣炎 敗血症 O00－O07 に分類される病態に続発するもの 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。 O08.3 流産，子宮外妊娠及び胞状奇胎妊娠に続発するショック 循環虚脱 ショック（術後） O00—O07 に分類される病態に続発するもの 除外：敗血症性ショック（R57.2）	O08.0 流産，子宮外妊娠及び胞状奇胎妊娠に続発する生殖器および骨盤内感染症 子宮内膜炎 子宮傍（結合）組織炎 骨盤腹膜炎 卵管炎 卵巣炎 卵管—卵巣炎 敗血症 O00－O07 に分類される病態に続発するもの 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。 O08.3 流産，子宮外妊娠及び胞状奇胎妊娠に続発するショック 循環虚脱 ショック（術後） O00—O07 に分類される病態に続発するもの 除外：敗血症性ショック（R57.2）	O08.0 Genital tract and pelvic infection following abortion and ectopic and molar pregnancy Endometritis } Oophoritis } Parametritis } Pelvic peritonitis } Salpingitis } following conditions classifiable to O00－O07 Salpingo-oophoritis } Sepsis } Septic shock } Septicaemia } <u>Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock</u> O08.3 Shock following abortion and ectopic and molar pregnancy Circulatory collapse } following conditions classifiable to O00－O07 Shock (postoperative) }	子宮外妊娠→異所性妊娠 日本語訳の項目と英文で書かれた場合と順番をあわせる	日本産科婦人科学会では子宮外妊娠の用語は使わず、異所性妊娠を用いることになったため 日本産婦人科学会用語集解説集改訂代版	○	◆「辞典」では、ectopic pregnancy は子宮外妊娠

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
			<i>Excludes:</i> septic shock (O08.0 <u>R57.2</u>)				
243	O10 妊娠、分娩および産じょく〈褥〉に合併する既存の高血圧（症） 包含：既存のたんぱく〈蛋白〉尿を伴う下記の病態 除外：加重した子かん〈癇〉前症を伴うもの（O11）	O10 妊娠、分娩および産じょく〈褥〉に合併する既存の高血圧（症） 包含：既存のたんぱく〈蛋白〉尿を伴う下記の病態 除外：層積した子かん〈癇〉前症を伴うもの（O11）	O10 Pre-existing hypertension complicating pregnancy, childbirth and the puerperium <i>Includes:</i> the listed conditions with pre-existing proteinuria <i>Excludes:</i> that with increased or superimposed proteinuria <u>pre-eclampsia</u> (O11)	層積した子かん〈癇〉前症層積→加重型妊娠高血圧腎症	superimposed pre-eclampsia は加重型妊娠高血圧腎症として使用されている（日産婦用語集 362 頁）	○	◆「辞典」には、superimposed preexlampsia はないが、preexlampsia 単独では子癇前症とされており、O14 との整合性を考慮し、子癇前症は維持しています。
244	O11 慢性高血圧（症）に加重した子かん〈癇〉前症 O10.- の病態に子かん〈癇〉前症を合併したもの 以下に加重した子かん〈癇〉前症： -高血圧（症）NOS -高血圧（症）の既往	O11 慢性高血圧（症）に層積した子かん〈癇〉前症 O10.- の病態に子かん〈癇〉前症を合併したもの 以下に層積した子かん〈癇〉前症： -高血圧（症）NOS -高血圧（症）の既往	O11 Pre-existing hypertensive disorder with superimposed proteinuria eclampsia <u>superimposed on chronic hypertension</u> Conditions in O10.- complicated by increased proteinuria <u>pre-eclampsia</u> Pre-eclampsia superimposed on: <u>. hypertension NOS</u> <u>. pre-existing hypertension</u>	慢性高血圧（症）に加重した妊娠高血圧腎症 層積した子かん〈癇〉前症→加重した妊娠高血圧腎症	同上の理由	○	
245	O13 妊娠高血圧（症） 妊娠 包含： 妊娠 妊娠誘発性 妊娠中の一過性高血圧（症） 高血圧（症）NOS	O13 妊娠高血圧（症） 妊娠 包含： 妊娠 妊娠誘発性 妊娠中の一過性高血圧（症） 高血圧（症）NOS	O13 Gestational [pregnancy-induced] hypertension without significant proteinuria <i>Includes:</i> <u>Transient hypertension of pregnancy</u> <u>Gestational Pregnancy- induced</u> } hypertension NOS <u>Mild pre-eclampsia</u>				
246	O14 子かん〈癇〉前症 除外：加重した子かん〈癇〉前症（O11） O14.0 軽症から中等症の子かん〈癇〉前症	O14 子かん〈癇〉前症 除外：層積した子かん〈癇〉前症（O11） O14.0 軽症から中等症の子かん〈癇〉前症	O14 Gestational [pregnancy-induced] hypertension with significant proteinuria Pre-eclampsia <i>Excludes:</i> superimposed pre-eclampsia (O11) O14.0 Moderate <u>Mild to moderate</u> pre-eclampsia	子癇前症→妊娠高血圧腎症 層積した子癇前症→加重型妊娠高血圧腎症	同上の理由	○	◆「辞典」では、preexlampsia は子癇前症
247	O14.1 重症子かん〈癇〉前症	O14.1 重症子かん〈癇〉前症	O14.1 Severe pre-eclampsia	子癇前症→妊娠高血圧	同上	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	O14.2 HELLP 症候群 溶血，肝酵素上昇及び低血小板数の組合せ O14.9 子かん〈癩〉前症，詳細不明	O14.2 HELLP 症候群 溶血，肝酵素上昇及び低血小板数の組合せ O14.9 子かん〈癩〉前症，詳細不明	<u>O14.2 HELLP syndrome</u> <u>Combination of hemolysis, elevated liver enzymes and low platelet count</u> O14.9 Pre-eclampsia, unspecified	腎症			
248	主として妊娠に関連するその他の母体障害（O20－O29） O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核	主として妊娠に関連するその他の母体障害（O20－O29） O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核	Other maternal disorders predominantly related to pregnancy (O20–O29) O22 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in pregnancy				
249	O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核 除外：産科的肺塞栓症（O88.-）	O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核 除外：産科的肺塞栓症（O88.-）	O22 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in pregnancy <i>Excludes:</i> obstetric pulmonary embolism (O88.-)				
250	O23 妊娠中の腎尿路性器感染症 除外：淋菌感染症（O98.2） 性的伝播様式をとる感染症 NOS（O98.3） 梅毒（O98.1） 腎尿路生殖器系の結核（O98.0） 性病 NOS（O98.3） 妊娠，分娩，産じょく〈褥〉に合併するもの	O23 妊娠中の腎尿路性器感染症 除外：淋菌感染症（O98.2） 性的伝播様式をとる感染症 NOS（O98.3） 梅毒（O98.1） 腎尿路生殖器系の梅毒（O98.0） 性器疾患 NOS（O98.3） 妊娠，分娩，産じょく〈褥〉に合併するもの	O23 Infections of genitourinary tract in pregnancy <i>Excludes</i> <u>gonococcal infections (O98.2)</u> <u>infections with a predominantly sexual mode of transmission NOS (O98.3)</u> <u>syphilis (O98.1)</u> <u>tuberculosis of genitourinary system (O98.0)</u> <u>venereal disease NOS (O98.3)</u> } <u>complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</u>	腎尿路生殖器系の結核（O98.0） 性病 NOS（O98.3）	tuberulosis は梅毒ではなく結核 venereal disease は性病、いずれも誤訳	○	
251	O24 妊娠中の糖尿病 包含：分娩および産じょく〈褥〉におけるもの O24.0 既存の1型糖尿病 O24.1 既存の2型糖尿病	O24 妊娠中の糖尿病 包含：分娩および産じょく〈褥〉におけるもの O24.0 既存の1型糖尿病 O24.1 既存の2型糖尿病	O24 Diabetes mellitus in pregnancy <i>Includes:</i> in childbirth and the puerperium O24.0 Pre-existing <u>type 1</u> diabetes mellitus, insulin-dependent O24.1 Pre-existing <u>type 2</u> diabetes mellitus, non-insulin-dependent				
252	O26.6 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉における肝障害 妊娠における胆汁うっ滞（肝内） 産科胆汁うっ滞 除外：分娩に続発する肝腎症候群（O90.4）	O26.6 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉における肝障害 妊娠における胆汁うっ滞（肝内） 産科的胆汁うっ滞 除外：分娩に続発する肝腎症候群（O90.4）	O26.6 Liver disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium <u>Cholestasis (intrahepatic) in pregnancy</u> <u>Obstetric cholestasis</u> <i>Excludes:</i> hepatorenal syndrome following labour and delivery (O90.4)	産科胆汁うっ滞	「的」は不要		
253	O43 胎盤障害 除外：胎盤機能不全による胎児発育不良のための母体ケア（O36.5） 前置胎盤（O44.-） （常位）胎盤早期剥離（O45.-） O43.2 病的な癒着胎盤 胎盤： 癒着 嵌入 穿通 下記の分類が必要な場合は，追加コードを使用	O43 胎盤障害 除外：胎盤機能不全による胎児発育不良のための母体ケア（O36.5） 前置胎盤（O44.-） （常位）胎盤早期剥離（O45.-） O43.2 病的な癒着胎盤 胎盤： 癒着 嵌入 穿孔 下記の分類が必要な場合は，追加コードを使用	O43 Placental disorders Excludes: maternal care for poor fetal growth due to placental insufficiency (O36.5) placenta praevia (O44.-) premature separation of placenta [abruptio placenta](O45.-) <u>O43.2 Morbidly adherent placenta</u> <u>Placenta:</u> ● <u>accreta</u> ● <u>increta</u> ● <u>percreta</u> <u>Use additional code, if desired, to identify any:</u> ● <u>postpartum haemorrhage, third stage O72.0</u> ● <u>retained placenta without hemorrhage</u>	穿孔ではなく穿通	Placenta percreta の日本語訳は穿通胎盤	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	する。 分娩後出血，第 3 期 O72.0 出血を伴わない胎盤残留 O73.0	する。 分娩後出血，第 3 期 O72.0 遺残胎盤，出血を伴わない O73.0	<u>O73.0</u>	出血を伴わな胎盤残留	Retained placenta の 英語訳は胎盤残留、ま た英文では without の 前にコンマがないので 日産婦用語集		
254	O60 切迫早産及び早産 妊娠満 37 週未満の（自然）分娩開始	O60 切迫早産及び早産 妊娠満 37 週未満の（自然）分娩開始	O60 Preterm delivery labour and delivery Onset (spontaneous) of delivery labour before 37 completed weeks of gestation				
255	O60.0 切迫早産 （児の娩出を伴わない）切迫早産： ・誘発 ・自然	O60.0 切迫早産 （児の娩出を伴わない）切迫早産： ・誘発 ・自然	<u>O60.0 Preterm labour without delivery</u> <u>Preterm labour:</u> ・ <u>induced</u> ・ <u>spontaneous</u>				
256	O60.1 早産 早産 NOS 自然陣痛が発来し帝王切開となった早産	O60.1 早産 切迫早産後の早産 NOS 自然分娩による切迫早産後の帝王切開による早 産	<u>O60.1 Preterm spontaneous labour with preterm delivery</u> <u>Preterm labour with delivery NOS</u> <u>Preterm spontaneous labour with preterm delivery</u> <u>by caesarean section</u>	preterm labour with delivery は早産 preterm spontaneous… は「自 然陣痛が発来し帝王切 開となった早産」	転帰をしめしているの で 「自然分娩による切迫 早産後の帝王切開によ る早産」では意味が分 かりにくい	○	
257	O60.2 切迫早産後の正常産 切迫早産後の帝王切開による正常産	O60.2 切迫早産後の満期産 切迫早産後の帝王切開による満期産	<u>O60.2 Preterm labour with term delivery</u> <u>Preterm spontaneous labour with term delivery by</u> <u>caesarean section</u>	満期産→正常産	用語が変更された 日産婦用語集改訂第 3 版 240 頁	○	◆「辞典」 には term delivery は なし。
258	O60.3 陣痛発来前の早産 下記による早産： ・陣痛発来前の帝王切開 ・誘発	O60.3 人工早産 下記による早産： ・帝王切開，自然分娩を伴わないもの ・誘発	<u>O60.3 Preterm delivery without spontaneous labour</u> <u>Preterm delivery by:</u> ・ <u>caesarean section, without spontaneous labour</u> ・ <u>induction</u>	「人工早産」→「陣痛 発来前の早産」 「帝王切開，自然分娩 を伴わないもの」→ 「陣痛発来前の帝王石 切開」	概念として自然の陣痛 発来があったか否かを 問題にしている	○	
259	O62 娩出力の異常 O62.0 原発性微弱陣痛 子宮頸管開大不全 原発性子宮収縮不全	O62 娩出力の異常 O62.0 原発性陣痛微弱 子宮頸管拡張不全 原発性低緊張性子宮機能不全	O62 Abnormalities of forces of labour O62.0 Primary inadequate contractions Failure of cervical dilatation Primary hypotonic uterine dysfunction <u>Uterine inertia during latent phase of labour</u>	陣痛微弱→微弱陣痛 拡張不全→開大不全 低緊張性子宮機能不全	用語集では微弱陣痛 一般的に開大不全 分娩の活動期の停止を	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	分娩潜伏期の微弱陣痛 O62.1 続発性微弱陣痛 分娩停止 続発性子宮収縮不全	分娩潜伏期の陣痛微弱 O62.1 続発性陣痛微弱 分娩の活動期の停止 続発性低緊張性子宮機能不全	O62.1 Secondary uterine inertia Arrested active phase of labour Secondary hypotonic uterine dysfunction	→子宮収縮不全 分娩の活動期の停止→ 分娩停止	分娩停止と表現している 「活動期の」は不要		
260	O69.2 その他の臍帯巻絡を合併する分娩，臍帯圧迫を伴うもの 臍帯の圧迫 NOS 臍帯結節 一羊膜双胎における相互臍帯巻絡 O69.8 その他の臍帯合併症を合併する分娩 圧迫を伴わない臍帯頸部巻絡	O69.2 その他の臍帯巻絡を合併する分娩，臍帯圧迫を伴うもの 臍帯の圧迫 NOS 臍帯結節 単一羊膜腔における双胎の臍帯巻絡 O69.8 その他の臍帯合併症を合併する分娩 圧迫を伴わない臍帯頸部巻絡	O69.2 Labour and delivery complicated by other cord entanglement, with compression Compression of cord NOS Entanglement of cords of twins in monoamniotic sac Knot in cord O69.8 Labour and delivery complicated by other cord complications <u>Cord around neck without compression</u>	Other の属さない内容 がどこにもない。 一羊膜双胎における相 互臍帯巻絡	一般的ないいかたです	○ × ○	◆ Other の 対 として は、O69.0, O69.1 が当 たると思わ れます。
261	O70 分娩における会陰裂傷〈laceration〉 除外：産科的高位膣（壁）裂傷〈laceration〉 （O71.4） 膣溝裂傷〈laceration〉（O71.4） O70.0 分娩における第1度会陰裂傷〈laceration〉 会陰裂傷〈laceration〉，破裂または裂傷〈断裂〉 〈tear〉（下記を含む）： -陰唇小帯 -陰唇 -尿道周囲組織 -皮膚 -軽度 -膣，下部 -外陰 分娩におけるもの 除外：尿道を含む尿道周囲裂傷〈laceration〉 （O71.5） うち下記を伴うもの： -膣上部（中央）（膣壁上部1/3）（O71.4） -膣溝（O71.4）	O70 分娩における会陰裂傷〈laceration〉 除外：産科的高位膣（壁）裂傷〈laceration〉 （O71.4） 膣溝裂傷〈laceration〉（O71.4） O70.0 分娩における第1度会陰裂傷〈laceration〉 会陰裂傷〈laceration〉，破裂または裂傷〈断裂〉 〈tear〉（下記を含む）： -陰唇小帯 -陰唇 -尿道周囲組織 -皮膚 -軽度 -膣，下部 -外陰 分娩におけるもの 除外：尿道周囲裂傷〈laceration〉，尿道を含む （O71.5） うち下記を伴うもの： -膣上部（中央）（膣壁上部1/3）（O71.4） -膣溝（O71.4）	O70 Perineal laceration during delivery <i>Excludes:</i> obstetric high vaginal laceration alone (O71.4) <u>vaginal sulcus laceration (O71.4)</u> O70.0 First degree perineal laceration during delivery Perineal laceration, rupture or tear (involving): -fourchette -labia <u>- periurethral tissue</u> -skin -slight -vagina, <u>low</u> -vulva during delivery <u><i>Excludes:</i> periurethral laceration involving urethra (O71.5)</u> <u>that with laceration of</u> <u>- high vaginal wall (middle)(upper third of</u> <u>vaginal wall) (O71.4)</u> <u>- vaginal sulcus (O71.4)</u>	膣ではなく膣 尿道を含む尿道周囲裂 傷〈laceration〉	英文にはコンマがない	○	
262	O71.4 産科的高位膣（壁）裂傷〈laceration〉 下記の裂傷〈laceriation〉：-膣壁の中央あるい は上部 1/3 -膣溝 除外： 膣下部のもの（O70.-）	O71.4 産科的高位膣（壁）裂傷〈laceration〉 下記の裂傷〈laceriation〉：-膣壁の中央あるい は上部 1/3 -膣溝 除外： 膣下部のもの（O70.-）	O71.4 Obstetric high vaginal laceration alone Laceration of vaginal wall without mention of perineal <u>laceration</u> <u>- middle or upper third of vaginal wall</u> <u>- vaginal sulcus</u> <i>Excludes:</i> with perineal laceration (O70.-) <u>that of the lower vagina (O70.-)</u>				
263	O71.5 骨盤臓器のその他の産科的損傷	O71.5 骨盤臓器のその他の産科的損傷	O71.5 Other obstetric injury to pelvic organs <i>Excludes:</i> (minor) laceration involving periurethral				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：尿道周囲組織のみを含む軽度裂傷〈laceration〉（O70.0）	除外：尿道周囲組織のみを含む軽度裂傷〈laceration〉（O70.0）	<u>tissue only</u> <u>(O70.0)</u>				
264	O72 分娩後出血 包含：胎児又は新生児分娩後の出血 O72.0 第3期出血 胎盤残留，かんく嵌> 頓胎盤または癒着胎盤に伴う出血 胎盤残留 NOS 病的に癒着した胎盤の分類が必要な場合は，追加コードを使用する（O43.2）。	O72 分娩後出血 包含：胎児又は新生児分娩後の出血 O72.0 第3期出血 遺残胎盤，かんく嵌> 頓胎盤または癒着胎盤に関連する出血 遺残胎盤 NOS 病的癒着胎盤の分類が必要な場合は，追加コードを使用する（O43.2）。	O72 Postpartum haemorrhage <i>Includes:</i> haemorrhage after delivery of fetus or infant O72.0 Third-stage haemorrhage Haemorrhage associated with retained, trapped or adherent placenta Retained placenta NOS <u>Use additional code, if desired, to identify any morbidly adherent placenta (O43.2)</u>	関連する→伴う 病的に癒着した胎盤	morbidly と副詞を用いた意図を組むようになる	○	
265	O73 胎盤残留及び卵膜残留，出血を伴わないもの O73.0 出血を伴わない胎盤残留 病的に癒着した胎盤の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。（O43.2）	O73 遺残胎盤及び遺残卵膜，出血を伴わないもの O73.0 遺残胎盤，出血を伴わないもの 病的癒着胎盤の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。（O43.2）	O73 Retained placenta and membranes, without haemorrhage O73.0 Retained placenta without haemorrhage Placenta accreta without haemorrhage <u>Use additional code, if desired, to identify any morbidly adherent placenta (O43.2)</u>	出血を伴わない胎盤残留および卵膜残留 病的に癒着した胎盤	英文にはコンマがない。また、遺残○○ではなく、○○残留と言う 日産婦用語集より	○	
266	分娩（O80—O84） 注：本項目の使用の際には，2 巻（総論）にある死因及び疾病のコーディングルール及びガイドラインを参照する。	分娩（O80—O84） 注：本項目の使用の際には，死因及び疾病のコーディングルール及びガイドラインを参照する。	Delivery (O80-O84) Note: Codes O80-O84 are provided for morbidity coding purposes. Codes from this block should be used for primary morbidity coding only if no other condition classifiable to Chapter XV is recorded. For use of these categories reference should be made to the <u>mortality and morbidity coding rules and guidelines in Volume 2.</u>	2 章にある死因	In Volume 2 が抜けている	○	
267	主として産じょく〈褥〉に関連する合併症(O85—O92) O87 産じょく〈褥〉における静脈合併症及び痔核	主として産じょく〈褥〉に関連する合併症(O85—O92) O87 産じょく〈褥〉における静脈合併症及び痔核	Complications predominantly related to the puerperium (O85—O92) O87 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in the puerperium				
268	O87 産じょく〈褥〉における静脈合併症及び痔核 包含：陣痛，分娩及び産じょく〈褥〉におけるもの	O87 産じょく〈褥〉における静脈合併症及び痔核 包含：分娩および産じょく〈褥〉におけるもの	O87 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in the puerperium <i>Includes:</i> in labour, delivery and the puerperium	陣痛、分娩及び産じょく〈褥〉	陣痛が日本語訳から抜けている	○	
269	O88.1 羊水塞栓症 妊娠のアナフィラキシー様症候群	O88.1 羊水塞栓症 妊娠のアナフィラキシー様症候群	O88.1 Amniotic fluid embolism <u>Anaphylactoid syndrome of pregnancy</u>				
270	O94 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉の合併症の続発・後遺症 注：本項は，疾病分類〈コーディング〉のみに使用するものである。すなわち，本項はその病態自身は他に分類されるものであるが，この続発・後遺症の原因が O00—O75 および O85—O92 の病態であることを示すために使用する	O94 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉の合併症の続発・後遺症 注：本項は，疾病分類〈コーディング〉のみに使用するものである。すなわち，本項はその病態自身は他に分類されるものであるが，この続発・後遺症の原因が O00—O75 および O85—O92 の病態であることを示すために使用する	O94 Sequelae of complication of pregnancy, childbirth and the puerperium <i>Note</i> :This category is to be used for morbidity coding only to indicate previous episodes of conditions in categories O00-O75 and O85-O92 as the cause of sequelae ... <u>Not to be used for chronic complications of pregnancy, childbirth and the puerperium. Code these to O00-O75 and O85-O92 .</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	（ものである）。続発・後遺症とは続発性または後遺症と記載され病態または原因病態が発生後 1 年以上存在している病態を含む。 妊娠，分娩及び産じょく<褥>の慢性の合併症 に対しては使用しない。これを O00—O75 及び O85—O92 にコードする。	（ものである）。続発・後遺症とは続発性または後遺症と記載され病態または原因病態が発生後 1 年以上存在している病態を含む。 妊娠，分娩及び産じょく<褥>の慢性の合併症 に対しては使用しない。これを O00—O75 及び O85—O92 にコードする。					
271	O96 分娩満 42 日以後 1 年未満に発生したあらゆる産科的原因による母体死亡 産科的死亡原因（直接もしくは間接）の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 O96.0 直接産科的原因による死亡 O96.1 間接産科的原因による死亡 O96.9 詳細不明の産科的原因による死亡 O97 産科的原因の続発・後遺症による死亡 分娩後 1 年以上経過後発生したあらゆる産科的原因による母体死亡。産科的原因（直接もしくは間接）の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 O97.0 直接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.1 間接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.9 産科的原因の続発・後遺症による死亡，詳細不明	O96 分娩満 42 日以後 1 年未満に発生したあらゆる産科的原因による母体死亡 産科的死亡原因（直接もしくは間接）の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 O96.0 直接産科的原因による死亡 O96.1 間接産科的原因による死亡 O96.9 詳細不明の産科的原因による死亡 O97 産科的原因の続発・後遺症による死亡 分娩後 1 年以上経過後発生したあらゆる産科的原因による母体死亡。産科的原因（直接もしくは間接）の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 O97.0 直接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.1 間接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.9 産科的原因の続発・後遺症による死亡，詳細不明	O96 Death from any obstetric cause occurring more than 42 days but less than one year after delivery Use additional code, if desired, to identify the obstetric cause <u>(direct or indirect)</u> of death. <u>O96.0 Death from direct obstetric cause</u> <u>O96.1 Death from indirect obstetric causes</u> <u>O96.9 Death from unspecified obstetric cause</u> O97 Death from sequelae of direct obstetric causes Death from any direct obstetric cause <u>(direct or indirect)</u> occurring one year or more after delivery. <u>Use additional code, if desired to identify the obstetric cause (direct or indirect).</u> <u>O97.0 Death from sequelae of direct obstetric cause</u> <u>O97.1 Death from sequelae of indirect obstetric cause</u> <u>O97.9 Death from sequelae of obstetric cause, unspecified</u>				
272	O98 他に分類されるが妊娠，分娩および産じょく<褥>に合併する母体の感染症および寄生虫症 包含：妊娠に合併した場合，妊娠により増悪した場合または産科的ケアによる理由の場合の下記の病態 特定の病態の分類が必要な場合は，追加コード（第 I 章）を使用する。 除外：産科的破傷風（A 34） 母体ケアの理由が，胎児に影響したと明示されている疾患の場合またはその疑いがある疾患の場合（O35—O36） 産じょく<褥>性： ・敗血症（O85） ・感染症（O86.-） ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕の検査陽性（R 75） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕感染状態（Z 21）	O98 他に分類されるが妊娠，分娩および産じょく<褥>に合併する母体の感染症および寄生虫症 包含：妊娠に合併した場合，妊娠により増悪した場合または産科的ケアによる理由の場合の下記の病態 特定の病態の分類が必要な場合は，追加コード（第 I 章）を使用する。 除外：産科的破傷風（A 34） 母体ケアの理由が，胎児に影響したと明示されている疾患の場合またはその疑いがある疾患の場合（O35—O36） 産じょく<褥>性： ・敗血症（O85） ・感染症（O86.-） ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕の検査陽性（R 75） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕感染状態（Z 21）	O98 Maternal infectious and parasitic diseases classifiable elsewhere but complicating pregnancy, childbirth and the puerperium <i>Includes:</i> the listed conditions when complicating the pregnant state, when aggravated by the pregnancy, or as a reason for obstetric care. Use additional code (Chapter 1), if desired, to identify specific condition. <i>Excludes</i> :asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV] (R75) obstetrical tetanus (A34) puerperal: ● infection (O86.-) ● sepsis (O85)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
			when the reason for maternal care is that the disease is known or suspected to have affected the fetus (O35-O36)				
273	O98.7 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全〔HIV〕病 B20－B24 の病態 2013	O98.7 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全〔HIV〕病 B20－B24 の病態 2013	<u>O98.7 Human immunodeficiency [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</u> <u>Conditions in B20-B24</u>				
	O98.7 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病 B20－B24 の病態	O98.7 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病 B20－B24 の病態	O98.7 Human immunodeficiency <u>virus</u> [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium				
274	O99.6 妊娠，分娩および産じょく<褥>に合併する消化器系の疾患 K00－K93の病態 除外：妊娠における痔核（O22.4） 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉における肝障害（O26.6）	O99.6 妊娠，分娩および産じょく<褥>に合併する消化器系の疾患 K00－K93の病態 除外：妊娠における痔核（O22.4） 妊娠，分娩および産じょく〈褥〉における肝障害（O26.6）	O99.6 Diseases of the digestive system complicating pregnancy, childbirth and the puerperium Conditions in K00-K93 <i>Excludes:</i> <u>haemorrhoids in pregnancy (O22.4)</u> liver disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium (O26.6)	妊娠，分娩および産じょく<褥>を複雑にする消化器系の疾患	原文で complicating と表現している真意が何かです。「に合併する」なら complicated with を使うのではないか？「合併する」とするとどんな些細なことでも記載しなければならぬが、「複雑にする」なら記載は主治医の判断になる。WHO の真意はどちらなのか？	○	事務局の誤訳 ◆ O08 、O99 は、合併症に関する内容と考えられるため、仮訳のままとさせていただきました。
275	O99.8 妊娠，分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の明示された疾患及び病態 C00－D48, H00－H95, M00－M99, N00－N99 およびQ00－Q99 の病態，他に分類されないもの O99.0－O99.7 に分類される病態の組合せ 除外：妊娠中の尿路性器感染症（O23.-） 既知の母体骨盤内臓器の異常又はその疑いのための母体ケア（O34.-） 分娩に続発する尿路性器の感染症（O86.0－O86.3） 分娩後急性腎不全（O90.4） 分娩後腎炎（O90.8）	O99.8 妊娠，分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の明示された疾患及び病態 C00－D48, H00－H95, M00－M99, N00－N99 およびQ00－Q99 の病態，他に分類されないもの O99.0－O99.7 に分類される病態の組合せ 除外：妊娠中の尿路性器感染症（O23.-） 既知の母体骨盤内臓器の異常又はその疑いのための母体ケア（O34.-） 分娩に続発する尿路性器の感染症（O86.0－O86.3） 分娩後急性腎不全（O90.4） 分娩後腎炎（O90.8）	O99.8 Other specified diseases and conditions complicating pregnancy, childbirth and the puerperium Combination of conditions classifiable to O99.0-O99.7 Conditions in C00-D48, H00-H95, M00-M99, N00-N99 and Q00-Q99 <u>not elsewhere classified</u> <i>Excludes:</i> genitourinary infections in pregnancy (O23. -) infection of genitourinary tract following pregnancy (O86.0-O86.3) maternal care for known or suspected abnormality of maternal pelvic organs (O34. -) postpartum acute renal failure (O90.4) <u>postpartum nephritis (O90.8)</u>	妊娠，分娩および産じょく<褥>を複雑にするその他の明示された疾患及び病態	同上	○	
276	第XVI章	第XVI章	Chapter XVI Certain conditions originating in the perinatal period				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	周産期に発生した病態 ・・・ 本章の星印（＊）項目は下記のとおりである： P75* のう〈嚢〉胞性線維症〈システィックファイブ ローシス〉における胎便〈メコニウム〉イレウス	周産期に発生した病態 ・・・ 本章の星印（＊）項目は下記のとおりである： P75* のう〈嚢〉胞性線維症〈システィックファイブ ローシス〉における胎便〈メコニウム〉イレウ ス	(P00-P96) As asterisk category for this chapter is provided as follows: P75* Meconium ileus <u>in cystic fibrosis</u>				
277	P00.2 母体の感染症及び寄生虫症により影響を受けた 胎児及び新生児 A 00—B99, J09—J11 に分類される母体の 感染症により影響を受けた胎児または新生児 であるが，胎児又は新生児自身はその疾患を 発現していないもの 除外：母体の性器及びその他の局所感染症 （P00.8） 産期に特異的な感染症（P35—P39）	P00.2 母体の感染症及び寄生虫症により影響を受けた 胎児及び新生児 A 00—B99, J09—J11 に分類される母体の 感染症により影響を受けた胎児または新生児 であるが，胎児又は新生児自身はその疾患を 発現していないもの 除外：母体の性器及びその他の局所感染症 （P00.8） 周産期に特異的な感染症（P35— P39）	P00.2 Fetus and newborn affected by maternal infectious and parasitic diseases Fetus or newborn affected by maternal infectious disease classifiable to A00-B99 and J09-J10- J11 , but not itself manifesting that disease <i>Excludes:</i> infections specific to the perinatal period (P35-P39) maternal genital tract and other localized infections (P00.8)				
278	P04 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児 及び新生児 包含：経胎盤性移行物質の非催奇形性効果 除外：新生児黄疸， 母体から移行した薬物又は 毒素によるもの（P58.4） 先天奇形（Q 00—Q 99）	P04 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児 及び新生児 包含：経胎盤性移行物質の非催奇形性効果 除外：新生児黄疸， 母体から移行した薬物又は 毒素によるもの（P58.4） 先天奇形（Q 00—Q 99）	P04 Fetus and newborn affected by noxious influences transmitted via placenta or breast milk <i>Includes:</i> nonteratogenic effects of substances transmitted via placenta <i>Excludes:</i> congenital malformations (Q00–Q99) neonatal jaundice from other excessive haemolysis due to drugs or toxins transmitted from mother (P58.4)				
279	P08.1 妊娠期間に比較して過体重のその他の児 妊娠期間の長短にかかわらず，妊娠期間に比 較して過体重または過大のその他の胎児また は児 通常，出生体重がその妊娠期間における出生 体重の 90 パーセントイルを超えた場合又は 満期時に出生体重が 4000g 以上であることを 意味する。 除外：下記における児の症候群： -糖尿病母体から出産した児の症候群 （P70.1） -妊娠性糖尿病母体の児症候群 （P70.0） - 出生体重 4500g 以上（P08.0）	P08.1 妊娠期間に比較して過体重のその他の児 妊娠期間の長短にかかわらず，妊娠期間に比 較して過体重または高身長 of のその他の胎児ま たは児 通常，出生体重がその妊娠期間における出生 体重の 90 パーセントイルを超えた場合又は 満期時に出生体重が 4000g 以上であることを 意味する。 除外：下記における児の症候群： - 糖尿病母体（P70.1） - 妊娠性糖尿病母体の児症候群 （P70.0） - 出産体重 4500g 以上（P08.0）	P08.1 Other heavy for gestational age infants Other fetus or infant heavy- or large-for-dates regardless of period of gestation. <u>Usually implies a birth weight >90th percentile for gestational age or 4000 g or more at term</u> <u><i>Excludes:</i> syndrome of infant of</u> - <u>diabetic mother (P70.1)</u> - <u>mother with gestational diabetes (P70.0)</u> - <u>Birth weight of 4500 g or more (P08.0)</u>	過体重または過大 「妊娠性糖尿病母体の 児症候群」→「妊娠性 糖尿病母体」。 「出産体重」→「出生 体重」。	“large-for-dates”は体 重も身長も頭囲も妊娠 期間に比して大きいこ とを指すが、通常は体 重で定義され、“ heavy-for-dates”とほ ぼ同義で用いられる。 Gestational diabetes は妊娠糖尿病とする。 定義の変更により （日産婦用語集第3版 364頁） 単なる文法間違い 単なる訳違い。	○	
280	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 除外：呼吸器系の先天奇形（Q30–Q34） P28.2 新生児のチアノーゼ発作	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 除外：呼吸器系の先天奇形（Q30–Q34） P28.2 新生児のチアノーゼ発作	P28 Other respiratory conditions originating in the perinatal period <i>Excludes:</i> congenital malformations of the				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：新生児無呼吸(P28.3－P28.4) P28.3 新生児の原発性睡眠時無呼吸 新生児睡眠時無呼吸： • 中枢性 • NOS • 閉塞性 P28.4 新生児のその他の無呼吸 無呼吸（下記の） • 新生児，閉塞性 • 未熟児 除外：新生児の閉塞性睡眠時無呼吸（P28.3）	除外：新生児無呼吸(P28.3－P28.4) P28.3 新生児の原発性睡眠時無呼吸 新生児睡眠時無呼吸： • 中枢 • NOS • 閉塞性 P28.4 新生児のその他の無呼吸 無呼吸（下記の） • 新生児，閉塞性 • 未熟児 除外：新生児の閉塞性睡眠時無呼吸（P28.3）	respiratory system (Q30–Q34) P28.2 Cyanotic attacks of newborn <i>Excludes:</i> apnoea of newborn (P28.3–P28.4) P28.3 Primary sleep apnoea of newborn Sleep apnoea of newborn NOS : • <u>central</u> • <u>NOS</u> • <u>obstructive</u> P28.4 Other apnoea of newborn <u>Apnoea (of):</u> • <u>newborn, obstructive</u> • <u>prematurity</u> <i>Excludes:</i> obstructive sleep apnoea of newborn (P28.3)	<u>「中枢」→中枢性</u>	単なる誤違い。	○	
281	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 胎児又は新生児（特発性）肝炎 巨細胞性肝炎 除外：先天性ウイルス型肝炎（P35.3）	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 胎児又は新生児（特発性）肝炎 巨細胞性肝炎 除外：先天性ウイルス型肝炎（P35.3）	P59.2 Neonatal jaundice from other and unspecified hepatocellular damage <u>Fetal or neonatal (idiopathic) hepatitis</u> <u>Giant cell hepatitis</u> <i>Excludes:</i> congenital viral hepatitis (P35.3)				
	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 胎児又は新生児（特発性）肝炎 胎児又は新生児の巨細胞性肝炎 除外：先天性ウイルス型肝炎（P35.3）	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 胎児または新生児（特発性）肝炎 胎児又は新生児の巨細胞性肝炎 除外：先天性ウイルス型肝炎（P35.3）	P59.2 Neonatal jaundice from other and unspecified hepatocellular damage <u>Fetal or neonatal</u> G <u>giant cell hepatitis</u> <u>Fetal or neonatal (idiopathic) hepatitis</u> <i>Excludes:</i> congenital viral hepatitis (P35.3)	「又は」 ウイルス型肝炎	医学用語辞典に則る 2013 年を採用	○	
282	P70.0 妊娠性糖尿病母体の児の症候群 母体の妊娠糖尿病の影響を受けた胎児又は新生児（低血糖を伴うもの） P70.1 糖尿病母体から出産した児の症候群 母体の糖尿病（既存）の影響を受けた胎児又は新生児（低血糖を伴うもの）	P70.0 妊娠性糖尿病母体の児症候群 母体の妊娠性糖尿病の影響を受けた胎児又は新生児（低血糖を伴うもの） P70.1 糖尿病母体の児症候群 母体の糖尿病（既存）の影響を受けた胎児又は新生児（低血糖を伴うもの）	P70.0 Syndrome of infant of mother with gestational diabetes <u>Fetus or newborn (with hypoglycaemia) affected by maternal gestational diabetes</u> P70.1 Syndrome of infant of a diabetic mother Maternal diabetes mellitus (pre-existing) affecting fetus or newborn (with hypoglycaemia) <u>Fetus or newborn (with hypoglycemia) affected by maternal diabetes mellitus (pre-existing)</u>	妊娠性糖尿病→妊娠糖尿病 糖尿病母体から出産した児の症候群	日産婦用語集第3版 364 頁	○	◆P70.1 に合わせて p70.0 も修正しました。
283	P75* のう〈囊〉胞線維症における胎便〈メコニウム〉イレウス（E84.1+）	P75* のう〈囊〉胞性線維症〈システィックファイブローシス〉における胎便〈メコニウム〉イレウス（E84.1+）	P75* Meconium ileus in cystic fibrosis (E84.1+)	のう〈囊〉胞線維症	カナ併記不要 医学用語辞典に則る	○	
284	P76.0 胎便栓症候群 包含：のう〈囊〉胞線維症が存在しないことがわっている症例における胎便〈メコニウム〉イレウス	P76.0 胎便栓症候群 包含：のう〈囊〉胞性線維症〈システィックファイブローシス〉が存在しないことがわっている症例における胎便〈メコニウム〉イレウス	P76.0 Meconium plug syndrome <i>Includes:</i> <u>meconium ileus in cases where cystic fibrosis is known not to be present</u>	のう〈囊〉胞線維症	カナ併記不要 医学用語辞典に則る	○	
285	P78.8 その他の明示された周産期の消化器系障害 先天性肝硬変 新生児消化性潰瘍 新生児食道逆流	P78.8 その他の明示された周産期の消化器系障害 先天性肝硬変 新生児消化性潰瘍 新生児食道逆流現象	P78.8 Other specified perinatal digestive system disorders <u>Neonatal oesophageal reflux</u>	新生児食道逆流	日本医学会医学用語辞典に準じて。	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
286	P96.1 母体の嗜癖性薬物使用による新生児離脱症状 薬物依存の母の児における薬物離脱症候群 新生児禁断症候群 除外：分娩中の母体に投与したアヘン製剤および精神安定薬〈トランキライザー〉による反応及び中毒（P04.0）	P96.1 母体の嗜癖性薬物使用による新生児離脱症状 薬物依存の母の児における薬物離脱症候群 新生児禁断症候群 除外：分娩中の母体に投与したアヘン剤および精神安定薬〈トランキライザー〉による反応及び中毒（P04.0）	P96.1 Neonatal withdrawal symptoms from maternal use of drugs or addiction Drug withdrawal syndrome in infant of dependent mother <u>Neonatal abstinence syndrome</u> <i>Excludes:</i> reactions and intoxications from maternal opiates and tranquilizers administered during labour and delivery (P04.0)	アヘン製剤	日本医学会医学用語辞典に準じて	○	
287	P96.4 妊娠中絶，胎児及び新生児に影響を与える場合 除外：妊娠中絶（母体に影響を与える場合）（O04.-）	P96.4 妊娠中絶，胎児及び新生児に影響を与える場合 除外：妊娠中絶（母体に影響を与える場合）（O04.-）	P96.4 Termination of pregnancy, <u>affecting</u> fetus and newborn <i>Excludes:</i> termination of pregnancy (<u>affecting</u> mother) (O04.-)				
288	Q18.1 前耳介洞及びのう〈囊〉胞 瘻： ・耳介，先天性 ・頸耳 耳珠（前）のろう〈瘻〉孔及び先天性のう〈囊〉胞	Q18.1 先天性耳ろう〈瘻〉孔と先天性のう〈囊〉胞 瘻： ・耳介，先天性 ・頸耳 耳珠（前）のろう〈瘻〉孔及び先天性のう〈囊〉胞	Q 18.1 Preauricular sinus and cyst Fistula (of): • auricle, congenital • cervicoaural <u>Pretragal sinus and cyst</u>	先天性耳ろう〈瘻〉孔 と先天性のう〈囊〉胞 →①前耳介洞及び囊胞 「耳珠（前）のろう〈瘻〉孔及び先天性のう〈囊〉胞」→ ①耳珠前部洞及び囊胞」。 ②耳介前小孔及び囊胞	日本医学会医学用語辞典に準じて	○ ① ②	
289	Q21.8 心（臓）中隔のその他の先天奇形 アイゼンメンゲル<Eisenmenger>欠損 ファロー五徴（症） 除外：アイゼンメンゲル<Eisenmenger>： ・複合体（I27.8） ・症候群（I27.8）	Q21.8 心（臓）中隔のその他の先天奇形 アイゼンメンゲル<Eisenmenger>欠損 ファロー五徴（症） 除外：アイゼンメンゲル<Eisenmenger>： ・複合体（I27.8） ・症候群（I27.8）	Q 21.8 Other congenital malformations of cardiac septa Eisenmenger’s syndrome <u>defect</u> <i><u>Excludes:</u></i> Eisenmenger’s: • <u>complex (I27.8)</u> • <u>syndrome (I27.8)</u>				
290	Q25.3 大動脈狭窄（症） 除外：大動脈弁の先天性狭窄（症）（Q23.0）	Q25.3 大動脈狭窄（症） 除外：大動脈弁の先天性狭窄（症）（Q23.0）	Q 25.3 Stenosis of aorta <i><u>Excludes:</u></i> congenital <u>stenosis of aortic valvestenosis</u> (Q23.0)				
291	Q25.6 肺動脈狭窄（症） 肺動脈弁上狭窄（症）	Q25.6 肺動脈狭窄（症） 弁上肺動脈狭窄（症）	Q 25.6 Stenosis of pulmonary artery <u>Supravalvular pulmonary stenosis</u>	肺動脈弁上狭窄（症）	日本医学会医学用語辞典に準じて。	○	
292	Q61.4 腎異形成<形成異常> 多のう〈囊〉胞性： ・異形成腎 ・腎（発達性） ・腎疾患 ・腎形成異常	Q61.4 腎異形成<形成異常> 多のう〈囊〉胞： ・腎異形成 ・腎臓（発育上） ・腎疾患 ・腎形成異常	Q 61.4 Renal dysplasia <u>Multicystic:</u> • <u>dysplastic kidney</u> • <u>kidney (developmental)</u> • <u>kidney disease</u> • <u>renal dysplasia</u> <i><u>Excludes:</u></i> polycystic kidney disease (Q61.1-Q61.3)	<u>Renal dysplasia の箇所</u> <u>の日本語訳はいろんな</u> <u>言い回しがあるようで</u> <u>すので、担当の先生と</u> <u>ご確認願います。</u>			◆「辞典」では、腎異形成

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	除外：多発性のう〈囊〉胞腎疾患（Q61.1－Q61.3）	除外：多発性のう〈囊〉胞腎疾患（Q61.1－Q61.3）		Multicystic ①多のう〈囊〉胞性 ②多発性のう〈囊〉胞性 dysplastic kidney: 異形成腎 ・腎（発達性） <u>多嚢胞腎</u>	先天異常用語集では polycystic kidney を多嚢胞腎、multicystic renal cyst を多発性腎嚢胞としている。 <u>単なる訳違い</u>	○ ①	◆「辞典」では、multicystic dysplastic kidney は、多のう〈囊〉胞性異形成腎。他の multicystic ～も多のう〈囊〉胞性～と訳されている。Polycystic kidney disease は、多発性嚢胞腎疾患、多発嚢胞腎疾患
293	Q77.4 軟骨無形成（症） 軟骨低形成（症） 先天性骨硬化症	Q77.4 軟骨無形成（症） 軟骨低形成（症） 先天性骨硬化症	Q 77.4 Achondroplasia Hypochondroplasia <u>Osteosclerosis congenita</u>				
294	R06 呼吸の異常 除外：呼吸停止（R09.2） 成人呼吸窮〈促〉迫（症候群）〈ARDS〉（J80） 新生児呼吸窮〈促〉迫（P 22.-） 呼吸不全（J96.-） 新生児の呼吸不全（P 28.5）	R06 呼吸の異常 除外：呼吸： ・停止（R09.2） ・窮〈促〉迫 - 成人の症候群（J80） - 新生児におけるもの（P22） ・不全（J96） - 新生児（P28.5）	R06 Abnormalities of breathing <i>Excludes:</i> respiratory • arrest (R09.2) • distress (syndrome)(of) • <u>syndrome of adult</u> (J80) • <u>in</u> newborn (P22.-) • failure (J96.-) • of newborn (P28.5)	①除外：呼吸停止（R09.2） ②成人呼吸窮〈促〉迫（症候群）〈ARDS〉（J80） ③成人呼吸窮迫症候群（J80） ④新生児呼吸窮〈促〉迫（P 22.-） ⑤新生児呼吸窮迫（P22.-）	用語が断片化するためわかりやすく。	○ ② ④	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
				⑥呼吸不全（J96.-） ⑦新生児の呼吸不全（P 28.5） ⑧新生児の(P28.5)		○ ⑦	
295	R10.1 上腹部に局限した疼痛 ディスペプシア NOS 上腹部〈心窩部〉痛 除外：機能性ディスペプシア（K30）	R10.1 上腹部に局限した疼痛 ディスペプシア NOS 上腹部〈心窩部〉痛 除外：機能性ディスペプシア（K30）	R10.1 Pain localized to upper abdomen <u>Dyspepsia NOS</u> Epigastric pain <u>Excludes: functional dyspepsia (K30)</u>				
296	R12 胸やけ 除外：ディスペプシア： ・NOS（R10.1） ・機能性（K30）	R12 胸やけ 除外：ディスペプシア： ・NOS（R10.1） ・機能性（K30）	R12 Heartburn <i>Excludes:</i> <u>dyspepsia:</u> <u>・NOS (R10.1)</u> <u>・functional (K30)</u>				
297	R19.5 その他の異常便 便色異常 大量便 粘液便 便潜血 除外：メレナ（K 92.1） ・新生児（P 54.1）	R19.5 その他の異常便 便色異常 大量便 粘液便 便潜血 除外：メレナ（K 92.1） ・新生児（P 54.1）	R19.5 Other faecal abnormalities Abnormal stool colour Bulky stools Mucus in stools <u>Occult blood in stools</u> <i>Excludes:</i> melaena (K92.1) ・neonatal (P54.1)				
298	R26 歩行及び移動の異常 除外：運動失調（症）： ・NOS（R27.0） ・遺伝性（G 11.-） ・毒性（A 52.1） 移動不能症候群（対麻痺性）（M62.3） R26.0 失調性歩行 よろめき歩行 R26.1 麻痺性歩行 けい<痙>性歩行 R26.2 歩行困難，他に分類されないもの R26.3 不動状態 寝たきり<Bedfast> <Chairfast> R26.8 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	R26 歩行及び移動の異常 除外：運動失調（症）： ・NOS（R27.0） ・毒性（A 52.1） ・遺伝性（G 11.-） 移動不能症候群（対麻痺性）（M62.3） R26.0 失調性歩行 よろめき歩行 R26.1 麻痺性歩行 けい<痙>性歩行 R26.2 歩行困難，他に分類されないもの R26.3 不動状態 寝たきり<Bedfast> <Chairfast> R26.8 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	R26 Abnormalities of gait and mobility <i>Excludes:</i> ataxia: ・NOS (R27.0) ・hereditary (G11.-) ・locomotor (syphilitic) (A52.1) immobility syndrome (paraplegic) (M62.3) R26.0 Ataxic gait Staggering gait R26.1 Paralytic gait Spastic gait R26.2 Difficulty in walking, not elsewhere classified <u>R26.3 Immobility</u> <u>Bedfast</u> <u>Chairfast</u> R26.8 Other and unspecified abnormalities of gait and mobility Unsteadiness on feet NOS	R26 歩行及び移動の異常 除外：運動失調（症）： ・NOS（R27.0） ・遺伝性（G 11.-） ・毒性（A 52.1） 移動不能症候群（対麻痺性）（M62.3）	順番を原文に合わせる （現行の訳文では順序の法則が不明）	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	足どり不安定 NOS	足どり不安定 NOS					
299	R29.6 転倒傾向，他に分類されないもの 高齡又は他に明確でない健康問題による転倒傾向 除外：不慮の事故 NOS（X59） 歩行困難（R26.2） めまい<眩暈>感及びよろめき感（R42） 損傷の原因となる転倒・転落・墜落（W00-W19） 他に分類された疾患による転倒・転落失神及び虚脱（R55）	R29.6 転倒傾向，他に分類されないもの 高齡又は他に明確でない健康問題による転倒傾向 除外：不慮の事故 NOS（X59） 歩行困難（R26.2） めまい<眩暈>感及びよろめき感（R42） 損傷の原因となる転倒・転落（W00-W19） 他に分類された疾患による転倒・転落失神及び虚脱（R55）	<u>R29.6 Tendency to fall, not elsewhere classified</u> <u>Tendency to fall because of old age or other unclear health problems</u> <u>Excludes:</u> accidents NOS (X59) <u>difficulty in walking (R26.2)</u> <u>dizziness and giddiness (R42)</u> <u>falls causing injury (W00-W19)</u> <u>falls due to diseases classified elsewhere</u> <u>syncope and collapse (R55)</u>				
300	R46.8 外観および行動に関するその他の症状および徴候 包含：セルフネグレクト NOS 除外：セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足（R63.6）	R46.8 外観および行動に関するその他の症状および徴候 包含：セルフネグレクト NOS 除外：セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足（R63.6）	R46.8 Other symptoms and signs involving appearance and behaviours <u>Includes:</u> self neglect NOS <u>Excludes:</u> insufficient intake of food and water due to self neglect (R63.6)				
301	R50 その他の原因による熱及び不明熱 除外：不明熱（下記におけるもの）： ・分娩（O75.2） ・新生児（P81.9） 産じょく<褥>熱 NOS（O86.4） R50.2 薬剤性の発熱 薬物の分類が必要分類が必要な場合は，追加外因コード（XX 章）を使用する。 R50.8 その他の明示された発熱 悪寒を伴う発熱 さむけを伴う発熱 持続熱 R50.9 発熱，詳細不明 超高熱 NOS 発熱 NOS 除外：麻酔による悪性高熱<体温>（症）（T88.3）	R50 その他の原因による熱及び不明熱 除外：不明熱（下記におけるもの）： ・分娩（O75.2） ・新生児（P81.9） 産じょく<褥>熱 NOS（O86.4） R50.2 薬剤性の発熱 薬物の分類が必要分類が必要な場合は，追加外因コード（XX 章）を使用する。 R50.8 その他の明示された発熱 悪寒<さむけ>を伴う発熱 硬直を伴う発熱 持続熱 R50.9 発熱，詳細不明 超高熱 NOS 発熱 NOS 除外：麻酔による悪性高熱<体温>（症）（T88.3）	R50 Fever of <u>other and unknown origin</u> <u>Excludes:</u> fever of unknown origin (during)(in): ・labour (O75.2) ・newborn (P81.9) puerperal pyrexia NOS (O86.4) R50.0 Fever with chills Fever with rigors R50.1 Persistent fever <u>R50.2 Drug-induced fever</u> <u>Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug.</u> <u>R50.8 Other specified fever</u> <u>Fever with chills</u> <u>Fever with rigors</u> <u>Persistent fever</u> R50.9 Fever, unspecified Hyperpyrexia NOS Pyrexia NOS <u>Excludes:</u> malignant hyperthermia due to anaesthesia (T88.3) ※第3回部会資料から修正あり	R50.8 その他の明示された発熱 悪寒を伴う発熱 さむけを伴う発熱 持続熱	Rigors には「さむけ」の意味もあるので、悪寒<さむけ>を2つにする。	○	
302	R53 倦怠（感）および疲労 無力症 NOS 虚弱：	R53 倦怠（感）および疲労 無力症 NOS 虚弱：	R53 Malaise and fatigue Asthenia NOS Debility:				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採択	備考
	・NOS ・慢性 全身性身体荒廃	・NOS ・慢性 全身性身体荒廃	・NOS ・chronic nervous General physical deterioration				
303	R57 ショック，他に分類されないもの R57.2 敗血症性ショック	R57 ショック，他に分類されないもの R57.2 敗血症性ショック	R57 Shock, not elsewhere classified <u>R57.2 Septic shock</u>				
304	R63 食物および水分摂取に関する症状及び徴候 除外：栄養失調（症）（E 40—E 46） 非器質性の摂食障害（F 50.-） 大食症 NOS（F 50.2） --- R63.5 異常体重増加 除外：肥満（症）（E 66.-） 妊娠中の過度の体重増加（O 26.0） R63.6 セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足 除外：食欲不振（R63.0） 食糧不足による飢餓（X53） 水不足による脱水（X54） セルフネグレクト NOS（R46.8） R63.8 食物及び水分摂取に関するその他の症状及び徴候	R63 食物および水分摂取に関する症状及び徴候 除外：栄養失調（症）（E 40—E 46） 非器質性の摂食障害（F 50.-） 大食症 NOS（F 50.2） --- R63.5 異常体重増加 除外：肥満（症）（E 66.-） 妊娠中の過度の体重増加（O 26.0） R63.6 セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足 除外：食欲不振（R63.0） 食糧不足による飢餓（X53） 水不足による脱水（X54） セルフネグレクト NOS（R46.8） R63.8 食物及び水分摂取に関するその他の症状及び徴候	R63 Symptoms and signs concerning food and fluid intake ... R63.5 Abnormal weight gain <i>Excludes:</i> excessive weight gain in pregnancy (O26.0) obesity (E66.-) <u>R63.6 Insufficient intake of food and water due to self neglect</u> <i>Excludes:</i> starvation due to anorexia (R63.0) starvation due to privation of food (X53) thirst due to privation of water (X54) self neglect NOS (R46.8) R63.8 Other symptoms and signs concerning food and fluid intake				
305	R64 悪液質 除外：消耗症候群を起こしたヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病（B22.2） 悪性悪液質（C80.-） 栄養性消耗症<マラスムス>（E 41）	R64 悪液質 除外：消耗症候群を起こしたヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病（B22.2） 悪性悪液質（C80.-） 栄養性消耗症<マラスムス>（E 41）	R64 Cachexia <i>Excludes:</i> HIV disease resulting in wasting syndrome (B22.2) Malignant cachexia (C80.-) Nutritional marasmus (E41)				
306	R65 全身性炎症反応症候群〔SIRS〕 注：本項目は一次コーディングにおいて使用するべきではない。本項目は複数コーディングにおいて使用するものであり、何らかの原因からこの病態が生じたことを示す際に用いる。原因もしくは基礎疾患を示す際には、まずは他章のコードを先に割り当てるべきである。 R65.0 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴わないもの R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの	R65 全身性炎症反応症候群〔SIRS〕 注：本項目は一次コーディングにおいて使用するべきではない。本項目は複数コーディングにおいて使用するものであり、何らかの原因からこの病態が生じたことを示す際に用いる。原因もしくは基礎疾患を示す際には、まずは他章のコードを先に割り当てるべきである。 R65.0 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴わないもの R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの	<u>R65 Systemic Inflammatory Response Syndrome [SIRS]</u> <i>Note. This category should never be used in primary coding. The category is for use in multiple coding to identify this condition resulting from any cause. A code from another chapter should be assigned first to indicate the cause or underlying disease.</i> <u>R65.0 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin without organ failure</u> <u>R65.1 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin with organ failure</u>	R65.2 感染症が原因でない全身性炎症	「非感染症が原因の」を「感染症が原因でない」にかえる。言い回	◆ ○	総論項目 7 3 と合わせて複数の御意見あり。

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	R65.2 非感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴わないもの R65.3 非感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの R65.9 全身性炎症反応症候群，詳細不明	R65.2 非感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴わないもの R65.3 非感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの R65.9 全身性炎症反応症候群，詳細不明	<u>R65.2 Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin without organ failure</u> <u>R65.3 Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin with organ failure</u> <u>R65.9 Systemic Inflammatory Response Syndrome, unspecified</u>	R65.3 反応症候群，臓器不全を伴わないもの 感染症が原因でない全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの	しに。 「非感染症が原因の」を「感染症が原因でない」にかえる。言い回しに。		
307	R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの 重症敗血症	R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群，臓器不全を伴うもの 重症敗血症	R65.1 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin with organ failure <u>Severe sepsis</u>				
308	R68.3 （太鼓）ばち指 （太鼓）ばち爪 除外：先天性（太鼓）ばち指（Q68.1） 先天性ばち爪（Q84.6）	R68.3 （太鼓）ばち指 （太鼓）ばち爪 除外：先天性（太鼓）ばち指（Q68.1） 先天性ばち爪（Q84.6）	R68.3 Clubbing of fingers Clubbing of nails <i>Excludes:</i> congenital clubfinger (Q68.1) <u>congenital clubnail (Q84.6)</u>				
309	R71 赤血球の異常 異常赤血球： ・形態学的 NOS ・容積 NOS 赤血球大小不同症 変型赤血球症 除外：貧血（D50—D64） 赤血球増加症＜多血症＞： ・NOS(D75.1) ・良性（家族性）（D75.0） ・新生児（P61.1） ・続発性＜二次性＞（D75.1） ・真正（D45）	R71 赤血球の異常 異常赤血球： ・形態学的 NOS ・容積 NOS 赤血球大小不同症 変型赤血球症 除外：貧血（D50—D64） 赤血球増加症＜多血症＞： ・NOS(D75.1) ・真正（D45） ・続発性＜二次性＞（D75.1） ・良性（家族性）（D75.0） ・新生児（P61.1）	R71 Abnormality of red blood cells ... <i>Excludes:</i> anaemias (D50 –D64) polycythaemia: ・ <u>NOS (D75.1)</u> ・ benign (familial) (D75.0) ・ neonatorum (P61.1) ・ secondary (D75.1) ・ vera (D45)	除外：貧血（D50—D64） 赤血球増加症＜多血症＞： ・NOS(D75.1) ・良性（家族性）（D75.0） ・新生児（P61.1） ・続発性＜二次性＞（D75.1） ・真正（D45）	順番を原文に合わせる （現行の訳文では順序の法則が不明）	○	
310	R75 ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕の検査陽性乳児における確認されないH I Vテスト所見 除外：ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病（B20—B24） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕感染状態（Z21） 妊娠，分娩及び産じょく＜褥＞に合併するヒト免疫不全ウイルス[HIV]病（O98.7）	R75 ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕の検査陽性乳児における確認されないH I Vテスト所見 除外：ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病（B20—B24） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕感染状態（Z21） 妊娠，分娩及び産じょく＜褥＞に合併するヒト免疫不全ウイルス[HIV]病（O98.7）	R75 Laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV] Nonconclusive HIV-test finding in infants <i>Excludes:</i> asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u>				
311	R83 脳脊髄液に関する異常所見 〔細分類項目については、R83 の前にある記載を参照のこと〕 R84 呼吸器及び胸部＜郭＞からの検体＜材料＞の異常所見	R83 脳脊髄液に関する異常所見 〔R83 の前に記載の細分類項目参照〕 R84 呼吸器及び胸部＜郭＞からの検体＜材料＞の異常所見 〔R83 の前に記載の細分類項目参照〕	R83 Abnormal findings in cerebrospinal fluid <u>[See before R83 for subdivisions]</u> R84 Abnormal findings in specimens from respiratory organs and thorax <u>[See before R83 for subdivisions]</u>	①〔細分類項目については、「その他の体液、検体＜材料＞および組織の検査の異常所	[See before R83 for subdivisions] は、R83 の前にある総論的記載のなかの「下記の4桁細分類項目は	○ ① ②	◆同様の注釈は複数箇所があり、 案①は場所

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	[細分類項目については、R83 の前にある記載を参照のこと] 下記における異常所見： ・気管支洗浄液 ・鼻分泌物 ・喀痰 ・咽喉擦過材料 ・胸水 除外：血痰（R04.2）	下記における異常所見： ・気管支洗浄液 ・鼻分泌物 ・喀痰 ・咽喉擦過材料 ・胸水 除外：血痰（R04.2）					
R85	消化器及び腹腔からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見： ・唾液 ・腹水 除外：異常便（R19.5）	R85 消化器及び腹腔からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見： ・唾液 ・腹水 除外：異常便（R19.5）	R85 Abnormal findings in specimens from digestive organs and abdominal cavity <u>[See before R83 for subdivisions]</u> Abnormal findings in: • peritoneal fluid • saliva <i>Excludes:</i> faecal abnormalities (R19.5)	見、診断名の記載のないもの（R83-R89）」を参照のこと] あるいは、 ② [細分類項目については、R83 の前にある記載を参照のこと] R83-R89 の追加部分は以下同様	項目 R83-89 に使用する」事項と思われるため。		により変更の必要が生じ、解釈ミスをさけるため②とする
R86	男性生殖器からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 異常精子 下記における異常所見 ・前立腺分泌物 ・精子, 精液 除外：無精子症（N46） 精子減少症（N46）	R86 男性生殖器からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 異常精子 下記における異常所見 ・前立腺分泌物 ・精子, 精液 除外：無精子症（N46） 精子減少症（N46）	R86 Abnormal findings in specimens from male genital organs <u>[See before R83 for subdivisions]</u> Abnormal findings in: • prostatic secretions • semen, seminal fluid Abnormal spermatozoa <i>Excludes:</i> azoospermia (N46) oligospermia (N46)				
R87	女性生殖器からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記からの分泌物及びスミアにおける異常所見： ・子宮頸（部） ・腔 ・外陰 除外：上皮内癌（D05—D07.3） 異形成： ・子宮頸（部）（N87.-） ・腔（N89.0—N89.3） ・外陰（N90.0—N90.3）	R87 女性生殖器からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記からの分泌物及びスミアにおける異常所見： ・子宮頸（部） ・腔 ・外陰 除外：上皮内癌（D05—D07.3） 異形成： ・子宮頸（部）（N87.-） ・腔（N89.0—N89.3） ・外陰（N90.0—N90.3）	R87 Abnormal findings in specimens from female genital organs <u>[See before R83 for subdivisions]</u> Abnormal findings in secretions and smears from: • cervix uteri • vagina • vulva <i>Excludes:</i> carcinoma in situ (D05-D07.3) dysplasia of • cervix uteri (N87.-) • vagina (N89.0-N89.3) • vulva (N90.0-N90.3)				
R89	その他の臓器，器官系および組織からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見： ・乳頭分泌物 ・滑液	R89 その他の臓器，器官系および組織からの検体＜材料＞の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見： ・乳頭分泌物 ・滑液 ・創傷分泌物	R89 Abnormal findings in specimens from other organs, systems and tissues <u>[See before R83 for subdivisions]</u> Abnormal findings in: • nipple discharge • synovial fluid • wound secretions				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・創傷分泌物						
312	R90.8 中枢神経系の画像診断におけるその他の異常所見 脳超音波検査異常 白質病変 NOS	R90.8 中枢神経系の画像診断におけるその他の異常所見 脳超音波検査異常 白質疾患 NOS	R90.8 Other abnormal findings on diagnostic imaging of central nervous system Abnormal echoencephalogram <u>White matter disease NOS</u>	「 <u>白質疾患</u> 」→「 <u>白質病変</u> 」	<u>White matter disease</u> を疾患とする翻訳は妥当ではない。画像検査で異常を示している状態である	○	
313	診断名不明確および原因不明の死亡（R95－R99） 除外：原因不明の胎児死亡（P95） 産科的死亡 NOS（O95） R95 乳幼児突然死症候群 R95.0 乳幼児突然死症候群，剖検の記載があるもの R95.9 乳幼児突然死症候群，剖検の記載がないもの 乳幼児突然死症候群，詳細不明	診断名不明確および原因不明の死亡（R95－R99） 除外：原因不明の胎児死亡（P95） 産科的死亡 NOS（O95） R95 乳幼児突然死症候群 R95.0 乳幼児突然死症候群，剖検の記載があるもの R95.9 乳幼児突然死症候群，剖検の記載がないもの 乳幼児突然死症候群，詳細不明	Ill-defined and unknown causes of mortality (R95-R99) <i>Excludes:</i> fetal death of unspecified cause (P95) obstetric death NOS (O95) R95 Sudden infant death syndrome <u>R95.0 Sudden infant death syndrome with mention of autopsy</u> <u>R95.9 Sudden infant death syndrome without mention of autopsy</u> <u>Sudden infant death syndrome, unspecified</u>				
314	R96.0 即死 成人における説明のつかない突然死 除外：原因が既知の突然死（A00.0－Q99.9, U04.9, V01.0－Y89.9）	R96.0 即死 成人における説明のつかない突然死 除外：原因が既知の突然死（A00.0－Q99.9, U04.9, V01.0－Y89.9）	R96.0 Instantaneous death <u>Sudden unexplained death in adult</u> <i>Excludes:</i> Sudden death of known aetiology (A00.0-Q99.9, U04.9, V01.0-Y89.9)				
315	第XIX章 損傷，中毒及びその他の外因の影響 筋，筋膜及び腱の損傷，下記を含む： 裂離 切創 裂傷<laceraTion> ストレイン 外傷性断裂 筋（肉），筋膜及び腱	第XIX章 損傷，中毒及びその他の外因の影響 筋，筋膜及び腱の損傷，下記を含む： 裂離 切創 裂傷<laceraTion> ストレイン 外傷性断裂 筋（肉），筋膜及び腱	Chapter XIX - Injury, poisoning and certain other consequences of external causes (S00-T98) Injury to muscle, fascia and tendon, including: avulsion cut laceration <u>strain</u> traumatic rupture of muscle, fascia and tendon				
316	S37.8 その他の骨盤臓器の損傷 副腎 精のう〈囊〉 前立腺 精管 除外：その他及び詳細不明の外性器の開放創（S31.5）	S37.8 その他の骨盤臓器の損傷 副腎 精のう〈囊〉 前立腺 精管 除外：その他及び詳細不明の外性器の開放創（S31.5）	S37.8 Injury of other pelvic organs Adrenal gland Prostate Seminal vesicle Vas deferens <u>Excludes: Open wound of other and unspecified external genital organs (S31.5)</u>				
317	S46.0 肩（回旋筋）腱板の筋及び腱の損傷	S46.0 肩（回旋筋）腱板の筋及び腱の損傷	S46.0 Injury of <u>muscle(s)</u> and <u>tendon(s)</u> of the rotator cuff of shoulder				
318	S82.1 脛骨近位端骨折 脛骨： ・近位端 ・頭部 ・プラトー ・顆 ・粗面 腓骨骨折の記載の有無にかかわらない	S82.1 脛骨近位端骨折 脛骨： ・近位端 ・頭部 ・プラトー ・顆 ・粗面 腓骨骨折の記載の有無にかかわらない	S82.1 Fracture of upper end of tibia Tibial: ・condyles ・head <u>・plateau</u> ・proximal end ・tuberosity with or without mention of fracture of fibula				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
319	T14.6 部位不明の筋及び腱の損傷 裂離 切創 損傷 } 筋 NOS 及び腱 NOS 裂傷<laceration> 捻挫 ストレイン 外傷性断裂 除外：筋及び腱の多発性損傷 NOS（T06.4）	T14.6 部位不明の筋及び腱の損傷 裂離 切創 損傷 } 筋 NOS 及び腱 NOS 裂傷<laceration> 捻挫 ストレイン 外傷性断裂 除外：筋及び腱の多発性損傷 NOS（T06.4）	T14.6 Injury of muscles and tendons of unspecified body region Avulsion Cut Injury Laceration <u>Sprain</u> <u>Strain</u> Traumatic rupture <i>Excludes:</i> multiple injuries of tendons and muscles NOS (T06.4)				
320	T31 傷害された体表面積による熱傷分類 注：本項目は熱傷部位が不明な場合のみ、一次コードとして使用する。また、部位が明示されている場合は、必要に応じて項目 T20－T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	T31 傷害された体表面積による熱傷分類 注：本項目は熱傷部位が不明な場合のみ、一次コードとして使用する。また、部位が明示されている場合は、必要に応じて項目 T20－T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	T31 Burns classified according to extent of body surface involved Note: This category is to be used as the primary code only when the site of the burn is unspecified. It may be used as a supplementary code with categories (T20-T29) <u>(T20-T25, or T29)</u> when the site is specified.				
321	T32 傷害された体表面積による腐食分類 注：本項目は腐食部位が不明な場合のみ、一次コードとして使用する。また、部位が明示されている場合は、必要に応じて項目 T20－T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	T32 傷害された体表面積による腐食分類 注：本項目は腐食部位が不明な場合のみ、一次コードとして使用する。また、部位が明示されている場合は、必要に応じて項目 T20－T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	T32 Corrosions classified according to extent of body surface involved Note: This category is to be used as the primary code only when the site of the burn is unspecified. It may be used as a supplementary code with categories (T20-T29) <u>(T20-T25, or T29)</u> when the site is specified.				
322	T56 金属の毒作用 包含：すべての発生源からの金属，薬用を除く 金属のフューム及び蒸気 除外：砒素及びその化合物（T57.0） マンガン及びその化合物（T57.2） T56.8 その他の金属 タリウム	T56 金属の毒作用 包含：すべての発生源からの金属，薬用を除く 金属のフューム及び蒸気 除外：砒素及びその化合物（T57.0） マンガン及びその化合物（T57.2） T56.8 その他の金属 タリウム	T56 Toxic effect of metals <i>Includes:</i> fumes and vapours of metals metals from all sources, except medicinal substances <i>Excludes:</i> arsenic and its compounds (T57.0) manganese and its compounds (T57.2) thallium (T60.4) T56.8 Other metals <u>Thallium</u>				
323	T60.4 殺鼠剤 除外：ストリキニーネ及びその塩類（T65.1）	T60.4 殺鼠剤 除外：ストリキニーネ及びその塩類（T65.1）	T60.4 Rodenticides Thallium				
324	T71 窒息 窒息（絞扼による）： ※ ・鼻口部閉塞によるもの ※ ・頸部圧迫によるもの ※ ・胸部圧迫によるもの ※ ・その他 下記による全身性酸素欠乏：	T71 窒息 窒息（絞扼による）： ※ ・鼻口部閉塞によるもの ※ ・頸部圧迫によるもの ※ ・胸部圧迫によるもの ※ ・その他 下記による全身性酸素欠乏：	T71 Asphyxiation Suffocation (by strangulation) Systemic oxygen deficiency due to: • low oxygen content in ambient air • mechanical threat to breathing <i>Excludes:</i> anoxia due to high altitude (T70.2) asphyxia from: • carbon monoxide (T58) • inhalation of food or foreign body (T17.-)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・外気中の低酸素濃度 ・機械的呼吸圧迫 除外：下記における呼吸窮＜促＞迫： ・成人における症候群＜ARDS＞（J80） ・新生児におけるもの＜IRDS＞（P22.-） 下記による窒息： ・食物または異物の誤えん＜嚥＞＜吸引＞（T17.-） ・一酸化炭素（T58） ・その他の気体，フューム及び蒸気（T59.-） 高所での無酸素症（T70.2）	・外気中の低酸素濃度 ・機械的呼吸圧迫 除外：下記における呼吸窮＜促＞迫： ・成人における症候群＜ARDS＞（J80） ・新生児におけるもの＜IRDS＞（P22.-） 下記による窒息： ・食物または異物の誤えん＜嚥＞＜吸引＞（T17.-） ・一酸化炭素（T58） ・その他の気体，フューム及び蒸気（T59.-） 高所での無酸素症（T70.2）	・ other gases, fumes and vapours (T59.-) respiratory distress: ・ <u>syndrome in adult</u> (J80) ・ <u>in newborn</u> (P22.-)				
325	T79 外傷の早期合併症，他に分類されないもの 除外：呼吸： ・成人における症候群＜A R D S＞（J80） ・新生児におけるもの＜I R D S＞（P22.-） 医学的処置中又は処置に続発して発生したもの（T80—T88） 外科的及び内科的ケアの合併症 NEC（T80—T88）	T79 外傷の早期合併症，他に分類されないもの 除外：呼吸： ・成人における症候群＜A R D S＞（J80） ・新生児におけるもの＜I R D S＞（P22.-） 医学的処置中又は処置に続発して発生したもの（T80—T88） 外科的及び内科的ケアの合併症 NEC（T80—T88）	T79 Certain early complications of trauma, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> complications of surgical and medical care NEC (T80–T88) respiratory distress : ・ <u>syndrome of adult</u> (J80) ・ <u>in newborn</u> (P22.0)(<u>P22.-</u>) when occurring during or following medical procedures (T80–T88)				
326	T80.2 輸液，輸血及び治療用注射に続発する感染症 感染症 敗血症 輸液，輸血及び治療用注射に続発するもの 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。	T80.2 輸液，輸血及び治療用注射に続発する感染症 感染症 敗血症 輸液，輸血及び治療用注射に続発するもの 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。	T80.2 Infections following infusion, transfusion and therapeutic injection Infection Sepsis Septic shock following infusion, transfusion and therapeutic injection <u>Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock</u>				
327	T81 処置の合併症，他に分類されないもの 除外：他に分類される明示された合併症，下記のようなもの： ・薬物および薬剤による皮膚炎（L23.3, L24.4, L25.1, L27.0-, L27.1） ・薬物及び化学物質の中毒および毒作用（T36—T65） ・プロステシス，挿入物及び移植片の合併症（T82—T85） ・移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	T81 処置の合併症，他に分類されないもの 除外：他に分類される明示された合併症，下記のようなもの： ・薬物および薬剤による皮膚炎（L23.3, L24.4, L25.1, L27.0-, L27.1） ・薬物及び化学物質の中毒および毒作用（T36—T65） ・プロステシス，挿入物及び移植片の合併症（T82—T85） ・移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	T81 Complications of procedures, not elsewhere classified <i>Excludes:</i> adverse effect of drug NOS (T88.7) complication following: immunization (T88.0-T88.1) infusion, transfusion and therapeutic injection (T80.-) specified complications classified elsewhere, such as: complications of prosthetic devices, implants and grafts (T82-T85) dermatitis due to drugs and medicaments (L23.3, L24.4, L25.1, L27.0-L27.1) <u>failure and rejection of transplanted</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	(T86) 下記に続発する合併症： ・輸液，輸血及び治療用注射（T80.-） ・予防接種（T88.0—T88.1） 薬物の有害作用 NOS（T88.7）	(T86) 下記に続発する合併症： ・輸液，輸血及び治療用注射（T80.-） ・予防接種（T88.0—T88.1） 薬物の有害作用 NOS（T88.7）	<u>organs and tissues (T86)</u> poisoning and toxic effects of drugs and chemicals (T36-T65)				
328	T81.1 処置中の又はその結果によるショック，他に分類されないもの 虚脱 NOS ショック（エンドトキシン性）（血流減少性） 術後ショック NOS 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。	T81.1 処置中の又はその結果によるショック，他に分類されないもの 虚脱 NOS ショック（エンドトキシン性）（血流減少性） 術後ショック NOS 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。	T81.1 Shock during or resulting from a procedure, not elsewhere classified Collapse NOS } during or following a Shock (endotoxic) } procedure (hypovolaemic) (septic) } Postprocedural shock NOS <u>Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock</u>				
329	T81.4 処置に続発する感染症、他に分類されない 膿瘍： ・腹腔内 ・縫合 }処置後 ・横隔膜下 ・創傷 敗血症 敗血症または膿瘍での感染症の他の徴候の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。	T81.4 処置に続発する感染症、他に分類されない 膿瘍： ・腹腔内 ・縫合 }処置後 ・横隔膜下 ・創傷 敗血症 敗血症または膿瘍での感染症の他の徴候の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。	T81.4 Infection following a procedure, not elsewhere classified Abscess: • intra-abdominal • stitch }postprocedural • subphrenic • wound Sepsis <u>Use additional code, if desired, to identify other manifestations of infection, such as sepsis or abscess.</u>				
330	T82.8 心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片のその他の明示された合併症 塞栓症 血栓症 線維症 出血 疼痛 狭窄（症）	T82.8 心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片のその他の明示された合併症 塞栓症 血栓症 線維症 出血 疼痛 狭窄（症）	T82.8 Other specified complications of cardiac and vascular prosthetic devices, implants and grafts Complication Embolism Fibrosis Haemorrhage Pain Stenosis Thrombosis				
331	損傷，中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症（T90—T98） 注：項目 T90-T98 は，後遺症（それ自体は他に分類される）の原因として S00—S99 および T00—T88 に記載されている病態を示すために使用される。続発・後遺症は，前述の病態，後遺症として明示された病態	損傷，中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症（T90—T98） 注：項目 T90-T98 は，後遺症（それ自体は他に分類される）の原因として S00—S99 および T00—T88 に記載されている病態を示すために使用される。続発・後遺症は，前述の病態，後遺症として明示された病態	Sequelae of injuries, of poisoning and of other consequences of external causes (T90-T98) Note: These categories T90-T98 are to be used to indicate conditions in S00-S99 and T00-T88 as the cause of late effects, which are themselves classified elsewhere. The “sequelae” include those specified as such, or as late effects, and those present one year or more after the acute injury. <u>Not to be used for chronic poisoning and harmful exposure. Code these to current poisoning and harmful exposure.</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	または急性損傷の後 1 年以上存在している病態を含む。 慢性中毒および有害な曝露については使用しない。現在 の中毒および有害な曝露にコードする。	または急性損傷の後 1 年以上存在している病態を含む。 慢性中毒および有害な曝露については使用しない。現在 の中毒および有害な曝露にコードする。					
332	交通事故 （V01—V99） 注：本節は 12 の群からなる。陸上交通事故に関連した もの（V01—V89）は、受傷者の移動手段を示し、それは 受傷者の 相手方 あるいは事件の型によって細分類されて いる。受傷者の乗っていた交通機関は最初の 2 桁で示さ れている。これは交通機関を同定することが事故防止の点 からみてもっとも重要な因子と思われるからである。 除外：（動いていない）輸送機器もしくは車両の整備 または修理に従事する者の事故で、別の動いている車 両による負傷を除く（W00—X59） 車両による事故、輸送手段関連の危険因子と関連しな いもの 〔例えば、船上での口論；大災害における輸送車両；自 動車の扉を閉める際に指を挟むことによる負傷〕（W00-X 59） 故意の自傷（X82—X83） モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死 亡（Y03.-） 不慮か故意かの決定されない事件（Y32—Y33）	交通事故 （V01—V99） 注：本節は 12 の群からなる。陸上交通事故に関連した もの（V01—V89）は、受傷者の移動手段を示し、それは 受傷者の 相手方 あるいは事件の型によって細分類されて いる。受傷者の乗っていた交通機関は最初の 2 桁で示さ れている。これは交通機関を同定することが事故防止の点 からみてもっとも重要な因子と思われるからである。 除外：（動いていない）輸送機器もしくは車両の整備 または修理に従事する者の事故で、別の動いている車 両による負傷を除く（W00—X59） 車両による事故、輸送手段関連の危険因子と関連しな いもの 〔例えば、船上での口論；大災害における輸送車両；自 動車の扉を閉める際に指を挟むことによる負傷〕（W00-X 59） 故意の自傷（X82—X83） モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死 亡（Y03.-） 不慮か故意かの決定されない事件（Y32—Y33）	Transport accidents (V01-V99) <i>Note:</i> This section is structured in 12 groups. Those relating to land transport accidents (V01-V89) reflect the victim’s mode of transport and are subdivided to identify the victim’s “counterpart” or the type of event. The vehicle of which the injured person is an occupant is identified in the first two characters since it is seen as the most important factor to identify for prevention purposes. <i>Excludes:</i> accidents to persons engaged in the maintenance or repair of transport equipment or vehicle (not in motion) not on a public highway unless injured by another vehicle in motion (W00-X59) <u>accidents involving vehicles, but unrelated to the hazards associated with the means of transportation [e.g., injuries received in a fight on board ship; transport vehicle involved in a cataclysm; finger crushed when shutting car door] (W00-X59)</u> assault by crashing of motor vehicle (Y03.-) event of undetermined intent (Y32-Y33) intentional selfharm (X82-X83) transport accidents due to cataclysm (X34-X38)				
333	交通事故 （V01—V99） 除外：・・・ 故意の自傷（X81—X83） 不慮か故意かの決定されない事件（Y31—Y33）	交通事故 （V01—V99） 除外：・・・ 故意の自傷（X81—X83） 不慮か故意かの決定されない事件（Y31—Y33）	Transport accidents (V01-V99) ... <i>Excludes:</i> ... event of undetermined intent (Y32 <u>Y31</u>-Y33) intentional selfharm (X82 <u>X81</u>-X83)				
334	（英語版における当初の落丁により本欄は、修正箇所 未反映） m) オート三輪車とは、本来道路上で使用するために 設計された原動機付き三輪車をいう。 包含：原動機駆動三輪車 原動機付き人力車 三輪自動車	（英語版における当初の落丁により本欄は、修正箇所 未反映） m) オート三輪車とは、本来道路上で使用するために 設計された原動機付き三輪車をいう。 包含：原動機駆動三輪車 原動機付き人力車 三輪自動車	(m) A <i>three-wheeled motor vehicle</i> is a motorized tricycle designed primarily for on-road use. <i>Includes:</i> motor-driven tricycle motorized rickshaw three-wheeled motor car <i>Excludes:</i> motorcycle with sidecar – see definition (k) special all-terrain vehicle – see definition (ww) (<u>x</u>)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考				
	除外：サイドカー付きオートバイー 定義（k）を参照 全地形用特殊車両 — 定義（w）を参照 （n）乗用車とは、 本来 10 人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。 包含：ミニバス （o）モーター車両または車両には多様な輸送車両が該当する。 車両用語の各地域における使用については、 適切なコードを決定し、 制定すべきである。 用語が曖昧に使用された場合は、「詳細不明」のコードを使用する。 （p）軽トラックまたはバンとは、 本来、 物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、 その地域の大型貨物車の基準より軽く、 特別な運転免許を要しないものをいう。 （q）大型輸送車両とは、 本来、 物を輸送する目的で設計されたモーター車両で、 その地域の大型貨物車の基準重量（通常 3500Kg 以上）を満たし、 特別な運転免許を要するものをいう。 （r）バスとは、 本来、 10 人を超える人を輸送する目的で設計されまたは改造されたモーター車両で、 特別な運転免許を要するものをいう。 （s）鉄道列車または鉄道車両とは、 連結車の有無を問わず、 軌道上を走行する目的で作られたものをいう。 包含：都市間連絡： <table><tr><td>・ 電車 ・ 市街電車</td><td>（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）</td></tr></table> 蒸気、 電気、 ディーゼルなどあらゆる動力による鉄道列車： ・ ケーブルカー ・ モノレール、 両軌鉄道 ・ 地下鉄道、 高架鉄道 鉄道線路上を走行する目的で作られたその他の車両 除外：都市間連絡電車 [市街電車] で、 専用路を走行するように定められているが、 その専用路が公道またはハイウェイの一部となっている場合 — 定義（t）を参照 （t）市街電車とは、 本来市内で人を輸送する目的で設計され、 使用されるものをいい、 線路上を走行し通常正規の交通信号にしたがい、 道路の一部である専用路を主として運行するものをいう。 市街電車により牽引されるトレーラーは市街電車の一	・ 電車 ・ 市街電車	（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）	除外：サイドカー付きオートバイー 定義（k）を参照 全地形用特殊車両 — 定義（w）を参照 （n）乗用車とは、 本来 10 人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。 包含：ミニバス （o）モーター車両または車両には多様な輸送車両が該当する。 車両用語の各地域における使用については、 適切なコードを決定し、 制定すべきである。 用語が曖昧に使用された場合は、「詳細不明」のコードを使用する。 （p）軽トラックまたはバンとは、 本来、 物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、 その地域の大型貨物車の基準より軽く、 特別な運転免許を要しないものをいう。 （q）大型輸送車両とは、 本来、 物を輸送する目的で設計されたモーター車両で、 その地域の大型貨物車の基準重量（通常 3500Kg 以上）を満たし、 特別な運転免許を要するものをいう。 （r）バスとは、 本来、 10 人を超える人を輸送する目的で設計されまたは改造されたモーター車両で、 特別な運転免許を要するものをいう。 （s）鉄道列車または鉄道車両とは、 連結車の有無を問わず、 軌道上を走行する目的で作られたものをいう。 包含：都市間連絡： <table><tr><td>・ 電車 ・ 市街電車</td><td>（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）</td></tr></table> 蒸気、 電気、 ディーゼルなどあらゆる動力による鉄道列車： ・ ケーブルカー ・ モノレール、 両軌鉄道 ・ 地下鉄道、 高架鉄道 鉄道線路上を走行する目的で作られたその他の車両 除外：都市間連絡電車 [市街電車] で、 専用路を走行するように定められているが、 その専用路が公道またはハイウェイの一部となっている場合 — 定義（t）を参照 （t）市街電車とは、 本来市内で人を輸送する目的で設計され、 使用されるものをいい、 線路上を走行し通常正規の交通信号にしたがい、 道路の一部である専用路を主として運行するものをいう。 市街電車により牽引されるトレーラーは市街電車の一	・ 電車 ・ 市街電車	（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）	(n) A <i>car</i> [<i>automobile</i>] is a four-wheeled motor vehicle designed primarily for carrying up to 10 persons. <u>A trailer or caravan being towed by a car is considered a part of the car.</u> <i>Includes:</i> minibus <u>(o) A motor vehicle or vehicle may refer to various transport vehicles. The local usage of the terms should be established to determine the appropriate code. If the terms are used ambiguously, use the code for “unspecified.” A trailer or caravan being towed by a vehicle is considered a part of the vehicle</u> (op) A <i>pick-up truck</i> or <i>van</i> (pq) A <i>heavy transport vehicle</i> (qr) A <i>bus</i> (rs) A <i>railway train</i> or <i>railway vehicle</i> is any device, with or without cars coupled to it, designed for traffic on a railway. <i>Includes:</i> interurban: • electric car } (operated chiefly on its own right-of-way, • streetcar } not open to other traffic) railway train, any power [diesel] [electric] [steam]: • funicular • monorail or two-rail • subterranean or elevated other vehicle designed to run on a railway track <i>Excludes:</i> interurban electric cars [street cars] specified to be operating on a right-of-way that forms part of the public street or highway – see definition (st) (st) A <i>streetcar</i> (tu) A <i>special vehicle mainly used on industrial premises</i> (uv) A <i>special vehicle mainly used in agriculture</i> (vw) A <i>special construction vehicle</i> (wx) A <i>special all-terrain vehicle</i> is a motor vehicle of special design to enable it to negotiate rough or soft terrain or snow. Examples of special design are high construction, special wheels and tyres, tracks, and support on a cushion of air. <i>Includes:</i> hovercraft on land or swamp snowmobile <i>Excludes:</i> hovercraft on open water – see definition (xy) (xy) A <i>watercraft</i> (yz) An <i>aircraft</i>				
・ 電車 ・ 市街電車	（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）										
・ 電車 ・ 市街電車	（他の交通機関に用 いられない専用路を 走行するもの）										

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	部とみなす。 包含：トロリー 街路または公道上を運行中と明示された都市間連絡電車または市街電車 路面電車 （u）主として工業用地内で使用される特殊車両とは、本来、工業または商業用の建物または用地内で使用する目的で設計されたモーター車両をいう。 包含：フォークリフト（トラック） 駅内貨物トラック（動力付き） 自動推進トラック，工業用 炭坑内石炭運搬車 炭坑または採石場の電車，運搬車または鉱車（動力付き） 電動： ・空港乗客運搬車 ・運搬車（貨物）（郵便） 木材伐採車 （v）主として農業用に使用される特殊車両とは、農業用または園芸用に特別に設計されたモーター車両で、土地を耕したり作物を手入れし収穫したり、農場内の物を輸送したりするものをいう。 包含：コンバイン トラクター（およびトレーラー） 自動推進農業用機械 （w）建設用特殊車両とは、道路、建物その他の構造物の建設（および破壊）用に特別に設計されたモーター車両をいう。 包含：ダンプカー ロードローラー パワーショベル 掘削機 ブルドーザー 地ならし機 （x）全地形用特殊車両とは、でこぼこあるいは軟弱な土地または雪上を走行できるように特別に設計されたモーター車両をいう。この特別の設計とは、たとえば高い構造、特別の車輪またはタイヤ、軌道による走行またはエアークッションによる支持などをいう。 包含：陸上または湿地でのホバークラフト 雪上車<スノーモービル> 除外：水上のホバークラフトー 定義（y）を参照 （y）船舶とは、人または物を水上で輸送するすべてのものをいう。 包含：ホバークラフト NOS （z）航空機とは、人または物を空中で輸送するすべてのものをいう。	部とみなす。 包含：トロリー 街路または公道上を運行中と明示された都市間連絡電車または市街電車 路面電車 （u）主として工業用地内で使用される特殊車両とは、本来、工業または商業用の建物または用地内で使用する目的で設計されたモーター車両をいう。 包含：フォークリフト（トラック） 駅内貨物トラック（動力付き） 自動推進トラック，工業用 炭坑内石炭運搬車 炭坑または採石場の電車，運搬車または鉱車（動力付き） 電動： ・空港乗客運搬車 ・運搬車（貨物）（郵便） 木材伐採車 （v）主として農業用に使用される特殊車両とは、農業用または園芸用に特別に設計されたモーター車両で、土地を耕したり作物を手入れし収穫したり、農場内の物を輸送したりするものをいう。 包含：コンバイン トラクター（およびトレーラー） 自動推進農業用機械 （w）建設用特殊車両とは、道路、建物その他の構造物の建設（および破壊）用に特別に設計されたモーター車両をいう。 包含：ダンプカー ロードローラー パワーショベル 掘削機 ブルドーザー 地ならし機 （x）全地形用特殊車両とは、でこぼこあるいは軟弱な土地または雪上を走行できるように特別に設計されたモーター車両をいう。この特別の設計とは、たとえば高い構造、特別の車輪またはタイヤ、軌道による走行またはエアークッションによる支持などをいう。 包含：陸上または湿地でのホバークラフト 雪上車<スノーモービル> 除外：水上のホバークラフトー 定義（y）を参照 （y）船舶とは、人または物を水上で輸送するすべてのものをいう。 包含：ホバークラフト NOS （z）航空機とは、人または物を空中で輸送するすべてのものをいう。					

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
335	転倒・転落・墜落 （W00—W19） 〔4桁細分類項目は889～892ページを参照〕 除外：下記への、又は下記からの転落： ・動物（V80.-） ・燃焼中の建物（X00.-） ・火中（X00—X04, X08—X09） ・水中（溺死又は溺水を伴うもの）（W65—W74） ・機械（運転中のもの）（W28—W31） ・不慮の事故に起因しない転倒傾向（R29.6） ・交通機関（V01—V99） 故意の自傷（X80—X81） 加害にもとづく傷害及び死亡（Y01—Y02）	転倒・転落 （W00—W19） 〔4桁細分類項目は889～892ページを参照〕 除外：下記への、又は下記からの転落： ・不慮の事故に起因しない繰り返される転倒（R29.6） ・交通機関（V01—V99） ・動物（V80.-） ・機械（運転中のもの）（W28—W31） ・水中（溺死又は溺水を伴うもの）（W65—W74） ・燃焼中の建物（X00.-） ・火中（X00—X04, X08—X09） 故意の自傷（X80—X81） 加害にもとづく傷害及び死亡（Y01—Y02）	Falls (W00-W19) [See pages 1013-1017 for fourth-character subdivisions] <i>Excludes:</i> assault (Y01—Y02) fall (in)(from): ・animal (V80.-) ・burning building (X00) ・into fire (X00—X04, X08—X09) ・into water (with drowning or submersion) (W65—W74) ・machinery (in operation) (W28—W31) ・ <u>repeated falls not resulting from accident (R29.6)</u> ・transport vehicle (V01—V99) intentional selfharm (X80—X81)	転倒・転落・墜落 repeated falls not resulting from accident (R29.6)⇒不慮の事故に 起因しない転倒傾向 (R29.6)	“falls”には、転倒（床 面で転ぶ）、転落（転 げ落ちる）、墜落（自 由落下）の全てを含み ますが、日本語では3 用語を分けています。 （順番が英語と異な る） （R29.6）の訳が抜け ている	○	
336	W13 建物又は建造物からの転落 包含：下記からの転落： ・バルコニー ・橋 ・建物 ・旗掲揚台 ・床 ・手すり ・屋根 ・塔 ・櫓 ・陸橋 ・壁 ・窓 除外：建物又は建造物の崩壊（W20.-） 燃焼中の建物又は建造物からの転落又は飛び降り（X00.-）	W13 建物又は建造物からの転落 包含：下記からの転落： ・バルコニー ・壁 ・建物 ・手すり ・塔 ・橋 ・旗掲揚台 ・窓 ・櫓 ・屋根 ・床 ・陸橋 除外：建物又は建造物の崩壊（W20.-） 燃焼中の建物又は建造物からの転落又は 飛び降り（X00.-）	W13 Fall from, out of or through building or structure <i>Includes:</i> fall from, out of or through: ・balcony ・bridge ・building ・etc. etc. etc. <i>Excludes:</i> collapse of a building or structure (W20.-) fall or jump from burning building <u>or structure</u> (X00.-) ※上記英語は、例示を省略しており、実際には最新版 でも以下のとおりです。英語に合わせ和訳の順序も修 正しました。 ・balcony ・bridge ・building ・flag-pole ・floor ・railing ・roof ・tower ・turret ・viaduct ・wall ・window	例示に「 <u>脚立</u> 」や「 <u>ハ シゴ</u> 」を追加する	W13「建物又は建造 物からの転落 包含： 下記からの転落」とし て原文では etc. etc. とされているにもかか わらず、事務局仮訳で は現行通りのものをい くつか例示していま す。 農作業事故では「脚 立」や「ハシゴ」が非 常に多いのですが、 「旗掲揚台」などが例 示されている中で、こ の二つが例示されてい ないのはおかしい。	○ ？	◆省略され ていた例示 を全て記載 しました。
337	W17 その他の転倒 包含：下記からの又は下記への転倒:… ・移動クレーン ・穴 ・つり上げ装置 ・可動式昇降作業足場 [MEWP] ・くぼみ ・高所作業車	W17 その他の転倒 包含：下記からの又は下記への転倒:… ・移動クレーン ・穴 ・つり上げ装置 ・可動式昇降作業足場 [MEWP] ・くぼみ ・高所作業車	W17 Fall from one level to another <i>Includes:</i> fall from or into:… ・cherry picker ・hole ・lifting device ・mobile elevated work platform [MEWP] ・pit				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考	
			・ sky lift					
338	W23 物体内又は物体間への捕捉，圧挫，圧入又は挟まれ 包含：下記への捕捉，圧挫，圧入又は挟まれ： ・折りたたみ式のもの ・引き戸と戸枠の間に挟まった場合 ・手のゆるみにより（運送用）外装箱の下になった場合 ・洗濯機のローラー式しぼり機 除外：下記による損傷： ・輸送手段として使用される交通機関（V01—V99） ・持ち上げ装置及び伝達装置（W24.-） ・刃器又は刺器（W25—W27） ・無動力手工具（W27.-） ・機械（W28—W31） 投げられ， 投げ出され又は落下する物体による打撲（W20.-）	運動中の物体間 停止中の物体と 運動中の物体との間 物体内 のような	W23 物体内又は物体間への捕捉，圧挫，圧入又は挟まれ 包含：下記への捕捉，圧挫，圧入又は挟まれ： ・折りたたみ式のもの ・引き戸と戸枠の間に挟まった場合 ・手のゆるみにより（運送用）外装箱の下になった場合 ・洗濯機のローラー式しぼり機 除外：下記による損傷： ・輸送手段として使用される交通機関（V01—V99） ・持ち上げ装置及び伝達装置（W24.-） ・刃器又は刺器（W25—W27） ・無動力手工具（W27.-） ・機械（W28—W31） 投げられ， 投げ出され又は落下する物体による打撲（W20.-）	運動中の物体間 停止中の物体と 運動中の物体との間 物体内 のような	W23 Caught, crushed, jammed or pinched in or between objects ... Excludes: injury caused by: ・ Cutting or piercing instruments (W25-W27) ・ Lifting and transmission devices (W24.-) ・ Machinery (W28-W31) ・ Nonpowered hand tools (W27.-) ・ Transport vehicle being used as a means of transportation (V01-V99) Struck by thrown, projected or falling object (W20.-)	順番が原版と異なる。	○	
339	W27 無動力手工具との接触 除外: 皮下注射針（W46.-） W46 皮下注射針との接触	W27 無動力手工具との接触 除外: 皮下注射針（W46.-） W46 皮下注射針との接触	W27 Contact with nonpowered hand tool Excludes: hypodermic needle (W46.-) W46 Contact with hypodermic needle					
340	W45 皮膚からの異物侵入 包含：ブリキ缶のふた 爪 硬い紙の角 とげ 除外：物体による打撲（W20—W22） 下記との接触： ・鋭いガラス（W25.-） ・ナイフ，刀剣又は短剣（W26.-） ・手工具（無動力）（動力）（W27—W29） ・皮下注射針（W46.-）	W45 皮膚からの異物侵入 包含：ブリキ缶のふた 爪 硬い紙の角 とげ 除外：物体による打撲（W20—W22） 下記との接触： ・鋭いガラス（W25.-） ・ナイフ，刀剣又は短剣（W26.-） ・手工具（無動力）（動力）（W27—W29） ・皮下注射針（W46.-）	W45 Foreign body or object entering through skin Includes: edge of stiff paper nail splinter tin-can lid Excludes: contact with: ・ hand tools (nonpowered)(powered)（W27—W29） ・ hypodermic needle (W46.-) ・ knife, sword or dagger (W26.-) ・ sharp glass (W25.-) struck by objects (W20—W22)					
341	W80 気道閉塞を生じたその他の物体の誤えん〈嚥〉〈吸引〉 包含：食物または嘔吐物以外の物体の鼻また	W80 気道閉塞を生じたその他の物体の誤えん〈嚥〉〈吸引〉 包含：食物または嘔吐物以外の物体の鼻また	W80 Inhalation and ingestion of other objects causing obstruction of respiratory tract Includes: asphyxia by ... aspiration NOS					

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	は口からの侵入による窒息 誤えん〈嚥〉〈吸引〉NOS （気道への）食物または嘔吐物以外の 物体の誤えん〈嚥〉〈吸引〉NOS …	は口からの侵入による窒息 誤えん〈嚥〉〈吸引〉NOS （気道への）食物または嘔吐物以外の 物体の誤えん〈嚥〉〈吸引〉NOS …	aspiration and inhalation of foreign body, except food or vomitus (into respiratory tract), NOS				
342	W84 詳細不明の窒息 包含： 窒息 NOS	W84 詳細不明の窒息 包含： 窒息 NOS	W84 Unspecified threat to breathing <i>Includes:</i> asphyxiation NOS aspiration NOS suffocation NOS	窒息NOS 気道閉塞NOS	Asphyxiation⇒広義の 窒息 Suffocation⇒気道閉塞 による窒息	○	◆「辞典」 では、 asphyxiatio n は掲載され ておらず、 suffocation は窒息とさ れている。
343	X34 地震による受傷者 X34.0 地震による地殻変動の受傷者 包含：建物又はその他の構造物の崩壊に閉じ込 められた者又はそれによって傷つけられ た者 X34.1 津波による受傷者 X34.8 地震によるその他の明示された影響の受傷者 X34.9 地震による詳細不明の影響の受傷者	X34 地震による受傷者 X34.0 地震による地殻変動の受傷者 包含：建物又はその他の構造物の崩壊に閉じ込 められた者又はそれによって傷つけられ た者 X34.1 津波による受傷者 X34.8 地震によるその他の明示された影響の受傷者 X34.9 地震による詳細不明の影響の受傷者	X34 Victim of earthquake X34.0 Victim of cataclysmic earth movements caused by earthquake <i>Includes:</i> trapped in or injured by collapsing building or other structure X34.1 Victim of tsunami X34.8 Victim of other specified effects of earthquake X34.9 Victim of unspecified effect of earthquake				
344	X39 その他及び詳細不明の自然の力への曝露 包含：自然放射線 NOS 大波 NOS 除外：曝露 NOS（X59.9） 津波（X34.1）	X39 その他及び詳細不明の自然の力への曝露 包含：自然放射線 NOS 大波 NOS 除外：曝露 NOS（X59.9） 津波（X34.1）	X39 Exposure to other and unspecified forces of nature <i>Includes:</i> natural radiation NOS tidal wave NOS <i>Excludes:</i> exposure NOS (X59.-9) tsunami (X34.1)				
345	X47 その他のガスおよび蒸気による不慮の中毒およ び曝露 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性）NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	X47 その他のガスおよび蒸気による不慮の中毒およ び曝露 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性）NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	X47 Accidental poisoning by and exposure to other gases and vapours <i>Includes:</i> carbon monoxide helium (nonmedicinal) NEC lacrimogenic gas [tear gas]				
346	X53 食糧の不足 包含：下記の原因となった食糧不足： ・栄養失調 ・栄養不良 ・飢餓 除外：遺棄または放置（Y06.-） セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不	X53 食糧の不足 包含：下記の原因となった食糧不足： ・栄養失調 ・栄養不良 ・飢餓 除外：遺棄または放置（Y06.-） セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不	X53 Lack of food <i>Includes:</i> lack of food as the cause of • inanition • insufficient nourishment • starvation <i>Excludes:</i> neglect or abandonment by others (Y06.-) insufficient intake of food and water due to self neglect (R63.6)				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	足（R63.6） セルフネグレクト NOS（R46.8）	足（R63.6） セルフネグレクト NOS（R46.8）	<u>self neglect NOS (R46.8)</u>				
347	X 59 詳細不明の要因への曝露 X59.0 詳細不明の骨折 X59.9 その他及び詳細不明の損傷 包含：不慮の事故 NOS 曝露 NOS	X 59 詳細不明の要因への曝露 X59.0 詳細不明の骨折 X59.9 その他及び詳細不明の損傷 包含：不慮の事故 NOS 曝露 NOS	X59 Exposure to unspecified factor * <i>Includes:</i> accident NOS exposure NOS <u>X59.0 Exposure to unspecified factor causing fracture</u> <u>X59.9 Exposure to unspecified factor causing other and unspecified injury</u> <i>Includes:</i> accident NOS exposure NOS				
348	X67 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露 にもとづく自傷および自殺 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性） NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	X67 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露 にもとづく自傷および自殺 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性） NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	X67 Intentional self-poisoning by and exposure to other gases and vapours <i>Includes:</i> carbon monoxide <u>helium (nonmedicinal) NEC</u> lacrimogenic gas [tear gas]				
349	Y07 その他の虐待	Y07 その他の虐待	Y07 Other maltreatment syndromes				
350	Y17 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露，不慮か故意か決定されないもの 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性） NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	Y17 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露，不慮か故意か決定されないもの 包含：一酸化炭素 ヘリウム（非薬物性） NEC 流涙ガス〔催涙ガス〕	Y17 Poisoning by and exposure to other and unspecified drugs, medicaments and biological substances, undetermined intent <i>Includes:</i> ... <u>helium (nonmedicinal) NEC</u> lacrimogenic gas [tear gas]				
351	外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故（Y60—Y69） 除外：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70—Y82） 患者の異常反応を生じた外科的及び内科的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83—Y84）	外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故（Y60—Y69） 除外：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70—Y82） 患者の異常反応を生じた外科的及び内科的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83—Y84）	Misadventures to patients during surgical and medical care (Y60–Y69) <i>Excludes:</i> medical devices associated with adverse incidents in diagnostic and therapeutic use <u>breakdown or malfunctioning of medical device (during procedure) (after implantation) (ongoing use)</u> (Y70–Y82) surgical and medical procedures as the cause of abnormal reaction of the patient, without mention of misadventure at the time of the procedure <u>(Y83–Y84)</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
352	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故（Y60－Y69） 除外：医療用器具の破損、動作しないもの（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 患者の異常反応を生じた外科的および内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85-Y87, Y89）	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故（Y60－Y69） 除外：医療用器具の破損、動作しないもの（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 患者の異常反応を生じた外科的および内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85-Y87, Y89）	Misadventures to patients during surgical and medical care (Y60-Y69) <i>Excludes:</i> breakdown and malfunctioning ... (ongoing use) (Y70-Y82) surgical and medical procedure ... time of the procedure (Y83-Y84) <u>medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)</u>	他に分類される外因による有害事象に関連した医療事故（V01－Y59, Y85-Y87, Y89）	医療用器具によるものをさしているのではない。	×	医療機器の話ではないか。 ◆medical device は、例えば Y70-Y82 においても医療用器具として用いられています。
353	治療及び診断に用いて副反応を起こした医療用器具（Y70－Y82） 包含：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故, Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の使用後に合併症を生じた処置で医療用器具の破損又は不具合の記載がないもの（Y83－Y84） 下記の4桁細分類項目は項目 Y70—Y82 に使用する： .0 診断及びモニター用器具 .1 治療（外科手術以外）及びリハビリテーション器具 .2 プロステシス及びその他の挿入物, 材料および付属器具 .3 外科用機械, 材料及び器具（縫合を含む） .8 その他の器具, 他に分類されないもの 2013	治療及び診断に用いて副反応を起こした医療用器具（Y70－Y82） 包含：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故, Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の使用後に合併症を生じた処置で医療用器具の破損又は不具合の記載がないもの（Y83－Y84） 下記の4桁細分類項目は項目 Y70—Y82 に使用する： .0 診断及びモニター用器具 .1 治療（外科手術以外）及びリハビリテーション器具 .2 プロステシス及びその他の挿入物, 材料および付属器具 .3 外科用機械, 材料及び器具（縫合を含む） .8 その他の器具, 他に分類されないもの 2013	MEDICAL DEVICES ASSOCIATED WITH ADVERSE INCIDENTS IN DIAGNOSTIC AND THERAPEUTIC USE (Y70-Y82) <u><i>Includes:</i> breakdown or malfunctioning of medical device (during procedure) (after implantation)(ongoing use)</u> <u><i>Excludes:</i> misadventures to patients during surgical and medical care, classifiable to Y60-Y69 (Y60-Y69) later complications following use of medical devices without mention of breakdown or malfunctioning of medical device (Y83-Y84)</u> The following fourth-character subdivisions are for use with categories Y70-Y82: .0 Diagnostic and monitoring devices .1 Therapeutic (nonsurgical) and rehabilitative devices .2 Prosthetic and other implants, materials and accessory devices .3 Surgical instruments, materials and devices (including sutures) .8 Miscellaneous devices, not elsewhere classified ※第3回部会資料から除外項目の訳を修正				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	治療及び診断に用いて副反応を起こした医療用器具（Y70－Y82） 包含：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の使用後に合併症を生じた処置で医療用器具の破損又は不具合の記載がないもの（Y83－Y84） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85－Y87, Y89） 下記の4桁細分類項目は項目 Y70－Y82 に使用する： .0 診断及びモニター用器具 .1 治療（外科手術以外）及びリハビリテーション器具 .2 プロステシス及びその他の挿入物，材料および付属器具 .3 外科用機械，材料及び器具（縫合を含む） .8 その他の器具，他に分類されないもの	治療及び診断に用いて副反応を起こした医療用器具（Y70－Y82） 包含：医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の使用後に合併症を生じた処置で医療用器具の破損又は不具合の記載がないもの（Y83－Y84） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85－Y87, Y89） 下記の4桁細分類項目は項目 Y70－Y82 に使用する： .0 診断及びモニター用器具 .1 治療（外科手術以外）及びリハビリテーション器具 .2 プロステシス及びその他の挿入物，材料および付属器具 .3 外科用機械，材料及び器具（縫合を含む） .8 その他の器具，他に分類されないもの	Medical devices associated with adverse incident in diagnostic and therapeutic use (Y70-Y82) <i>Excludes:</i> misadventure to patients ... classifiable to Y60-Y69 (Y60-Y69) later complications to patients ... malfunctioning of medical device (Y83-Y84) <u>medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)</u>				
354	患者の異常反応又は後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 2013	患者の異常反応又は後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 2013	SURGICAL AND OTHER MEDICAL PROCEDURES AS THE CAUSE OF ABNORMAL REACTION OF THE PATIENT, OR OF LATER COMPLICATION, WITHOUT MENTION OF MISADVENTURE AT THE TIME OF THE PROCEDURE (Y83-Y84) <u><i>Excludes:</i> misadventures to patients during surgical and medical care, ... classifiable to Y60-Y69 (Y60-69) breakdown or malfunctioning of medical device (during procedure) (after implantation) (ongoing use) (Y70-Y82)</u> ※第3回部会資料から除外項目の訳を修正				
	患者の異常反応又は後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85－Y87, Y89）	患者の異常反応又は後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で，処置時には事故の記載がないもの（Y83－Y84） 除外：外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故，Y60－Y69 に分類されるもの（Y60－Y69） 医療用器具の破損又は不具合（治療中）（移植後）（継続使用）（Y70－Y82） 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具（V01－Y59, Y85－Y87, Y89）	Surgical and other medical procedures as the cause of abnormal reaction of the patient, or of later complication, without mention of misadventure at the time of the procedure (Y83-Y84) <i>Excludes:</i> misadventure to patients ... classifiable to Y60-Y69 (Y60-Y69) breakdown and malfunctioning ... (ongoing use) (Y70-Y82) <u>medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)</u>	<u>他に分類される外因による有害事象に関連した医療事故（V01－Y59, Y85-Y87, Y89）</u>	<u>医療用器具によるものをさしているのではない</u>	×	◆項目352と同様。

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
355	傷病および死亡の外因の続発・後遺症（Y85—Y89） 注：項目 Y85—Y89 は、 続発・後遺症又は「後遺症」（それ自身は他に分類される）が死亡，機能障害又は能力低下の原因となった状況を示すために使用する。 続発・後遺症とは，続発・後遺症として報告された病態又は事件後 1 年以上後に「後遺症」として生じている病態を含む。 慢性中毒及び有害な曝露については使用しない。現在 の中毒及び有害な曝露にコードする。	傷病および死亡の外因の続発・後遺症（Y85—Y89） 注：項目 Y85—Y89 は、 続発・後遺症又は「後遺症」（それ自身は他に分類される）が死亡，機能障害又は能力低下の原因となった状況を示すために使用する。 続発・後遺症とは，続発・後遺症として報告された病態又は事件後 1 年以上後に「後遺症」として生じている病態を含む。 慢性中毒及び有害な曝露については使用しない。現在 の中毒及び有害な曝露にコードする。	Sequelae of external causes of morbidity and mortality (Y85-Y89) <i>Note:</i> Categories Y85-Y89 are to be used to indicate circumstances as the cause of death, impairment or disability from sequelae or “late effects”, which are themselves classified elsewhere. The sequelae include conditions reported as such, or occurring as “late effects” one year or more after the originating event. <u>Not to be used for chronic poisoning and harmful exposure. Code these to current poisoning and harmful exposure.</u>				
356	Z21 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 HIV 陽性（状態）NOS 除外：ヒト免疫不全ウイルス [HIV] との接触または曝露（Z20.6） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（B20－B24） 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（O98.7） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性（R 75）	Z21 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 HIV 陽性（状態）NOS 除外：ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（B20－B24） 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（O98.7） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性（R 75） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] との接触または曝露（Z20.6）	Z21 Asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status HIV positive NOS Excludes: contact with or exposure to human immunodeficiency virus [HIV] (Z20.6) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u> laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV] (R75)	除外：ヒト免疫不全ウイルス [HIV] との接触または曝露（Z20.6） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（B20－B24） 妊娠，分娩及び産じょく〈褥〉に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病（O98.7） ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性（R 75）	順番を原文に合わせる （訳文がコード順でしたら、それに統一すべき）	○	
357	Z45.0 心臓デバイスの調整及び管理 心臓デバイスの点検検査	Z45.0 心臓デバイスの調整及び管理 心臓デバイスの点検検査	Z45.0 Adjustment and management of cardiac pacemaker devices Checking and testing and adjusting of pulse generator [battery] cardiac devices				
358	Z51.3 輸血（診断名の記載がないもの）	Z51.3 輸血（診断名の記載がないもの）	Z51.3 Blood transfusion (without reported diagnosis)				
359	Z58.1 空気汚染への曝露 除外：タバコの煙（Z58.7） Z58.7 タバコの煙への暴露 受動喫煙 除外：タバコ使用〈喫煙〉による精神及び行動の障害（F17.-） 精神作用物質乱用の既往歴（Z86.4） タバコ使用〈喫煙〉（Z72.0）	Z58.1 空気汚染への曝露 除外：タバコの煙（Z58.7） Z58.7 受動喫煙 タバコの煙への暴露 除外：タバコ使用〈喫煙〉による精神及び行動の障害（F17.-） 精神作用物質乱用の既往歴（Z86.4） タバコ使用〈喫煙〉（Z72.0）	Z58.1 Exposure to air pollution <u>Excludes:</u> tobacco smoke (Z58.7) Z58.7 Exposure to tobacco smoke <u>Passive smoking</u> <u>Excludes:</u> Mental and behavioural disorders due to the use of tobacco (F17.-) <u>Personal history of psychoactive substance abuse</u> (Z86.4) <u>Tobacco use (Z72.0)</u>	Z58.7 タバコの煙への暴露 受動喫煙 除外：タバコ使用〈喫煙〉による精神及び行動の障害（F17.-） 精神作用物質乱用の既往歴（Z86.4） タバコ使用〈喫煙〉（Z72.0）	項目が「タバコの煙への暴露」 「既往歴」の「歴」を「歴」に修正。	○	

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
360	その他の環境下での保健サービスの利用者（Z70—76） Z74 介護者依存に関連する問題 除外：機能支持機器又は器具への依存 NEC（Z99.-） Z74.0 移動困難による援助の必要性 Z74.1 個人介護の援助の必要性 Z74.2 家庭における援助の必要があるが、介護を行う世帯員がいない場合 Z74.3 継続的管理の必要性 Z74.8 介護者依存に関連するその他の問題 Z74.9 介護者依存に関連する問題，詳細不明	その他の環境下での保健サービスの利用者（Z70—76） Z74 介護者依存に関連する問題 除外：機能支持機器又は器具への依存 NEC（Z99.-） Z74.0 移動困難による援助の必要性 Z74.1 個人介護の援助の必要性 Z74.2 家庭における援助の必要があるが、介護を行う世帯員がいない場合 Z74.3 継続的管理の必要性 Z74.8 介護者依存に関連するその他の問題 Z74.9 介護者依存に関連する問題，詳細不明	Persons encountering health services in other circumstances (Z70–Z76) Z74 Problems related to care-provider dependency Z74 Problems related to care-provider dependency <i>Excludes:</i> dependence on enabling machines or devices NEC (Z99.-) Z74.0 Need for assistance due to reduced mobility Bedfast Chairfast Z74.1 Need for assistance with personal care Z74.2 Need for assistance at home and no other household member able to render care Z74.3 Need for continuous supervision Z74.8 Other problems related to care-provider dependency Z74.9 Problem related to care-provider dependency, unspecified				
361	Z80.9 悪性新生物の家族歴，詳細不明 C80.-に分類される病態	Z80.9 悪性新生物の家族歴，詳細不明 C80.-に分類される病態	Z80.9 Family history of malignant neoplasm, unspecified Conditions classifiable to C80._				
362	Z83.0 ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病の家族歴 B20–B24, O98.7 に分類される病態	Z83.0 ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病の家族歴 B20–B24, O98.7 に分類される病態	Z83.0 Family history of human immunodeficiency virus [HIV] disease Conditions classifiable to B20-B24, <u>O98.7</u>				
363	Z83.3 糖尿病の家族歴 E10—E14, O24 に分類される病態	Z83.3 糖尿病の家族歴 E10—E14, O24 に分類される病態	Z83.3 Family history of diabetes mellitus Conditions classifiable to E10-E14, <u>O24</u>				
364	Z85.9 悪性新生物の既往歴，詳細不明 C80.-に分類される病態	Z85.9 悪性新生物の既往歴，詳細不明 C80.-に分類される病態	Z85.9 Personal history of malignant neoplasm, unspecified Conditions classifiable to C80._				
365	Z92.6 腫瘍〈新生物〉性疾患に対する化学療法の既往歴	Z92.6 新生物性疾患に対する化学療法の既往歴	<u>Z92.6 Personal history of chemotherapy for neoplastic disease</u>	新生物疾患		○	◆「辞典」では、neoplastic disease は腫瘍性疾患
366	Z94.8 その他の臓器及び組織の移植後の状態 骨髄 腸 膵 幹細胞	Z94.8 その他の臓器及び組織の移植後の状態 骨髄 腸 膵 幹細胞	Z94.8 Other transplanted organ and tissue status Bone marrow Intestine Pancreas <u>Stem cells</u>				
367	Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 除外：心臓及び血管の器具，挿入物及び移植片の合併症（T82.-） Z95.0 心臓の電氣的デバイスの存在 下記の存在：	Z95 心臓および血管の挿入物及び移植片の存在 除外：心臓および血管の器具，挿入物及び移植片の合併症（T82.-） Z95.0 電子心臓デバイスの存在 下記の存在：	Z95 Presence of cardiac and vascular implants and grafts <i>Excludes:</i> complications of cardiac and vascular devices, implants and grafts (T82.-) Z95.0 Presence of <u>electronic</u> cardiac pacemaker <u>devices</u>	心臓および血管の移植物、移植片の存在 除外：心臓および血管の植え込みデバイスや移植物（片）の合併症		○	◆Z95.0 については、原文に cardiac の用語があるた

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	・心臓ペースメーカー ・両室ペーシング機能付植え込み型除細動器（CRT-D） ・両室ペーシング機能付（CRT）ペースメーカー ・植え込み型除細動器（ICD） 除外：心臓デバイスの調整又は管理（Z45.0） 人工心臓依存（Z99.4）	・心臓ペースメーカー ・両室ペーシング機能付植え込み型除細動器（CRT-D） ・心臓再同期療法（CRT）ペースメーカー ・植え込み型除細動器（ICD） 除外：心臓デバイスの調整又は管理（Z45.0） 人工心臓依存（Z99.4）	<u>Presence of:</u> ・ <u>cardiac pacemaker</u> ・ <u>cardiac resynchronization therapy defibrillator (CRT-D)</u> ・ <u>cardiac resynchronization therapy (CRT) pacemaker</u> ・ <u>cardioverter-defibrillator (ICD)</u> <i>Excludes:</i> adjustment or management of cardiac pacemaker<u>devices</u> (Z45.0) <u>dependence on artificial heart (Z99.4)</u>	(T82.-) Z95.0 電氣的デバイスの存在 両室ペーシング・ペースメーカー	用語の統一		め、心臓は残しました。 「辞典」では implant は、「挿入物、埋入物」和英でも移植物から implant を引くことはできず、T82, T83, M96.6 等他のコードへの影響も大きいことから元のままとしています。
368	Z99 機能支持機器および器具への依存，他に分類されないもの Z99.0 吸引器依存 Z99.1 人工呼吸器依存 Z99.2 腎透析依存 透析用の動静脈シャントの存在 腎透析状態 除外：透析治療または施行中（Z49.-） Z99.3 車椅子依存 Z99.4 人工心臓依存 Z99.8 その他の機能支持機器および器具への依存 Z99.9 詳細不明の機能支持機器および器具への依存	Z99 機能支持機器および器具への依存，他に分類されないもの Z99.0 吸引器依存 Z99.1 人工呼吸器依存 Z99.2 腎透析依存 透析用の動静脈シャントの存在 腎透析状態 除外：透析治療または施行中（Z49.-） Z99.3 車椅子依存 Z99.4 人工心臓依存 Z99.8 その他の機能支持機器および器具への依存 Z99.9 詳細不明の機能支持機器および器具への依存	Z99 Dependence on enabling machines and devices, not elsewhere classified Z99.0 Dependence on aspirator Z99.1 Dependence on respirator Z99.2 Dependence on renal dialysis Presence of arteriovenous shunt for dialysis Renal dialysis status <i>Excludes:</i> Dialysis preparation, treatment or session (Z49.-) Z99.3 Dependence on wheelchair Z99.4 Dependence on artificial heart Z99.8 Dependence on other enabling machine and devices Z99.9 Dependence on unspecified enabling machine and devices				
369	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00 - U99) 本章には次のブロックを含む： U00－U49 原因不明の新たな疾患の暫定分類 U82－U85 抗菌及び抗悪性腫瘍薬への耐性	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00 - U99) 本章には次のブロックを含む： U00－U49 原因不明の新たな疾患の暫定分類 U82－U85 抗菌及び抗悪性腫瘍薬への耐性	Chapter XXII Codes for special purposes (U00 - U99) This chapter contains the following blocks: U00－U49 Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology U80-U89 Bacterial agents resistant to antibiotics <u>U82-U85 Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
370	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類（U00－U49） U04 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕 U04.9 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕，詳細不明 U06 エマージェンシーコード U06 項目 U00－U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において，電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U06 項目の詳細は，WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し，細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。 U06.0 エマージェンシーコード U06.0 U06.1 エマージェンシーコード U06.1 U06.2 エマージェンシーコード U06.2 U06.3 エマージェンシーコード U06.3 U06.4 エマージェンシーコード U06.4 U06.5 エマージェンシーコード U06.5 U06.6 エマージェンシーコード U06.6 U06.7 エマージェンシーコード U06.7 U06.8 エマージェンシーコード U06.8 U06.9 エマージェンシーコード U06.9 U07 エマージェンシーコード U07 項目 U00－U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において，電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U07 項目の詳細は，WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し，細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。 U07.0 エマージェンシーコード U07.0 U07.1 エマージェンシーコード U07.1 U07.2 エマージェンシーコード U07.2 U07.3 エマージェンシーコード U07.3 U07.4 エマージェンシーコード U07.4 U07.5 エマージェンシーコード U07.5 U07.6 エマージェンシーコード U07.6 U07.7 エマージェンシーコード U07.7 U07.8 エマージェンシーコード U07.8 U07.9 エマージェンシーコード U07.9	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類（U00－U49） U04 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕 U04.9 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕，詳細不明 U06 エマージェンシーコード U06 項目 U00－U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において，電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U06 項目の詳細は，WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し，細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。 U06.0 エマージェンシーコード U06.0 U06.1 エマージェンシーコード U06.1 U06.2 エマージェンシーコード U06.2 U06.3 エマージェンシーコード U06.3 U06.4 エマージェンシーコード U06.4 U06.5 エマージェンシーコード U06.5 U06.6 エマージェンシーコード U06.6 U06.7 エマージェンシーコード U06.7 U06.8 エマージェンシーコード U06.8 U06.9 エマージェンシーコード U06.9 U07 エマージェンシーコード U07 項目 U00－U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において，電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U07 項目の詳細は，WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し，細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。 U07.0 エマージェンシーコード U07.0 U07.1 エマージェンシーコード U07.1 U07.2 エマージェンシーコード U07.2 U07.3 エマージェンシーコード U07.3 U07.4 エマージェンシーコード U07.4 U07.5 エマージェンシーコード U07.5 U07.6 エマージェンシーコード U07.6 U07.7 エマージェンシーコード U07.7 U07.8 エマージェンシーコード U07.8 U07.9 エマージェンシーコード U07.9	Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology or emergency use (U00-U49) U04 Severe acute respiratory syndrome [SARS] U04.9 Sever acute respiratory syndrome, unspecified <u>U06 Emergency use of U06</u> <u>Codes U00-U49 are to be used by WHO for the provisional assignment of new diseases of uncertain etiology. In emergency situations codes are not always accessible in electronic systems. The specification of category U06 in the way it is done here will make sure this category and the subcategories are available in every electronic system at any time and that they can be used upon instruction by WHO, immediately.</u> <u>U06.0 Emergency use of U06.0</u> <u>U06.1 Emergency use of U06.1</u> <u>U06.2 Emergency use of U06.2</u> <u>U06.3 Emergency use of U06.3</u> <u>U06.4 Emergency use of U06.4</u> <u>U06.5 Emergency use of U06.5</u> <u>U06.6 Emergency use of U06.6</u> <u>U06.7 Emergency use of U06.7</u> <u>U06.8 Emergency use of U06.8</u> <u>U06.9 Emergency use of U06.9</u> <u>U07 Emergency use of U07</u> <u>Codes U00-U49 are to be used by WHO for the provisional assignment of new diseases of uncertain etiology. In emergency situations codes are not always accessible in electronic systems. The specification of category U07 in the way it is done here will make sure this category and the subcategories are available in every electronic system at any time and that they can be used upon instruction by WHO, immediately.</u> <u>U07.0 Emergency use of U07.0</u> <u>U07.1 Emergency use of U07.1</u> <u>U07.2 Emergency use of U07.2</u> <u>U07.3 Emergency use of U07.3</u> <u>U07.4 Emergency use of U07.4</u> <u>U07.5 Emergency use of U07.5</u> <u>U07.6 Emergency use of U07.6</u> <u>U07.7 Emergency use of U07.7</u> <u>U07.8 Emergency use of U07.8</u> <u>U07.9 Emergency use of U07.9</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
371	U82－U85 抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬への耐性 注：一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類は、抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬の病態の耐性、非反応性及び不応性物質を特定する必要がある場合に、補助コードまたは追加コードとして使用するためのものである。	U82－U85 抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬への耐性 注：一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類は、抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬の病態の耐性、非反応性及び不応性物質を特定する必要がある場合に、補助コードまたは追加コードとして使用するためのものである。	<u>U82-U85 Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs</u> <u>Note: These categories should never be used in primary coding. The codes are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the resistant properties of infectious agents, which are themselves classified elsewhere resistance, non-responsiveness and refractive properties of a condition to antimicrobials and antineoplastic drugs.</u> Bacterial agents resistant to antibiotics (U80-U89) <i>Note:</i> These categories should never be used in primary coding. They are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the antibiotic to which a bacterial agent is resistant, in bacterial infection classified elsewhere U80——Agent resistant to penicillin and related antibiotics U80.0 Penicillin resistant agent U80.1 Methicillin resistant agent U80.8 Agent resistant to other penicillin-related antibiotic U81——Agent resistant to vancomycin and related antibiotics U81.0 Vancomycin resistant agent U81.8 Agent resistant to other vancomycin-related antibiotic U88——Agent resistant to multiple antibiotics <i>Note:</i> This category is provided for use when a bacterial agent is resistant to two or more antibiotics but there is insufficient detail to determine which antibiotic is contributing most to the “main condition”. It should also be used for primary tabulation purposes when it is more convenient to record a single code; otherwise each specific antibiotic-resistant agent should be coded separately. U89——Agent resistant to other and unspecified antibiotics U89.8 Agent resistant to other single specified antibiotic U89.9 Agent resistant to unspecified antibiotic				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
372	U82 ベータラクタム抗生物質への耐性 ベータラクタム抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コードを使用する（B95－B98）。 U82.0 ペニシリンへの耐性 耐性： アモキシシリン アンピシリン U82.1 メチシリンへの耐性 耐性： クロキサシリン フルクロキサシリン オキサシリン U82.2 基質特異性拡張型ベータラクタマーゼ（ESBL）耐性 U82.8 その他のベータラクタム耐性 U82.9 ベータラクタム耐性，詳細不明 U83 その他の抗生物質への耐性 その他の抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード（B95-B98）を使用する。 U83.0 バンコマイシンへの耐性 U83.1 抗生物質に関連するその他のバンコマイシンへの耐性 U83.2 キノロンへの耐性 U83.7 多剤抗生物質への耐性 U83.8 特定の単剤抗生物質への耐性 U83.9 詳細不明の抗生物質への耐性 抗生物質への耐性 NOS U84 その他の抗菌薬への耐性 抗菌薬に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード（B95－B98）を使用する。 除外：抗生物質への耐性（U82－U83） U84.0 抗菌薬への耐性 キニーネまたは化合物関連への耐性 U84.1 抗真菌薬への耐性 U84.2 抗ウイルス薬への耐性 U84.3 抗結核薬への耐性 U84.7 多剤抗菌薬への耐性 除外：多剤抗生物質のみの耐性（U83.7） U84.8 その他の特定された抗菌薬への耐性 U84.9 詳細不明の抗菌薬への耐性 薬剤耐性 NOS U85 その他の抗悪性腫瘍薬への耐性 包含：抗悪性腫瘍薬への非反応性	U82 ベータラクタム抗生物質への耐性 ベータラクタム抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コードを使用する（B95－B98）。 U82.0 ペニシリンへの耐性 耐性： アモキシシリン アンピシリン U82.1 メチシリンへの耐性 耐性： クロキサシリン フルクロキサシリン オキサシリン U82.2 基質特異性拡張型ベータラクタマーゼ（ESBL）耐性 U82.8 その他のベータラクタム耐性 U82.9 ベータラクタム耐性，詳細不明 U83 その他の抗生物質への耐性 その他の抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード（B95-B98）を使用する。 U83.0 バンコマイシンへの耐性 U83.1 抗生物質に関連するその他のバンコマイシンへの耐性 U83.2 キノロンへの耐性 U83.7 多剤抗生物質への耐性 U83.8 特定の単剤抗生物質への耐性 U83.9 詳細不明の抗生物質への耐性 抗生物質への耐性 NOS U84 その他の抗菌薬への耐性 抗菌薬に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード（B95－B98）を使用する。 除外：抗生物質への耐性（U82－U83） U84.0 抗菌薬への耐性 キニーネまたは化合物関連への耐性 U84.1 抗真菌薬への耐性 U84.2 抗ウイルス薬への耐性 U84.3 抗結核薬への耐性 U84.7 多剤抗菌薬への耐性 除外：多剤抗生物質のみの耐性（U83.7） U84.8 その他の特定された抗菌薬への耐性 U84.9 詳細不明の抗菌薬への耐性 薬剤耐性 NOS U85 その他の抗悪性腫瘍薬への耐性 包含：抗悪性腫瘍薬への非反応性	<u>U82 Resistance to betalactam antibiotics</u> <u>Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to betalactam antibiotic treatment.</u> <u>U82.0 Resistance to penicillin</u> <u>Resistance to:</u> <u>Amoxicillin</u> <u>Ampicillin</u> <u>U82.1 Resistance to methicillin</u> <u>Resistance to:</u> <u>cloxacillin</u> <u>flucloxacillin</u> <u>oxacillin</u> <u>U82.2 Extended spectrum betalactamase (ESBL) resistance</u> <u>U82.8 Resistance to other betalactam antibiotics</u> <u>U82.9 Resistance to betalactam antibiotics, unspecified</u> <u>U83 Resistance to other antibiotics</u> <u>Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to other antibiotic treatment.</u> <u>U83.0 Resistance to vancomycin</u> <u>U83.1 Resistance to other vancomycin related antibiotics</u> <u>U83.2 Resistance to quinolones</u> <u>U83.7 Resistance to multiple antibiotics</u> <u>U83.8 Resistance to other single specified antibiotic</u> <u>U83.9 Resistance to unspecified antibiotic</u> <u>Resistance to antibiotics NOS</u> <u>U84 Resistance to other antimicrobial drugs</u> <u>Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to antimicrobial drugs.</u> <u>Excludes:</u> Resistance to antibiotics (U82 - U83) <u>U84.0 Resistance to antiparasitic drug(s)</u> <u>Resistance to quinine and related compounds:</u> <u>U84.1 Resistance to antifungal drug(s)</u> <u>U84.2 Resistance to antiviral drug(s)</u> <u>U84.3 Resistance to tuberculostatic drug(s)</u> <u>U84.7 Resistance to multiple antimicrobial drugs</u>				

No.	提案反映済	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	修正提案 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	提案理由 下線なし→委員の意見 二重線→学会の意見	採 択	備 考
	難治性癌	難治性癌	<u>Excludes:</u> Resistance to multiple antibiotics only (U83.7) <u>U84.8 Resistance to other specified antimicrobial drug</u> <u>U84.9 Resistance to unspecified antimicrobial drugs</u> <u>Drug resistance NOS</u> <u>U85 Resistance to antineoplastic drugs</u> <u>Includes:</u> Non-responsiveness to antineoplastic drugs <u>Refractory cancer</u>				

No.	現行	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	告示 対象
373	新生物の形態 注： 診断書に記載された部位が、部位特異的コードによって示された部位と異なっている場合に，時々問題が生じる...C25.9（膵，詳細不明）. ... リンパ組織、造血組織および関連組織の新生物(M959-M998) に対しては C81-C96 及び D45-D47 から関連コードが与えられている。これらの第 II 章のコードは，記載された部位に関わりなく使用する。	新生物の形態 注： 診断書に記載された部位が、部位特異的コードによって示された部位と異なっている場合に，時々問題が生じる...C25.9（膵，詳細不明）. ...	MORPHOLOGY OF NEOPLASMS Note: Occasionally a problem arises...C25.9 (pancreas, unspecified). ... For neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue (M959-M998) the relevant codes from C81-C96 and D45-D47 are given. These Chapter II codes should be used irrespective of the stated site of the neoplasm.	
374	M8162/3 クラツキン<Klatskin> 腫瘍（C22.1）	M8162/3 クラツキン〈Klatskin〉腫瘍（C24.0）	M8162/3 Klatskin's tumour (C22.1 <u>C24.0</u>)	
375	新生物の形態 M814－M838 腺腫および腺癌 ... M8202/0 小のう<嚢> 胞腺腫（D13.7）	新生物の形態 M814－M838 腺腫及び腺癌 ... M8202/0 小のう〈嚢〉胞腺腫（D13.6）	Morphology of neoplasms M814-M838 Adenomas and adenocarcinomas M8202/0 Microcystic adenoma (D13. 7 <u>6</u>)	
376	M959-M998	M959-M998 削除	Delete morphology codes M959-M998	

Appendices
3 桁分類および勧告された特定製表用リスト
ICD-10 3 桁分類
※以下の表は、現在発行されている書籍上は、第 1 巻総論に掲載されている。

No.	現行	事務局仮訳	WHO 勧告（原文）	告示 対象
377	細菌、ウイルスおよびその他の病原体（B95－B97） B95 他章に分類される疾患の原因としてのレンサ球菌およびブドウ球菌 B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の病原体 B97 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体	細菌、ウイルスおよびその他の病原体（B95－B98） B95 他章に分類される疾患の原因としてのレンサ球菌およびブドウ球菌 B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病 原体 B97 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体 B98 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された病原体	Bacterial, viral and other infectious agents (B95－B978) B95 Streptococcus and staphylococcus as the cause of diseases classified to other chapters B96 Other <u>specified</u> bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters B97 Viral agents as the cause of diseases classified to other chapters <u>B98 Other specified infectious agents as the cause of diseases classified to other chapters</u>	
378	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	C79 Secondary malignant neoplasm of other <u>and unspecified</u> sites	
379	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物（C81－C96） C81 ホジキン〈Hodgkin〉病 C82 ろ〈戸〉胞性〔結節性〕非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫 C83 びまん性非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫 C84 末梢及び皮膚T細胞リンパ腫 C85 非ホジキンリンパ腫〈non-Hodgkin〉のその他及び詳細不明の型	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物（C81－C96） C81 ホジキン〈Hodgkin〉リンパ腫 C82 ろ〈濾〉胞性リンパ腫 C83 非ろ〈濾〉胞性リンパ腫 C84 成熟T/NK細胞リンパ腫 C85 非ホジキンリンパ腫〈non-Hodgkin〉のその他及び詳細不明の型	<i>Malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C81-C96)</i> C81 Hodgkin's disease <u>lymphoma</u> C82 Follicular nodular <u>non-Hodgkin's</u> lymphoma C83 Diffuse non-Hodgkin's Non-follicular lymphoma C84 Peripheral and cutaneous <u>Mature T/NK-cell lymphomas</u> C85 Other and unspecified types of non-Hodgkin's lymphoma <u>C86 Other specified types of T/NK-cell lymphoma</u>	

No.	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	告示 対象
	C88 悪性免疫増殖性疾患 D76 リンパ細網組織及び細網組織球系の疾患	C86 T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型 C88 悪性免疫増殖性疾患 D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示されたの疾患	C88 Other B-cell lymphoma {Malignant immunoproliferative diseases} D76 Certain-Other specified diseases involving with participation of lymphoreticular tissue and reticulohistiocytic system tissue	
380	糖尿病（E10－E14） E10 インスリン依存性糖尿病 E11 インスリン非依存性糖尿病	糖尿病（E10－E14） E10 1型糖尿病 E11 2型糖尿病	Diabetes mellitus (E10-E14) E10 Insulin-dependent Type 1 diabetes mellitus E11 Non-insulin-dependent Type 2 diabetes mellitus	
381	神経系の疾患 （G00-G99） 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症（G10- G13 ） G10 ハンチントン〈Huntington〉病 G11 遺伝性運動失調（症） G12 脊髄性筋萎縮症及び関連する症候群 G13* 他に分類される疾患における主に中枢神経系を障害する系統性萎縮症	神経系の疾患 （G00-G99） 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症（G10－G14） G10 ハンチントン〈Huntington〉病 G11 遺伝性運動失調（症） G12 脊髄性筋萎縮症及び関連する症候群 G13* 他に分類される疾患における主に中枢神経系を障害する系統性萎縮症 G14* ポリオ後症候群	Diseases of the nervous system (G00-G99) Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10- G13 G14) G10 Huntington's disease G11 Hereditary ataxia G12 Spinal muscular atrophy and related syndromes G13* Systemic atrophies primarily affecting central nervous system in diseases classified elsewhere <u>G14 Postpolio syndrome</u>	
382	静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの（I80－I89） I83 下肢の静脈瘤 I84 痔核 I85 食道静脈瘤	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの（I80－I89） I83 下肢の静脈瘤 I85 食道静脈瘤	Diseases of veins, lymphatic vessels and lymph nodes, not elsewhere classified (I80－I89) I83 Varicose veins of lower extremities I84 Haemorrhoids I85 Oesophageal varices	
383	インフルエンザおよび肺炎（J10-J18） J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	インフルエンザ及び肺炎（J09-J18） J09 特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	Influenza and pneumonia (J09-J10 J18) J09 Influenza due to certain identified influenza virus J10 Influenza due to <u>other</u> identified influenza virus	
384	第 XI 章（K00-K93） 消化器系の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患（K20-K31） K30 ディスペプシア（症）	第 XI 章（K00－K93） 消化器系の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患（K20－K31） K30 機能性ディスペプシア	Chapter XI Diseases of the digestive system (K00-K93) Diseases of oesophagus, stomach and duodenum (K20-K31) K30 Dyspepsia <u>Functional dyspepsia</u>	
385	腸のその他の疾患（K55－K63） K63 腸のその他の疾患	腸のその他の疾患（K55－K64） K63 腸のその他の疾患 K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症	Other diseases of intestines (K55－K63 K64) K63 Other diseases of intestine <u>K64 Haemorrhoids and perianal venous thrombosis</u>	
386	腎不全（N17-N19） N17 急性腎不全 N18 慢性腎不全	腎不全（N17-N19） N17 急性腎不全 N18 慢性腎臓病	Renal failure (N17-N19) N17 Acute renal failure N18 Chronic renal <u>kidney failure disease</u>	
387	第 XV 章 妊娠、分娩および産じょく〈褥〉（O00-O99） 妊娠、分娩および産じょく〈褥〉における浮腫、たんぱく〈蛋白〉尿および高血圧性障害（O10－O16）	第 XV 章 妊娠、分娩及び産じょく〈褥〉（O00-O99） 妊娠、分娩及び産じょく〈褥〉における浮腫、たんぱく〈蛋白〉尿及び高血圧性障害（O10－O16）	Chapter XV Pregnancy, childbirth and the puerperium (O00-O99) Oedema, proteinuria and hypertensive disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium (O10-O16) O11 Pre-existing hypertensive disorder with superimposed proteinuria <u>eclampsia</u>	

No.	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	告示 対象
	O11 増悪したたんぱく（蛋白）尿を伴う既存の高血圧性障害 O13 明らかなたんぱく（蛋白）尿を伴わない妊娠高血圧（症） O14 明らかなたんぱく（蛋白）尿を伴う妊娠高血圧（症）	O11 慢性高血圧（症）に層積した子かん（癩）前症 O13 妊娠高血圧（症） O14 子かん（癩）前症	<u>superimposed on chronic hypertension</u> O13 Gestational [pregnancy-induced] hypertension without significant proteinuria O14 Gestational [pregnancy-induced] hypertension with significant proteinuria <u>Pre-eclampsia</u>	
388	主として妊娠に関連するその他の母体障害（O20–O29） O22 妊娠中の静脈合併症 主として産じょく（褥）に関連する合併症（O85–O92） O87 産じょく（褥）における静脈合併症	主として妊娠に関連するその他の母体障害（O20–O29） O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核 主として産じょく（褥）に関連する合併症（O85–O92） O87 産じょく（褥）における静脈合併症及び痔核	Other maternal disorders predominantly related to pregnancy (O20–O29) O22 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in pregnancy Complications predominantly related to the puerperium (O85–O92) O87 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in the puerperium	
389	胎児及び新生児の消化器系障害（P75–P78） P75* 胎便（メコニウム）イレウス（E84.1+） P76 新生児のその他の腸閉塞 P77 胎児及び新生児のえ（壊）死性腸炎 P78 その他の周産期の消化器系障害	胎児及び新生児の消化器系障害（P75–P78） P75* のう（嚢）胞性線維症（システィックファイブローシス）における胎便（メコニウム）イレウス（E84.1+） P76 新生児のその他の腸閉塞 P77 胎児及び新生児のえ（壊）死性腸炎 P78 その他の周産期の消化器系障害	Digestive system disorders of fetus and newborn (P75–P78) P75* Meconium ileus <u>in cystic fibrosis</u> P76 Other intestinal obstruction of newborn P77 Necrotizing enterocolitis of fetus and newborn P78 Other perinatal digestive system disorders	
390	第 XXII 章 特殊目的用コード（U00-U99） 抗生物質に耐性の細菌性病原体（U80–U89） U80 ペニシリン及び関連抗生物質耐性病原体 U81 バンコマイシン及び関連抗生物質耐性病原体 U88 抗生物質多剤耐性病原体 U89 その他の抗生物質及び詳細不明の抗生物質耐性病原体	第 XXII 章 特殊目的用コード（U00-U99） U82 ベータラクタム抗生物質への耐性 U83 その他の抗生物質への耐性 U84 その他の抗菌薬への耐性 U85 その他の抗悪性腫瘍薬への耐性	Chapter XXII Codes for special purposes (U00-U99) Bacterial agents resistant to antibiotics (U80-U89) <u>Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs (U82-U85)</u> U80 Agent resistant to penicillin and related antibiotics U81 Agent resistant to vancomycin and related antibiotics U88 Agent resistant to multiple antibiotics U89 Agent resistant to other and unspecified antibiotics <u>U82 Resistance to betalactam antibiotics</u> <u>U83 Resistance to other antibiotics</u> <u>U84 Resistance to other antimicrobial drugs</u> <u>U85 Resistance to antineoplastic drugs</u>	
391	第 XXII 章 特殊目的用コード（U00-U99） 原因不明のための新たな疾患暫定分類（U00-U49） U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS]	第 XXII 章 特殊目的用コード（U00-U99） 原因不明のための新たな疾患又はエマージェンシーコード暫定分類（U00-U49） U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS] U06 エマージェンシーコード U06 U07 エマージェンシーコード U07	Codes for special purposes (U00-U99) Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology or <u>emergency use</u> (U00-U49) U04 Severe acute respiratory syndrome [SARS] <u>U06 Emergency use of U06</u> <u>U07 Emergency use of U07</u>	

勧告された特定製表用リスト

死亡製表用リスト

No.	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	告示 対象
392	死亡製表用リスト 1 （一般死亡簡約リスト） 1-043 非ホジキンリンパ腫 C82-C85	死亡製表用リスト 1 （一般死亡簡約リスト） 1-043 非ホジキンリンパ腫 C83-C85	<i>Mortality tabulation list 1</i> General mortality Condensed list 1-043 Non-Hodgkin's lymphoma C82 C83-C85	
393	1-073 インフルエンザ J10-J11	1-073 インフルエンザ J09-J11	1-073 Influenza J10 J09-J11	
394	2-058 インフルエンザ J10-J11	2-058 インフルエンザ J09-J11	2-058 Influenza J10 J09-J11	
395	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J10-J11	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J09-J11	<i>Tabulation list for morbidity</i> 168 Influenza J10 J09-J11	
396	勧告された特定製表用リスト 死亡製表用リスト 1 （一般死亡 簡約リスト） 1-073 インフルエンザ J10-J11 死亡製表用リスト 2 （一般死亡 選択リスト） 2-058 インフルエンザ J10-J11 死亡製表用リスト 3 （乳児および小児死亡 簡約リスト） 死亡製表用リスト 4 （乳児および小児死亡 選択リスト） 疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J10-J11	勧告された特定製表用リスト 死亡製表用リスト 1 （一般死亡 簡約リスト） 1-073 インフルエンザ J09-J11 1-901 SARS U04 死亡製表用リスト 2 （一般死亡 選択リスト） 2-058 インフルエンザ J09-J11 2-901 SARS U04 死亡製表用リスト 3 （乳児および小児死亡 簡約リスト） 3-901 SARS U04 死亡製表用リスト 4 （乳児および小児死亡 選択リスト） 4-901 SARS U04 疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J09-J11 901 SARS U04	Special tabulation lists for mortality and morbidity Mortality tabulation list 1 General mortality Condensed list 1-073 Influenza <u>J09</u> J10-J11 <u>1-901 SARS U04</u> Mortality tabulation list 2 General mortality Selected list 2-058 Influenza <u>J09</u> J10 -J11 <u>2-901 SARS U04</u> Mortality tabulation list 3 Infant and child mortality Condensed list <u>3-901 SARS U04</u> Mortality tabulation list infant and child mortality Selected list <u>4-901 SARS U04</u> Tabulation list for morbidity 168 Influenza <u>J09</u> J10-J11 <u>901 SARS U04</u>	
397	疾病製表用リスト（298 項目） 注：これらのリストは、データの製表について、1990 年の世界保健総会により採択されたものである。これらの使用法については、5. 4 及び 5. 5 に記載されている。 疾病製表用リスト 129 その他の神経系の疾患 G10-G13, G21-G26, G31-G32, G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99	疾病製表用リスト（298 項目） 注：これらのリストは、データの製表について、1990 年の世界保健総会により採択されたものである。これらの使用法については、5. 4 及び 5. 5 に記載されている。 疾病製表用リスト 129 その他の神経系の疾患 G10-G14, G21-G26, G31-G32, G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99	Tabulation list for morbidity (298 causes) <i>Note:</i> These lists were adopted by the World Health Assembly in 1990 for the tabulation of data. They are described, and their use is explained, in Volume 2, the Instruction Manual. Tabulation list for morbidity 129 Other diseases of the G10-G13 <u>G14</u> , G21-G26, G31-G32, nervous system G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99	

疾病製表用リスト

No.	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）	告示 対象
398	疾病製表用リスト 163 痔核 I84	疾病製表用リスト 163 痔核 K64	Tabulation list for morbidity 163 Haemorrhoids I84 <u>K64</u>	